

京都市内遺跡試掘立会調査概報

平成元年度

京 都 市 文 化 観 光 局

序

京都市は、あと4年後に建都1200年という輝かしい節目の年を迎えようとしております。

ひとくちに1200年といっても、幾多の歴史がこの都市を変貌させてきました。

我々が学ぶ日本史の教科書には、必ずいくつかの大きな事変がこの京都で発生し、そして全国に影響を与えたことが記されています。

京都市内は、遙か平安建都以前より多くの人々が定住し、永々として生活を営み続け、それを礎にして都が造営されたといっても過言ではありません。

平安京跡など市内に存在する数多くの遺跡は、京都の持つ永い歴史の一端を明らかにする重要な埋蔵文化財であるばかりではなく、日本の歴史を正確に伝えてくれる国民的な文化遺産でもあります。

これらの遺跡を考古学的に調査し、その成果を紐解くことによって、過去の史実を具体的な形で解明してゆくことが可能となるのではないのでしょうか。

この報告書は、京都市が昭和63年度及び平成元年度に、文化庁国庫補助を得て(財)京都市埋蔵文化財研究所に委託し実施いたしました京都市内埋蔵文化財の調査報告書であります。

調査を担当された方々やご指導いただいた先生方、そして協力いただきました方々に心より厚く感謝するとともに、本書が少しでも京都の歴史を知るための資料として皆様のお役にたてれば幸と存じます。

平成2年3月

京都市文化観光局

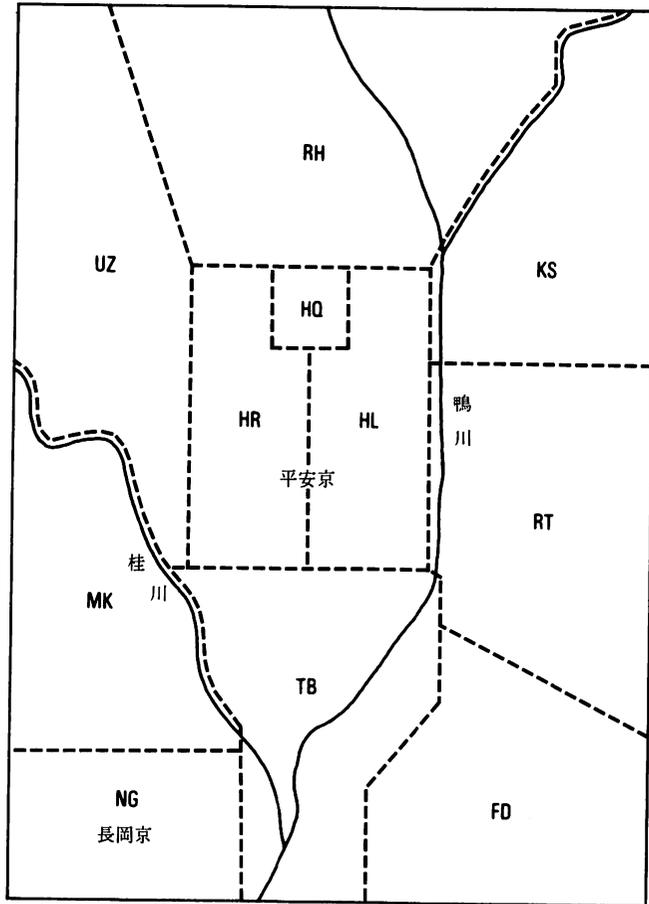
例 言

1. 本書は京都市文化観光局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助に伴う平成元年度の京都市内遺跡試掘立会調査概要報告書である。
2. 本書の執筆分担は次の通りである。

I・IIIの1・2・4 家崎孝治 IIIの3 家崎 吉本健吾 II・IV・Vの1・2・4・VIの2・3 久世康博 Vの3 吉村正親 VIの1 吉本
3. 写真は遺構の一部を除き牛嶋茂、村井伸也が担当した。
4. 本書に使用した遺跡・遺構の記号は奈良国立文化財研究所の使用例に従った。
5. 位置の記載は平面直角座標系VIによる。京都市遺跡測量基準点を使用し、記載した数値は X、Yともm単位で、水準はT.Pである。
6. 本書作成にあたっては、家崎孝治、久世康博が編集をおこない、川村雅章、近藤章子、端美和子、尾藤徳行、松尾武彦、吉本健吾、竜子正彦が参加した。
7. 本書に掲載した地図は、京都市都市計画局の地図を調整し、以下のごとく使用した。

平安宮跡 図版2 8000分の1(京都市都市計画局発行 聚楽廻、壬生各2500分の1)
平安京跡 図版3～12 10000分の1(同上、花園、聚楽廻、御所、山ノ内、壬生、三条大橋、西京極、島原、五条大橋、中河原、梅小路、京都駅各2500分の1)
植物園北遺跡 中臣遺跡 白河街区 岡崎遺跡 図版13 10000分の1(同上、田中、山科、勧修寺、御所、吉田、三条大橋、岡崎各2500分の1)
鳥羽離宮跡 下鳥羽遺跡 図版14 10000分の1(同上、城南宮、下鳥羽各2500分の1)
中久世遺跡 大藪遺跡 長岡京跡 東土川遺跡 図版15 10000分の1(同上、寺戸、向日町、久我各2500分の1)
平安京左京四条四坊 図1 5000分の1(同上、三条大橋2500分の1)
室町殿跡隣接地 図5 5000分の1(同上、聚楽廻、御所、船岡山、相国寺各2500分の1)
山科本願寺跡 図11 5000分の1(同上、山科2500分の1)
伏見城跡 図17 5000分の1(同上、中書島2500分の1)

地区設定図



目 次

I 調査の概要	1	V 伏見城跡 (FD10)	26
II 平安京左京四条四坊(HL104)	4	1 調査経過	26
1 調査経過	4	2 遺 構	27
2 遺 構	5	3 遺 物	27
3 遺 物	6	4 まとめ	29
4 まとめ	10	VI 主要な出土遺物	30
III 室町殿跡隣接地 (RH18)	11	1 瓦 類	30
1 調査経過	11	2 木器類	34
2 遺 構	12	3 石器類	35
3 遺 物	14		
4 まとめ	17		
IV 山科本願寺跡 (RT21)	19		
1 調査経過	19		
2 遺 構	20		
3 遺 物	20		
4 まとめ	25		

図版目次

図版 1	平安京図葉分割図
図版 2	平安宮
図版 3	右京 北辺・一・二・三条 三・四坊
図版 4	右京 北辺・一・二・三条 一・二坊
図版 5	左京 北辺・一・二・三条 一・二坊
図版 6	左京 北辺・一・二・三条 三・四坊

- 図版 7 右京 四・五・六・七条 三・四坊
- 図版 8 右京 四・五・六・七条 一・二坊
- 図版 9 左京 四・五・六・七条 一・二坊
- 図版10 左京 四・五・六・七条 三・四坊
- 図版11 右京 八・九条 三・四坊 左京 八・九条 一・二坊
- 図版12 左京 八・九条 三・四坊 右京 八・九条 一・二坊
- 図版13 植物園北遺跡 中臣遺跡 白河街区 岡崎遺跡
- 図版14 鳥羽離宮跡 下鳥羽遺跡
- 図版15 中久世遺跡 大藪遺跡 長岡京跡 東土川遺跡
- 図版16 遺跡 平安京左京四条四坊 (H L104)
- 図版17 遺跡 平安京左京四条四坊 (H L104)
- 図版18 遺跡 平安京左京四条四坊 (H L104)
- 図版19 遺跡 室町殿跡隣接地 (R H18)
- 図版20 遺跡 山科本願寺跡 (R T21)
- 図版21 遺跡 山科本願寺跡 (R T21)
- 図版22 遺跡 伏見城跡 (F D10)
- 図版23 遺物 平安京左京四条四坊 (H L104)
- 図版24 遺物 平安京左京四条四坊 (H L104)
- 図版25 遺物 平安京左京四条四坊 (H L104)
- 図版26 遺物 平安京左京四条四坊 (H L104)
- 図版27 遺物 平安京左京四条四坊 (H L104)
- 図版28 遺物 平安京左京四条四坊 (H L104)
- 図版29 遺物 平安京左京四条四坊 (H L104)
- 図版30 遺物 平安京左京四条四坊 (H L104)
- 図版31 遺物 室町殿跡隣接地 (R H18)
- 図版32 遺物 室町殿跡隣接地 (R H18)
- 図版33 遺物 山科本願寺跡 (R T21)
- 図版34 遺物 伏見城跡 (F D10) 平安京右京五条二坊 (H R91)
- 図版35 遺物 平安京・京外出土瓦
- 図版36 遺物 平安京・京外出土瓦

挿図目次

図1 調査位置図	4	図13 遺物実測図	22
図2 遺構配置図	5	図14 軒瓦拓影・実測図	23
図3 遺構断面図	6	図15 軒瓦道具瓦拓影・実測図	24
図4 沓茶碗底部	8	図16 軒瓦裏面	25
図5 調査位置図及び既調査地点	11	図17 調査位置図	26
図6 南壁断面図	12	図18 遺構実測図	27
図7 遺構実測図	13	図19 遺物実測図	28
図8 S D 31・33出土土器実測図	15	図20 軒瓦拓影・実測図	31
図9 S D 34・S X 51出土土器実測図	16	図21 軒瓦拓影・実測図	32
図10 軒瓦平瓦拓影・実測図	17	図22 木簡	34
図11 調査位置図	19	図23 遺物実測図	35
図12 遺構実測図	21		

表目次

室町殿跡周辺調査一覧表	18
調査一覧表	36

I 調査の概要

本報告は、京都市文化観光局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う平成元年度の京都市内遺跡試掘立会調査概要報告書である。本書では、昭和64年1月4日より平成元年12月28日までの間に実施した試掘立会調査の概要を報告する。

調査件数は、試掘調査142件、立会調査548件の計690件である。その内訳は、平安宮地区(HQ) 84(内試掘18)件、平安京右京地区(HR) 145(同38)件、平安京左京地区(HL) 204(同25)件、太秦地区(UZ) 20(同2)件、洛北地区(RH) 37(同10)件、北白川地区(KS) 26(同7)件、洛東地区(RT) 47(同11)件、伏見醍醐地区(FD) 48(同7)件、鳥羽地区(TB) 36(同12)件、南桂地区(MK) 12(同3)件、長岡京地区(NG) 31(同9)件である。以上の内、遺跡の残存状態が良好な35件については発掘調査に切り換えた。ここでは、本年度の調査において知り得た新たな成果について以下その概略を述べる。

平安宮・京地区

平安宮域においては、中和院(HQ26)の調査で版築状の整地層を確認した。中務省(HQ35)では中務省の北面築地及び監物と鈴鑑を分かつとみられる南北築地を検出した。

平安京城においては、条坊関連遺構として、右京三条二坊九町(HR6)と三条二坊十四町(HR94)では野寺小路の道路部に川跡を検出し、平安から鎌倉時代にかけて数回作り替えられていることが判明した。右京五条二坊十一町(HR48・HR91)では五条坊門小路南側溝・高辻小路北側溝をそれぞれ確認した。右京五条一坊十町(63年度HR149)では護岸の側板と杭列が残存する皇嘉門大路東側溝を検出した。右京六条一坊十二町(63年度HR146)では六条大路北側溝を確認した。右京八条二坊一町(HR16)では七条大路路面と南側溝を検出し、道路部より宅地部の方が数十cm地表面が高いことが判明した。左京域では、左京二条二坊十二町(HL81)においては二条大路北側溝と築地遺構を検出した。

条坊遺構以外のものとしては、右京五条二坊十一町(HR91)において地山直上よりチャート製の柳葉状尖頭器が出土した。右京七条四坊九町(HR2)では弥生時代後期の竪穴住居跡が数戸検出され、今まで西京極遺跡として認知されていた弥生時代の集落跡が初めて明らかとなった。左京二条二坊十二町(HL81・156)では二条院に関連する整地層を検出した。左京二条二坊十五町(HL42)では高陽院の池跡及び地業跡が明らかとなった。

左京四条四坊九町（HL104）では桃山から江戸前期にかけての茶陶器が大量に出土した。左京六条三坊十町（HL135）では小六条院の庭園の一部を確認した。

平安京城外の地区

史跡・名勝嵐山（UZ9）の調査において室町時代の石組が良好な形で残存していることを確認した。植物園北遺跡（63年度RH31）では古墳時代の竪穴住居跡、室町時代の濠跡、集石遺構などを検出した。室町殿跡（63年度RH28）では庭園遺構や東西の濠跡を検出し、絵図などで知られる室町殿の情景と一部一致することが判明した。室町殿跡隣接地（RH18）では平安時代前期の土壙、室町時代中期の東西溝などを検出し、室町殿周辺地域の遺跡の存在を明らかにした。尊勝寺跡（KS13）では得長寿院に推定されている版築基壇及び柱跡、雨落ち溝を確認した。山科本願寺跡（RT21）では昨年に引続き東西の石組溝の延長を調査した。六波羅政庁跡（RT39）では鎌倉時代前期の井戸跡を検出した。伏見城跡（FD10）では奈良時代の土壙を多数検出し新たな遺跡の存在が想定されるに至った。鳥羽離宮跡（TB19）においては、鳥羽離宮期の溝跡より数体分の人骨が出土し、別な溝より埴輪や須恵器（完存品を含む）が多量に出土した。また鳥羽離宮跡（63年度TB41・44）の調査では庭園遺構を検出した。長岡京跡（NG18）では長岡京期の倉庫跡、弥生時代後期から古墳時代前期の竪穴住居、溝、方形周溝墓などを検出した。

以上が本年度の主要な調査成果の概略である。それらの中で、中務省で明らかとなった築地遺構は、平安宮の官衙内の区画のあり方を考える上で重要な資料となるものである。平安京右京七条四坊において発見した弥生末から古墳前期の竪穴住居跡群は、平安京成立以前より山城盆地が集落を営むに適した環境であったことを改めて確認するものである。また平安京左京四条四坊で大量に出土した茶陶器は個体数にして3千点以上あり、今後整理が進めばこれまでの発掘調査の出土品のみならず、伝世品の再評価をも促す画期的な資料となろう。

昭和51年に（財）京都市埋蔵文化財研究所が設立されて以来、京都市埋蔵文化財調査センターの指導のもとに、京都市内遺跡の調査を当研究所が主体的に取り組み初めて今年で13年になる。その間の調査件数は、発掘調査が千件を越え、試掘調査約1500件、立会約8000件の総計1万5千件にものぼる。特に試掘立会調査のもつ市街地における調査法の重要性を認識し、専従の調査員を配置し、京都市内遺跡におけるすべての土木工事に際し試掘あるいは立会調査のいずれかを実施してきた。最近の周知の遺跡内の開発申請は年間約千五百

件、その内発掘調査が実施されるのは約70～80件である。その他の遺跡は十分な保存対策も打てずに消滅していくのが現状である。そうした土木工事によって壊される遺跡は、試掘立会という調査法によって最小限の土層堆積状況図、遺物採集、写真撮影等の記録保存をおこない、一定の調査記録の質を維持することに努めてきたのである。我々はその1件1件についての調査のデータをコンピュータにデータベース化を図り、京都市内の各時代における遺跡の分布状況、残存状況、遺跡の深度、土壌の堆積状況、旧地形、古環境、地下水の変動、火山灰層の分布等の情報を広範囲にわたって収集することに成功しつつある。その成果は遺跡の保存調査研究のために極めて重要な基礎資料となっている。それはまた市街地の再開発によって大部分が破壊消滅した状況の中では唯一の記録された調査データでもある。すべての遺跡に遍在することを主要な目的とした試掘立会調査は、その一方において新たな遺跡の発見に精力的に取り組んできた。いわば遺跡保存に対しての水先案内人としての役割を担うと同時に、京都の遺跡の診断書と処方箋を描いてきたといえる。都市再開発の波の押し寄せるなかで試掘立会調査は、遺跡最前線での防波堤の役割をも果たしてきたのである。

そのような状況の中で、平安京跡を中心とする京都市内遺跡の保存調査を京都市埋蔵文化財調査センターと一体となって組織的に取り組み数多くの成果をあげてきたが、一方において歴史都市としての古都京都の風景が失われつつあるのも事実である。なし崩し的な市街地の再開発は、いたるところで古都の風景を破壊し、変貌せしめ、消滅させつつある。それは取りも直さず地下に埋もれる平安京の都が、根こそぎ破壊されていく過程でもある。たとえそれが都市機能としての京都の進歩発展を意味するとしても、それは同時に千二百年にわたって培われて来た歴史都市京都の存在が日々希薄化していく過程でもあろう。

II 平安京左京四條四坊 (HL104)

1 調査経過

調査地は中京区三条通柳馬場東入ル中之町9に所在する。当該地は平安京左京四條四坊九町に該当している。1989年9月、マンション建設の工事が実施されたため、工事にともなって立会調査を行なうこととなった。

調査地周辺は平安時代から現代にいたるまで民衆の生活の場でもあり、平安時代後期では源経信(1016~97)等が住居を構えていたようである。また桃山から江戸時代初めは各種の商家が立ち並んでいたことが古文書などからうかがえる。

調査に当たってはこのような歴史的背景に留意しながら行なった。そして調査の結果、平安時代から近世に至るまでの遺物を認めることができたが、特に江戸時代初期の遺構群から大量の茶陶器関係の遺物の出土をみた。そのため引続いて立会調査を実施することとなった。調査に当たっては原因者・工事関係者の協力を得た。調査は1989年9月29日から10月4日まで行なった。

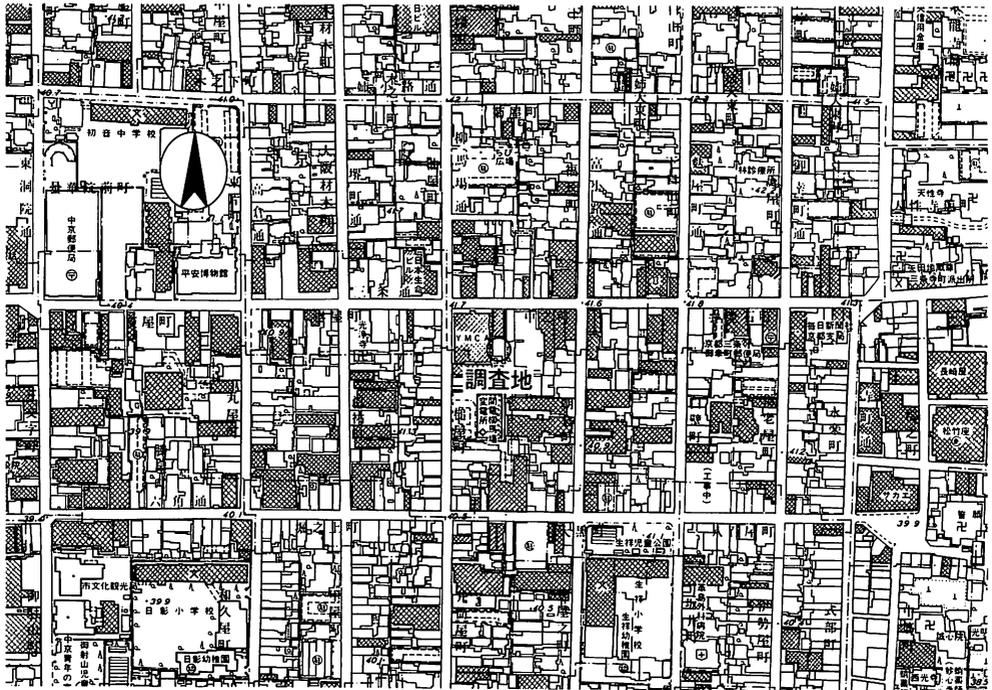


図1 調査位置図(1/5000)

2 遺 構

調査地の敷地は三条通に面しているが、北半分は既にマンションが建築されており、南半分で更に増築する形での工事である。

今回は立会調査であるため、平面的な遺構の確認はほとんど不可能であり、基本的に断面の土層観察によって遺構を確認したものである。その土層断面図をもとにして、また一部平面的な調査を行なうことができた部分もあるため、これらをもとに復原したのが図2である。また調査経過で述べたように、この調査は茶陶器を包含する遺構が主であると考えられるため、これらについての報告を主として行なうこととする。

調査地での基本土層は現地表から、現代盛土及び江戸時代後期以後の堆積土が約1.5～1.9m認められる。そして現地表下2.5mで茶褐色粗砂の地山が認められる。以下に報告する遺構群は現代盛土及び江戸時代後期以後の堆積土の下層で検出したものである。

S K 2 調査地の西端中央部で検出する。現地表下1.2mで、径2.5m以上・深さ0.9mの規模を持つ遺構である。埋土は大きく3層に分層で、上から茶灰色泥砂層・暗灰色泥砂層・褐灰色泥砂層となっており、埋土には多くの炭が認められる。そしてこれらの土層は、西に向かって落ち込んでいる様子が断面観察により明らかとなっている。この遺構の埋土は全体に湿気を多く含んでおり、池状の遺構と考えたほうが適切である。遺物は各土層から出土するが、中・下層からのものが多い。

S K 3 S K 2の南端部の下層遺構である。規模は径1.2m・深さ0.5mを測る円形の土壇である。埋土は暗茶灰色泥砂を基調としており、底部には厚さ1～2cm程度の炭層が認められる。

S K 5 調査地中央部東寄りで検出する。遺構の全容は明らかではなく、径0.7m前後、深さ0.5m以上を測る。埋土は茶灰色泥土の単一層である。この遺構からは大型の遺物がま

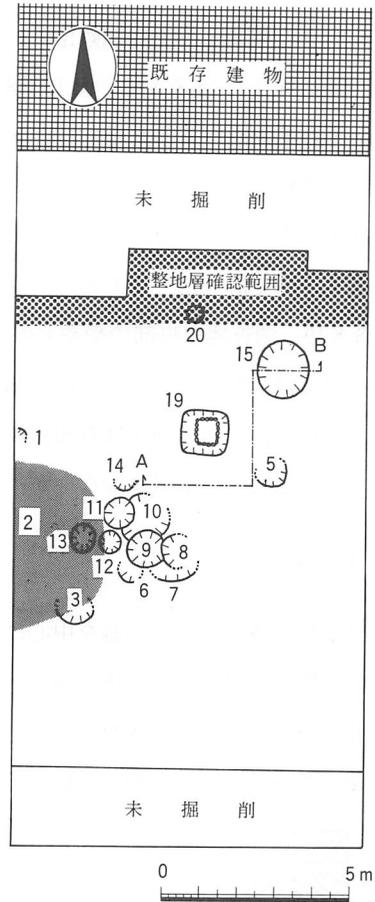


図2 遺構配置図(1/200)

とまって出土している。

S K 15 調査地の北東で検出する。現地表下1.9mから掘り込む遺構である。その規模は径1.5m、深さ1.9mを測る。埋土は8層に分層でき、上から5層はほぼ水平堆積を呈している。また第4層以下は水分を多く含む泥土を主としている。第6～8層は北東方向から埋まった様相を呈している。

埋土に水分を多く含んでいることや他の遺構と比べて深い掘形を持つところから、この遺構は井戸であったと考えるのが妥当であろう。

S K 19 調査地中央部のやや北寄りで検出する。この遺構は一辺0.6mの規模をもつ方形の石組遺構である。掘形は一辺1.2mある。石組は底部から0.65mを測り、上部には石組は認められなかった。埋土は石組内では暗灰色泥砂層、上部は黄灰色砂層であった。この遺構からの遺物の出土量は少ないが、完形の織部平向付が一点出土している。

3 遺 物

出土した遺物は、茶陶器を中心に遺物整理箱で92箱分出土した。立会調査という調査方法の性格上、出土した遺構・層位が明らかでないものが多いが、一部遺構・層序毎に遺物を取り上げることができた。出土した遺物が多量であるため、現在も整理作業を継続して行なっている。そのため、今回はS K 15を中心として概要を報告し、残余および全容につ

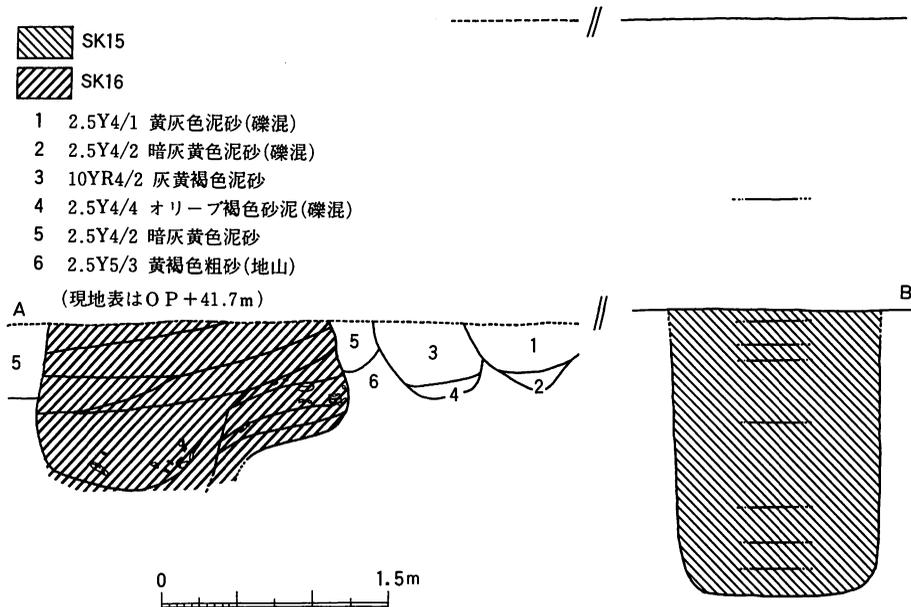


図3 遺構断面図(1/50)

いては別の機会に報告してみたい。

S K 15の遺物

先述したように、この遺構は土壙であるというよりむしろ、井戸としての性格を考慮にいたしたほうがよいと考える。この遺構からは遺物整理箱で三十箱余出土しており、今回の調査では質量ともに最大の出土である。出土した遺物は800点以上を数えることができ、その種類は織部焼、志野焼、唐津焼を中心として、土師器、瓦、輸入陶磁器、鉄釘等があり、多岐にわたる。

(イ)織部焼 出土遺物の中で最も多く、全体の半数以上の出土をみる。その種類も多様で、青織部、赤織部、鳴海織部、織部黒、黒織部、志野織部などに分類できる。器形では碗類、鉢類が出土の多くを占めており、約8割である。その他に香合、燈明具、水注などを確認することができる。

碗類には筒形、沓形、盃がある。筒形碗は基本形としては円形に作り、それを様々な形に成形している。釉色は緑色をベースとしており、草花、鳥、木の葉、船などの文様が描かれている。

沓形碗(図版25)も厚手の円形の土器の両端部を押さえて歪めることによって一方を吸い口とする。器体に釉をかけた後掻き落して文様を描くものもある(図版25-7・8)。文様には草花、梅花、鋸歯、格子状などがある。底部には「メ」、「ニ」、「T」などのヘラ記号を施すものが見られ(図4)、「メ」が最も多い。また花押を墨書(4ヶ所)しているものもある(図4)。

鉢類には鉢、向付(平、筒)などがある。平向付(図版28)は型に粘土板を入れ、後に脚部を付けて成形している。器形には鉤形、傘形、扇形など多くの種類があり、現在確認しているものだけで39種類ある。文様意匠は梅花、草花、亀甲文、鳥、樹木などがある。なかには釉をかけた後、ヘラなどで掻き落して鳥などの文様を構成しているものもある(図版8-35)。筒向付(図版29-36~39)には方形、六角形、八角形、円筒形、花形などがある。現在確認しているものだけで12種類ある。文様意匠は梅花、草花、亀甲文、鳥、樹

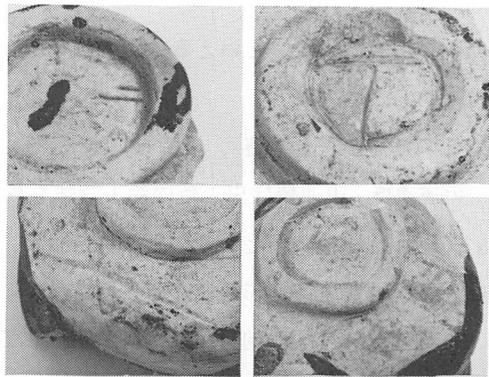


図4 沓茶碗底部

木、V字形などがある。

皿類は丸皿が中心であるが、ほかの遺物と比べると数量は少ないといえる。高台を付けるものとそうでないものがある。文様は中央に花卉を配したものや草花をあしらったものがある。

図版24-5は注口部が一部破損しているものの、ほぼ完形の水注である。底部には3箇所脚を取付けて高台とする。体部は緑色の釉色を基本として3箇所に草花(?)文様が描かれている。

その他香炉、香合、燈明具などがある(図版30)。香合は蓋部が破損しているものの、身部とセットになるものも出土している(図版30-49)。燈明具の身部は内部底面から端部にかけて燈芯受けを付け、対面には把手を付けている。蓋部は燈芯を通したり、把手との組み合わせを可能にするための切り込みが何箇所がある(図版30-50・51)。

(図)志野焼 出土遺物の約4分の1を数える。器形は多くの種類が確認できるが、鉢類が最も多く、以下、皿類、碗類の順になる。この中には無地志野、絵志野、赤志野、鼠志野なども含まれている。

鉢類(図版27-23・24)には方形、円形、段を有するものなどの形態がある。文様意匠は草花、鳥、亀甲文、松木、風景を描くものがあり、端部辺には珠点を配するものが見られるのが特徴である。このうちいわゆる向付には円形、方形、長方形、五角形などの形態があり、段を持つものもある。文様意匠は鳥、草花、梅花、亀甲文、格子状などを主とする。

皿類は菊皿が比較的多く、22弁を配し全面に釉を施す。文様装飾は施していない。径12.7cm、高さ2.9cmを測る(図版27-26)。比較的大型の皿の出土も見ており、草花文様が多い(図版27-24・25)。

碗類の数は少ないといえる。碗のほかに、沓形茶碗、筒茶碗、茶碗が若干量見られる程度である。

このほかに香合(蓋)、燈明具(身・蓋)、水指などを確認することができた。

(図)唐津焼 唐津焼は出土数の約1割強を数える。器種の傾向としては鉢類が最も多く、次いで碗類、瓶類の順となる。唐津焼も胎土、釉色、製作手法などの違いにより、美濃唐津、絵唐津、三島唐津、彫唐津などと称されているものを確認することができる。

鉢類には鉢の他に向付、筒向付が出土している。これらは円形のもの为主体としており、端部を加工して様々な形態に成形しているものが多い。文様意匠は樹木を配したものが多く、草花、梅花、などがある。胎土には大きく分けて灰色系統のものと、赤色系のものが

あり、前者の方が量的に優越性を示す。そして数少ないが、胎土が白く釉色は唐津焼と同系色の美濃唐津も出土する。

片口鉢も2点であるが出土している。うち1点はほぼ完形である(図版24-3) 径19.5cm、高さ13.4cmを測り、一方に注口がある。外面は緑がかった釉色で、内面には青海波紋の叩き文様が認められる。

碗類も基本的には鉢と同様の傾向を示している。このうち1点であるが沓形茶碗もある。

瓶類には花生(図版24-4)、水指(蓋も含む)などがある。花生は底部の径12.5cm・高さ29.0cmを測り、胴部の中位では土を押さえ付けて変形させている。外面は線刻を施して文様構成をしており、彫唐津と呼ばれる種類である。端部には径7mmの穴を穿っている。

皿類は量的には少ないといえるが、このうち三島唐津と呼ばれるものがある。残存率は半分弱である。形態は八稜形を呈しており、白土の刷毛引きを施した後線刻して文様とする。

(二)陶磁器 青磁、白磁、染付などがあり、国産、外国産のものが認められる。国産のものは染付碗を主としており、なかには同じ文様のものが数点認められる。外国産のものは中国(明)のものが多く、李朝青磁も数点認められる。皿、碗、盃、盤などがあるが、ほとんどが破片である。

(三)土師器 土師器には皿、鍋、焙烙(灰器)、塩壺、甕などが少量であるが出土している。皿は破片のみで実測可能なものはないが、桃山から江戸時代初期の特徴を示している。焙烙は復原径28.0cm、深さ12.4cmを測り、端部を内側に折曲げる。端部は格子目の叩き痕が何箇所かに認められる。他に瓦質土器(火舎)も出土する。

(四)その他 今まで紹介した遺物に比べて出土量は少ないが、美濃伊賀・水指など、黄瀬戸・茶碗?、備前・茶入(図版29-43)、信楽(水指・壺・鉢)、瀬戸美濃・天目碗(図版26-17)上野、高取?などが出土する。

その他の遺構

先に述べたように、まだ整理の途上にあるため、具体的な数値などを挙げることは差し控えるが、SK3では織部焼の出土が少ないことが確認できている。このことから、それぞれの遺構によって比率が異なっていると考えられる。この遺構からは、唐津焼瓶(図版24-2)鉢(図版26-15)、産地不明の角向付(図版29-39)などが出土する。

SK5からは比較的大型の遺物の出土が目立っている。水指(図版24-6)は美濃伊賀焼で体部を方形に成形し、底部は平たく作る。口縁は内側に折り曲げて蓋受けを作る。径19.0

cm。高さ19.5cmを測る。図版24-1の皿は三彩風の釉が全面に施されており、内面には線刻で鳥、草花の文様が描かれている。

4 まとめ

今回出土した遺構・遺物について気づいた点について以下のように個条書きにしておくことにする。

① 遺構の検出状況は、調査地の中央部および西よりに集中しており、北辺部ではほとんど検出していない。かわって固くしまった整地層が認められることから、調査地の北半部は居住用地もしくは上屋の存在が指摘される。南半部はSK2のような池状遺構が認められるところから、それ以外の用地もしくは空閑地であったであろう。

② SK2とSK4との層位関係から少なくとも2時期の存在が考えられる。しかし出土する遺物からは近接した時期幅になるであろう。その時期は共伴する土師器皿などから江戸時代初期に該当すると思われる。またSK2の埋土には炭が混入していることや出土遺物にも焼けたような痕跡が認められるところから、SK2は火災の発生後に埋まったものと考えられる。

③ 一部には並んだ様子がうかがえ、同程度の規模の遺構があることなどから貯蔵用のそれであった可能性も捨てきれないが、遺物の出土状況からすれば投棄したと考えた方がより適切であろう。

④ 出土遺物には出土量に比して、完形品が極めて少なく、大半が破損したものである。また焼け歪んだものや焼成不良品、窯道具が付着するものが多く、窯道具も同時に出土している。

⑤ 江戸時代の古地図、文献資料を参考にすると、当該地周辺の三条通りは、中野丁と書き込まれている（寛永14年〈1637〉『洛中絵図』）他、せと物丁（寛文後期『洛中洛外之絵図』17世紀中葉）とも呼称されていたこともあるため、これらの品物を扱う商業区域であったことも考えられる。

⑥ これらの点から、調査地の古い時期の遺構の持つ性格は瀬戸物（陶器）を扱う商家であったということができるとであろう。そして搬入した陶器を当地で撰別し、不要品を廃棄したのではないだろうか。17世紀後半の史料（元禄2年〈1689〉『京羽二重織留』）によれば、諸国買物問屋、諸国絹問屋、両替屋などが集中している様子がうかがえるが、具体的な人名などは現段階では特定することはできない。

III 室町殿跡隣接地 (RH18)

1 調査経過

調査地は、上京区衣棚通今出川上がる畠山町206他に所在する。当該地は、室町幕府の將軍邸宅跡室町殿（別名家の御所）の西半町ばかりのところである。1989年10月に当該地にマンション新築工事が計画されたため、工事に先立ち試掘調査をおこなうことになった。試掘調査は1989年10月23日に実施した。調査の結果、敷地中央部において室町時代の溝、土壌等を検出し、室町殿と同時期の遺跡が残存することを確認した。当地は周知の遺跡隣接地であったが、原因者である佐伯建設工業株式会社の協力を得て、発掘調査を実施することになり、1989年11月13日から12月5日までの間調査をおこなった。調査面積は東西10m南北8mの約80㎡であった。

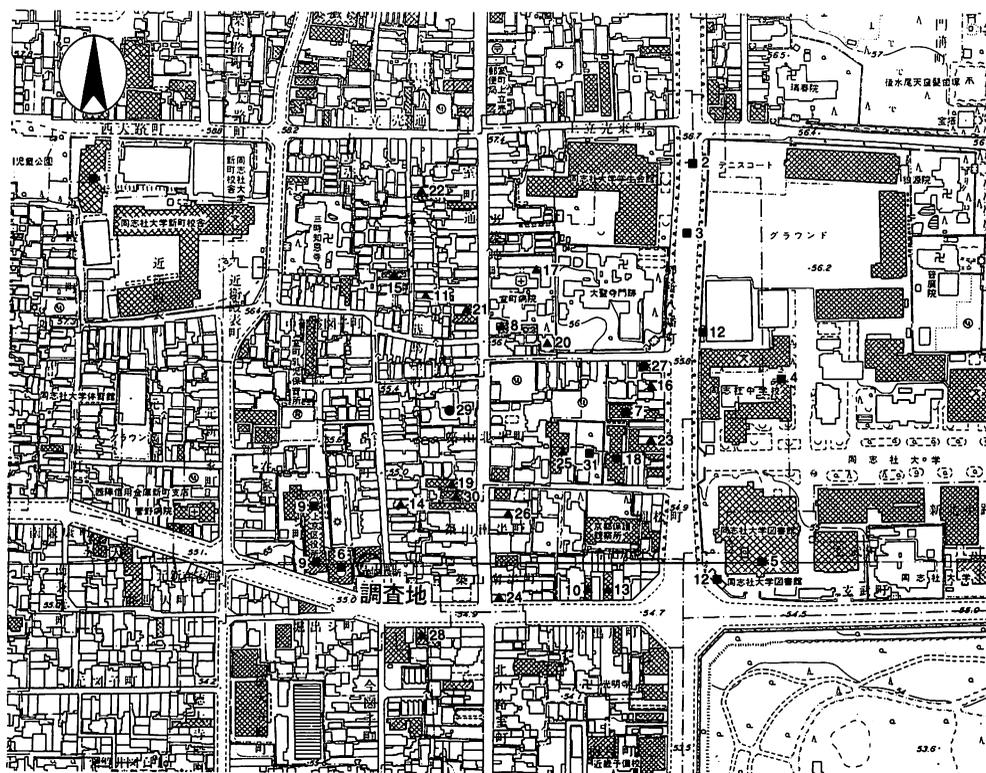


図5 調査位置図及び既調査地点(1/5000)

2 遺 構

基本層序は、盛土及び江戸時代の土層が地表下1.4mまであり、標高53.5m前後で平安時代と室町時代の遺構が、ほぼ同一面において存在する。それ以下は、黒褐色砂泥、黄褐色砂泥、黄褐色砂礫の順で土層が堆積し、いずれも無遺物層である。

遺構は、平安時代前期から江戸時代のものがあり、土壌、溝、柱穴、井戸など約60基を数える。ここでは主要な遺構についてその概略を述べる。

S X 52 東西1.77m以上、南北1.1m以上、深さ0.16m以上の規模をもつが、掘形の西肩の一部を除き各辺が後世の遺構などにより削り取られ全形を知り得ない。埋土は暗褐色砂泥層で土中には10~20cmの河原石と共に面取りを施した凝灰岩片が混入する。

S X 53 S X 52と同様全形を知り得ない。南北2.2m以上、東西2.0m以上、深さ0.2mの規模をもつ。埋土はS X 52と同色。炭の混入が多くみられ、土器、瓦などが二次焼成を受けた状態で出土した。

S X 51 調査区南東において検出した大土壌である。南北4.0m以上、東西4.3m以上、深さ1.0mの規模をもつ。埋土は砂礫と砂泥の互層によって固く整地されている。底面はややシルトに近い土層が薄く堆積する。

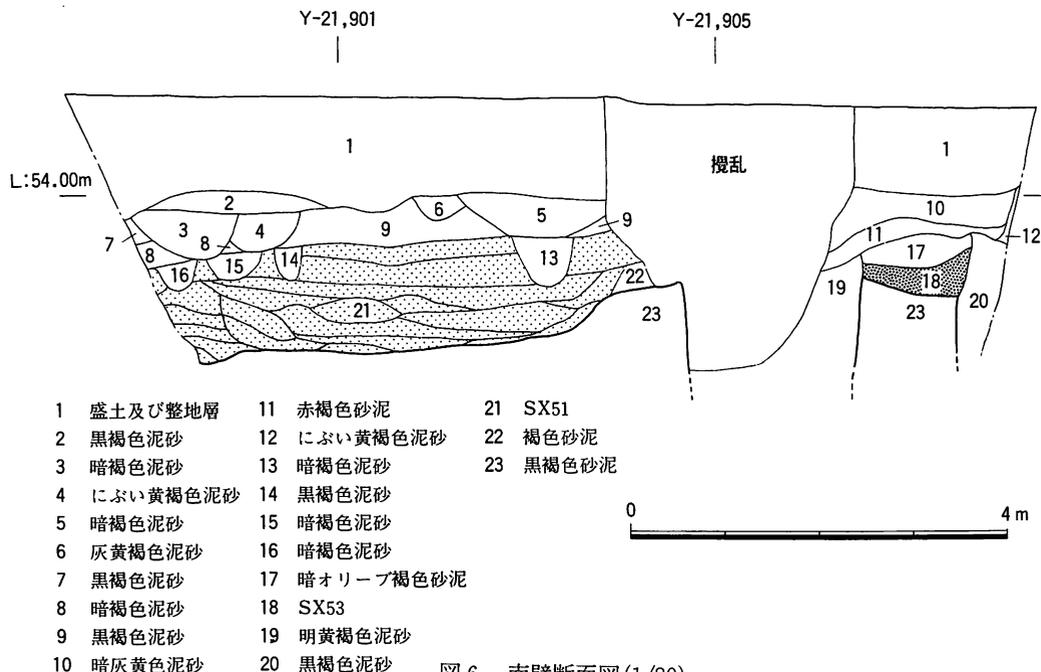
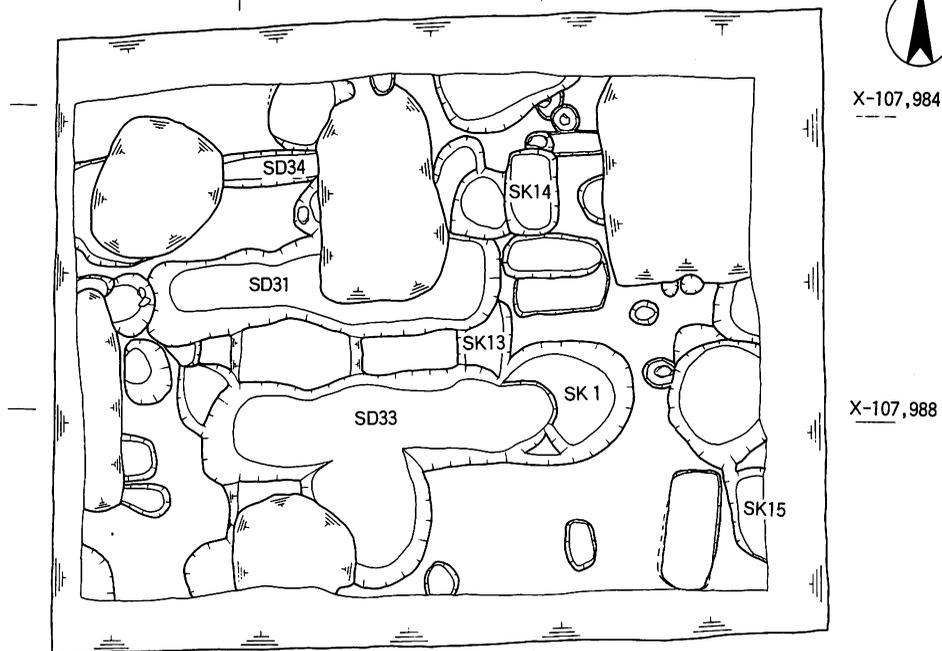


図6 南壁断面図(1/80)

室町時代以降

Y-21,906

Y-21,902



Y-21,906

Y-21,902

平安・鎌倉時代

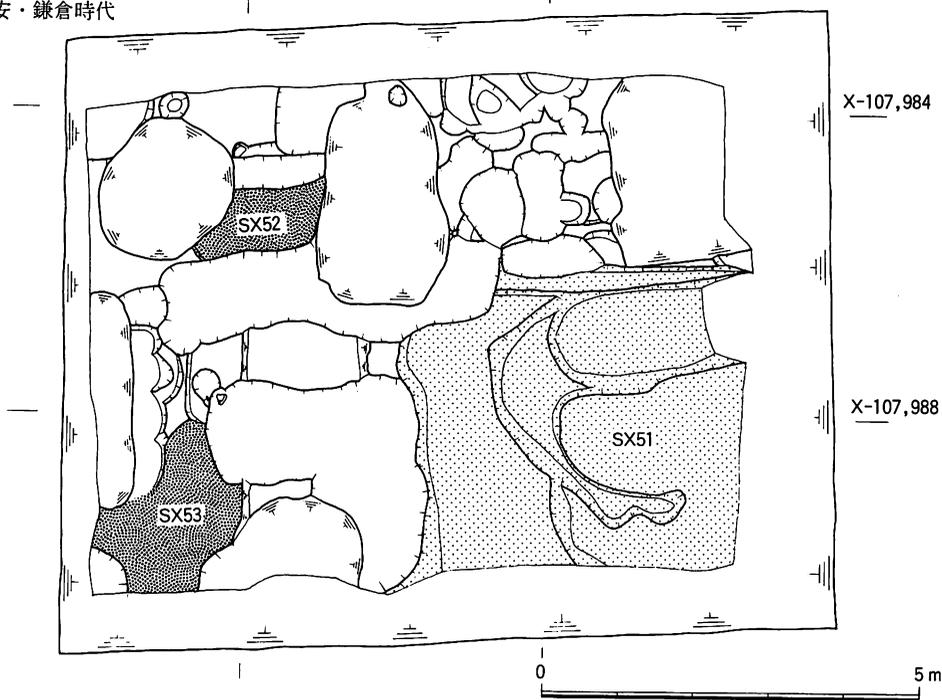


図7 遺構実測図(1/100)

S D31 幅1.25m、深さ0.44mのU字形の掘形をもつ東西溝である。東西長4.7mで両肩が立ち上がる。堆積土はにぶい黄褐色砂泥層で、溝底には顕著な腐植土層はみられない。上部より多量の土器類が出土した。出土遺物の大半は土師器皿で完存品を多く含む。

S D33 S D31より0.5m南に並行して位置し、幅1.3m、深さ0.5mでS D31と同規模同形の掘形をもつ東西溝である。堆積土はS D31と酷似する。

S D34 東西方向の溝である。幅0.47m、深さ0.41m程ある。堆積土はにぶい黄褐色系の泥土である。完存品の土師器皿が多量に出土。

S K13・14 長径1.25m、幅0.6m、深さ0.3m程の掘形をもち、南北方向に軸をそろえる。掘形内には10～20cmの河原石が多量に投棄されていた。近世陶磁器が出土。

以上の他に根石を持つ柱穴が10基程あるが、建物配置を想定するまでには至らなかった。

3 遺物

出土遺物は整理箱で26箱ある。大半が土器類で、大部分が室町時代のものである。平安時代末期から鎌倉時代のものが次に多く、平安時代前期のものも少量ある。

土器類

S D31出土土器 (図8-1~21) 土師器皿は大きさによって4種類に分類できる。口径が7cm前後、器高が1.5cm前後のもの(1~9)、口径が8~9cm、器高が1.5~1.7cmのもの(10~13)、口径が11cm前後、器高が2cm前後のもの(14~17)、口径が13.5cm前後、器高が2cm前後のもの(18~20)がある。胎土はいずれも灰白色を呈する。瓦器三足鉢(21)は口径19.4cm、器高13.6cmを測る。体部外面は縦方向に密なへら磨きを施す。口縁部内面3cm程の幅で横方向にへら磨きを施す。体部内面は横方向のナデ調整、底部と体部の内面に粘土つなぎ目痕が明瞭に残る。底部外面は1cmの幅で周縁を面取りする。

S D33出土土器 (図8-22~36) 土師器皿は口径6cm、器高1.7cmのもの(22・23)、口径8cm、器高2cmのもの(24・25)、口径14cm前後、器高2cm前後のもの(26~30)、口径16cm前後、器高2cm前後のもの(31~34)の4種類がある。瓦器羽釜には大小2種類がある。35は口径24cm、鏝径27.5cmを測る。体部内面ナデ調整。鏝上部は丁寧に横ナデ調整、下半は指圧痕顕著に残る。胎土は砂粒をほとんど含まず精良。36は口径17.5cm、鏝径20cm、復原器高9.2cmを測り、小振りである。体・底部内面は横方向のハケ目調整を施す。

S D34出土土器 (図9-37~46) 土師器皿は大小2種類ある。口径7cm、器高1.5cm弱のもの(37~41)、口径11cm、器高1.8cmのもの(42~46)がある。灰白色を呈する。

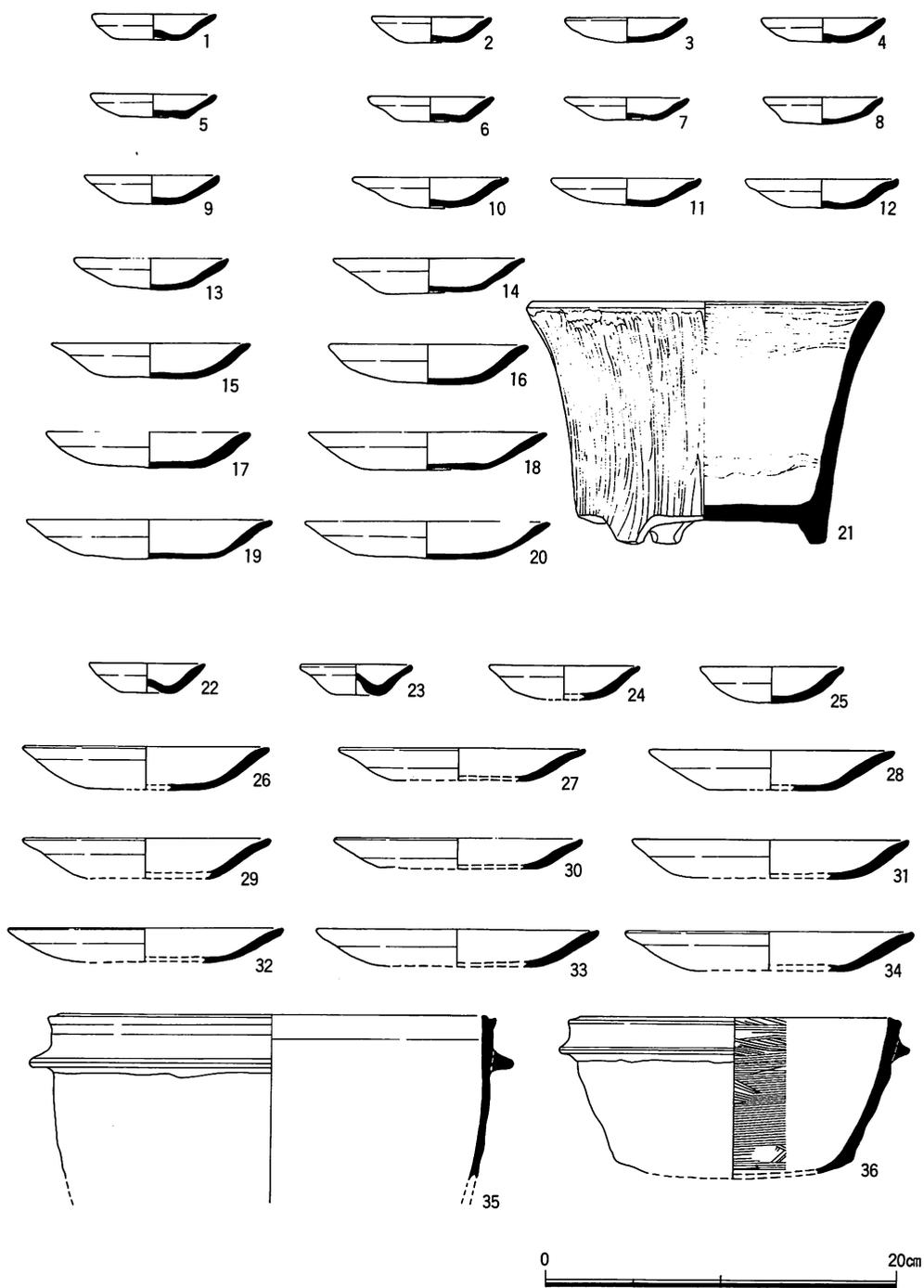


图8 SD31·33出土土器实测图(1/4)

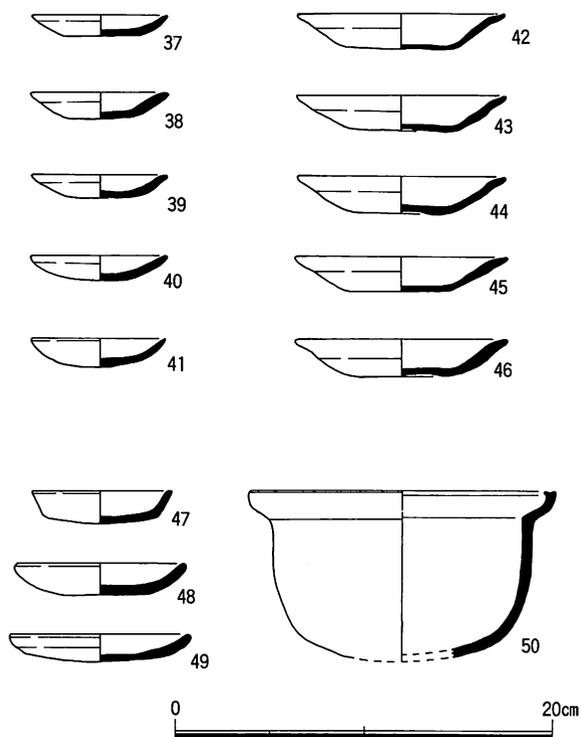


図9 S D 34・S X 51出土土器実測図 (1/4)

S X 51出土土器 (図9—47~50) 土師器皿47は口径7.4cm器高1.7cmを測る。胎土は微砂粒を含み粗く、暗褐色を呈する。48・49は口径8.8~9.3cm、器高1.4~1.6cmを測る。49の内面には炭化物が付着する。胎土は褐色を呈する。瓦器鍋(50)は口径16cm、復原器高9cmを測る。内面はナデ調整、外面頸部は指圧痕顕著に残る。外面全体にススが付着する。

以上の他にS X 52より土師器、須恵器、S X 53より土師器、須恵器、黒色土器、緑釉陶器などいずれも平安時代前期の土器類が出土しているが、図示するまでに至らなかった。

瓦 類

単十六弁蓮華文軒丸瓦 (図10—51) 大きな中房に1+8の蓮子を配し、花卉は相互に接し、外区には花卉に対応するように16個の珠文を配す。周縁は丸みを帯び、瓦当部外周には、成形時にできた型枠の痕跡が一部認められる。いわゆる「かせ型」である。二次焼成を受けている。胎土は若干の砂粒を含み精良、焼成は甘く、灰黄色を呈する。北野廃寺跡出土の同系統の瓦には、外区に「近」の銘を持つものがある。S X 53出土。

三巴文軒丸瓦 (図10—52) 復原瓦当径11.3cmの小型の瓦である。外区を持たない右巻きの三巴文である。巴は長い尾を引く。瓦当外周上部はへら削りを施し、瓦当裏面はナデ調整を施す。胎土は砂粒を含み、焼成はやや甘く、暗灰色を呈する。S K 1出土。

剣頭文軒平瓦 (図10—53) 文様は瓦の大きさに合わせて小振りの剣頭文を配す。范の彫りは深く、0.4cmを測る。瓦当外周上下部にへら削りを施す。平瓦部凹面には細かい布目圧痕、瓦当上端から5cm程はへら削りを施す。平瓦部凸面には指圧痕が残る。側面はナデ調整を施す。胎土は0.5cm大の小石を含み、焼成は良好、暗灰色を呈する。S K 15出土。

平瓦 (図10—54) 長径19.7cm、短径12.2cmを測り、ほぼ長方形である。凹面、凸面、側

面共に平滑に仕上げる。一部凸面の広端部付近に糸切り痕が残る。胎土は0.5cm大の小石を含み精良、焼成は良好、暗灰色を呈する。S D31出土。

以上の他にS X52・53から平安時代の丸・平瓦が出土している。

4 まとめ

足利義満の創建になる室町殿に関しては文献などから、北小路以北、柳原以南、室町以東、烏丸以西の敷地を占め、室町通りに面して西側に正門を開いていたとされている。今

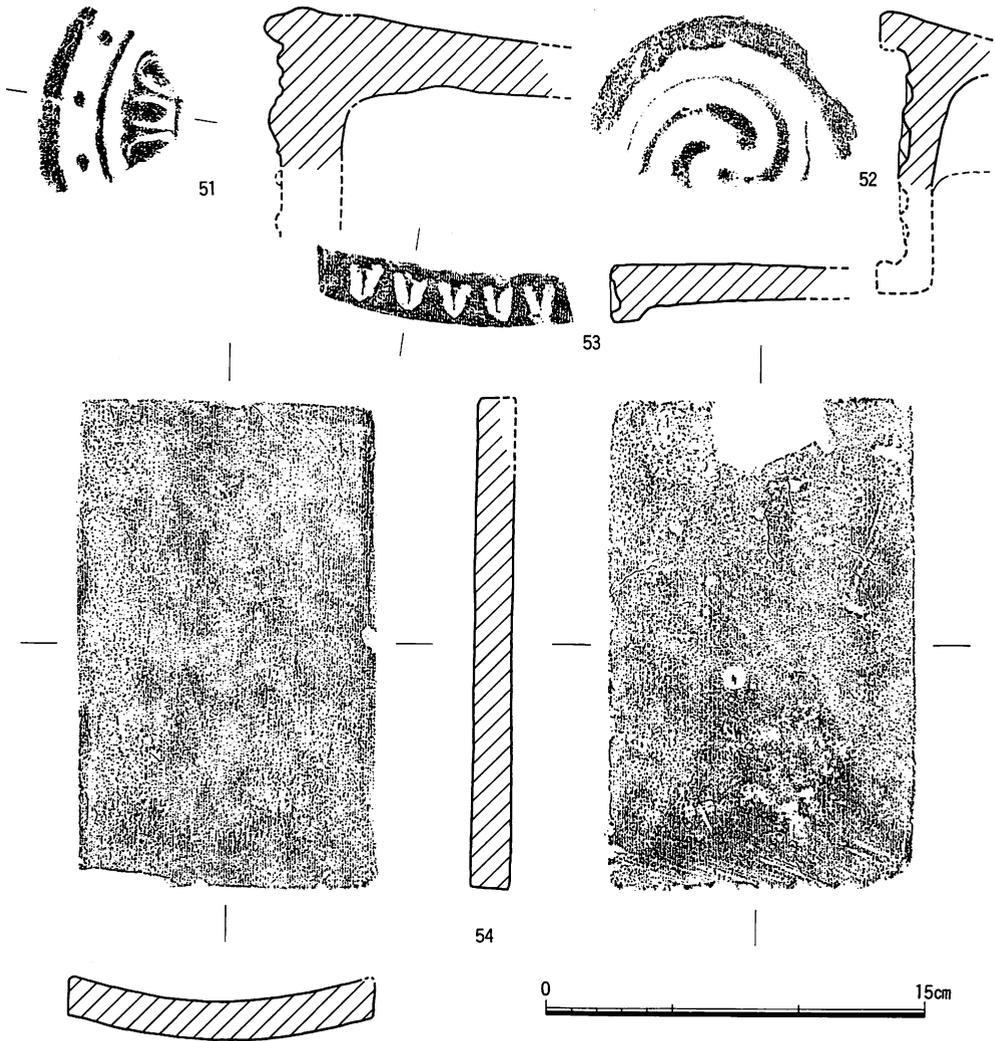


図10 軒瓦平瓦拓影・実測図(1/3)

回の調査地は室町通りより西へ半町ばかりの所に位置するが、検出した遺構群は室町時代のもものが大半である。SD31・33の2条の東西溝は規模形状などから、15世紀後半における室町殿周辺の宅地を区画する溝の一部と考えられる。平安時代前期の土器・瓦が出土した遺構(SX52・53)はその性格が不明なものの、出土遺物がいずれも二次焼成を受けた状態で、瓦葺建物の焼亡を示唆する。

表1 室町殿跡周辺調査一覧表(1989.4現在)

No	所在地	調査年月	調査	調査概要	調査者	文献
1	新町校地北西隅	1974.1	発掘	室町の土壌、堀	同志社大学	同志社大学新町校地内発掘調査中間報告 1974
2	上・烏丸通上立売下る御所八幡町	1974.9	発掘	室町の溝、建物	烏丸線調査会	烏丸線REPORT2・4 1974・1975
3	上・烏丸通上立売下る御所八幡町	1975.10	発掘	検出なし	烏丸線調査会	京都市高速鉄道烏丸線内遺跡調査年報1
4	上・相国寺門前町629	1976.6	発掘	室町の溝、土壌、集石	同志社大学	同志社中学校体育館建設予定地発掘調査概報 1977
5	同志社大学図書館	1976	発掘	詳細不明	同志社大学	
6	上・今出川通室町西入る掘出町28	1979.3	発掘	検出なし	京都市埋文研	
7	上・烏丸今出川上る西入る御所八幡町	1979.9	発掘	室町の落込み6	烏丸線調査会	京都市高速鉄道烏丸線内遺跡調査年報III
8	上・室町通上立売下る裏築地町93	1979.10	発掘	室町の包含層	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1979
9	上・今出川通室町西入る掘出町289	1980.2	発掘	室町の溝、土壌、落込み	京都市埋文研	
10	上・今出川通烏丸西入る今出川町319	1980.5	立会	室町の包含層	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1980
11	上・新町通上立売下る瓢箪園子町65	1980.8	立会	検出なし	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1980
12	上・烏丸今出川地下鉄南口及び北口	1980	発掘	室町の土壌、溝	同志社大学	同志社構内地下鉄烏丸線今出川駅地点の発掘調査1981
13	上・今出川通烏丸西入る今出川町325	1981.9	立会	検出なし	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1981
14	上・新町今出川上る島山町203	1981.10	立会	検出なし	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1981
15	上・衣棚通上立売下る瓢箪園子町60	1982.1	立会	検出なし	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1981
16	上・烏丸通今出川上る御所八幡町110	1982.6	立会	検出なし	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1982
17	上・室町通上立売下る裏築地町88	1982.7	立会	検出なし	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1982
18	上・烏丸通今出川上る西入岡松町258	1983.8	試掘	室町の包含層、石室	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1983
19	上・室町通今出川上る築山北半町229	1983.9	立会	検出なし	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1983
20	上・室町通上立売下る東入裏築地町98	1983.11	立会	検出なし	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1983
21	上・室町通上立売下る裏築地町97	1983.12	立会	室町の包含層	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1983
22	上・衣棚通上立売下る瓢箪園子町50	1984.6	立会	検出なし	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1984
23	上・烏丸通今出川上る御所八幡町115	1984.11	立会	検出なし	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1984
24	上・室町通今出川上る築山南半町250	1985.5	立会	室町の包含層	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1985
25	上・烏丸通今出川上る西入岡松町254	1985.7	立会	室町の庭園、庭石	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1985
26	上・室町通今出川上る築山南半町237	1986.8	立会	検出なし	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1986
27	上・烏丸今出川上る御所八幡町110	1986.9	試掘	室町の庭石	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1986
28	上・今出川通新町東入掘出町307	1986.9	立会	室町の包含層	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1986
29	上・室町通今出川上る築山北半町217	1989.1	試掘	室町の整地層	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1989
30	上・室町通今出川上る築山北半町	1989.1	立会	検出なし	京都市埋文研	京都市内遺跡試掘立会調査概報 1989
31	上・烏丸通今出川上る岡松町254	1989.4	発掘	室町の庭園、溝、石室	京都市埋文研	

IV 山科本願寺跡 (RT21)

1 調査経過

調査地は、山科区西野山階町29に所在する。当該地は戦国時代末期の文明10年（1478）に蓮如らによって建立され、天文元年（1532）細川晴元・日蓮宗徒らによって焼亡されるまで寺院としてまた寺内町として繁栄していた山科本願寺の一角と推定される。今回の調査は当地においてマンション建設工事の届出があったため、工事に先だつての試掘調査である。

調査地周辺では1984年度に公共下水道工事に伴う立会調査、1986年度には調査地の北東約50mの地点で石油スタンド改築工事に伴う立会調査が実施されている。また1988年度の立会調査では、調査地の東隣で立会調査を実施したところ東西の石組溝を検出している。このため当調査地でもその延長部の存在が考慮されるところから、試掘調査を実施することとなった。

調査の結果、現地表下約1.3mより溝状の石組遺構を確認した。南側は一部調査地外にな

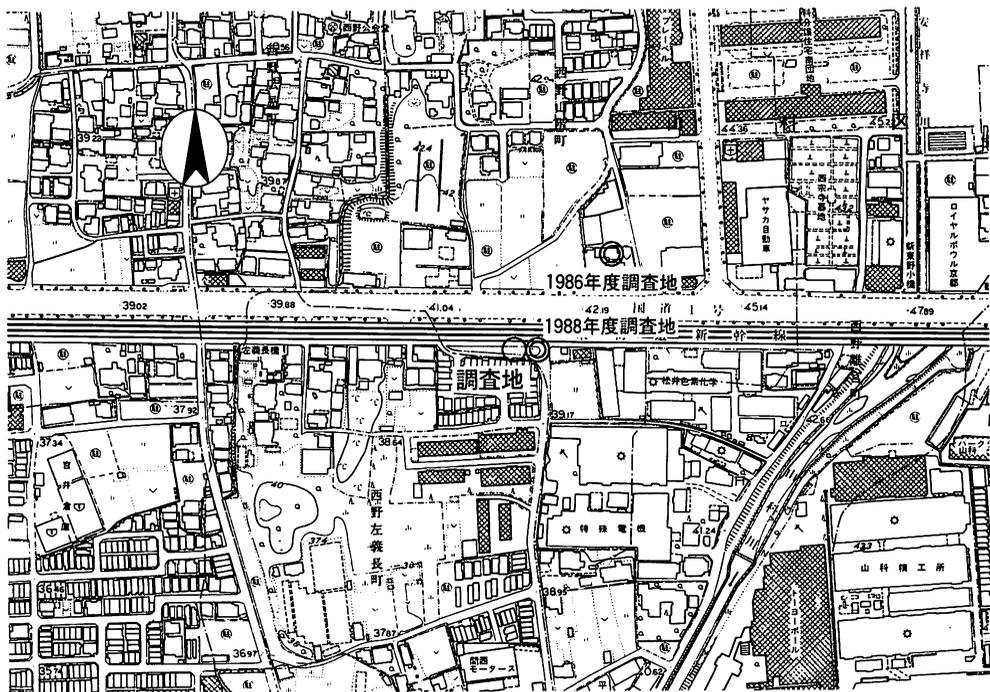


図11 調査位置図(1/5000)

るものの、北側の石組は良好な状態で検出することができた。また調査地中央部では南北の石組溝を新たに確認することができた。調査は、1989年10月2日から10月14日迄行った。

2 遺 構

調査地の基本土層は、上から現代盛土層(0.5m)、旧耕作土層(0.1m)、10Y R 5 / 3にふい黄褐色砂泥層(0.3m)、10Y R 5 / 2 灰黄褐色砂泥層(0.4m)、10Y R 5 / 2 灰黄褐色砂泥層(地山)となっている。遺構は灰黄褐色砂泥層を切って成立している。

検出した遺構は東西の石組溝と南北の石組溝各一条である。東西溝の確認幅は0.8m、深さ0.9mを測り、11.3mにわたって検出した。石組は北側の最も残存状態のよいところで三段ある。南側ではほとんどの石が抜き取られており、小石が散在する程度であった。石組の最下段では一辺が0.5~0.8mの大きさの河原石の平坦面を溝側にそろえて据え、石と石の隙間に径5~10cmの小石を詰めて固定する。上の段も同様の方法で構築している。しかしこの溝の廃絶後には、石が抜き取られた痕跡が随所に見られ、また石を動かした跡かとも思われる様子もみてとれる。多くは抜き取られていた。溝の掘形は0.8m~1.0mあり、径5~10cmの小石や土器で裏込している。

溝の埋土は大きく5層に分層できる。上から3層は遺物の出土も少なく石が若干量ほうり込まれた状態で見つっている。出土する遺物の大半は第4層からで、大量の瓦が出土している。第5層では砂が薄く敷かれたような状態になっており、一時期水が流れていた様子を示している。この土層から土師器等が少量出土している。

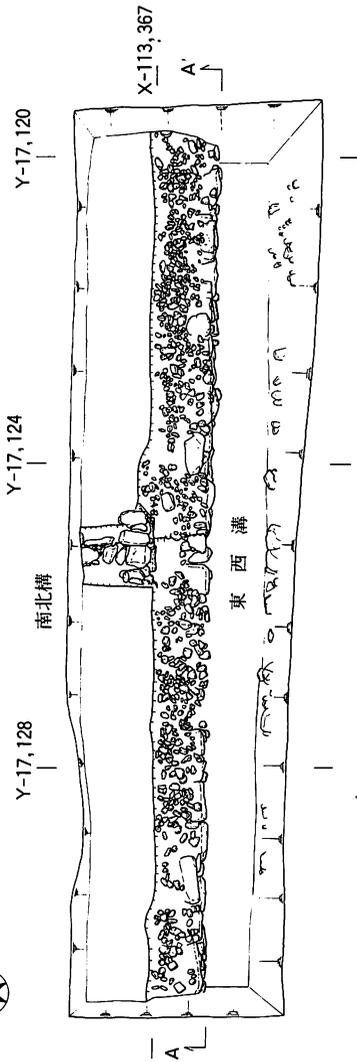
南北溝は内側で幅0.3m、深さ0.2mを測り、長さ1m分を検出し更に北へ伸びる。南端部は東西溝の掘形辺で止まり、約50cmの高さで石を組んでいる。両壁を石で組み、底部にも石を敷く。埋土は黄褐色砂であり、遺物の出土は無い。南端部の石組みは南北溝が切れている部分のみで検出しており、他の面ではこのような遺構は検出できなかった。

3 遺 物

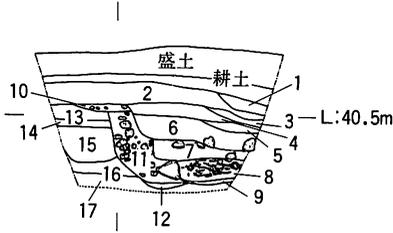
石組溝から出土した遺物は整理箱にして100箱余である。その内容はほとんどが瓦で、この瓦は築地から滑落したというよりむしろ築地が廃棄された時点で埋まったものと考えられる。他に土器類が少量認められる。このうち、実測しえた瓦、土器について報告する。

土器(図13) 土師器は室町時代後期の様相を示すが、小片のみであった。このうち実測可能なものは、図13の土師器皿である。口径は11.0~14.0cm、器高は0.9cm前後を測る。何

遺構平面図



東壁断面図



東西溝立面図



- 1 10YR4/4 褐色泥砂(礫混)
- 2 10YR4/3 にぶい黄褐色泥砂(小礫混)
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐色泥砂
- 4 10YR5/3 にぶい黄褐色泥砂(小礫混)
- 5 10YR4/4 褐色泥砂
- 6 10YR5/3 にぶい黄褐色泥砂
- 7 10YR4/4 褐色泥砂(焼土含)
- 8 10YR3/4 暗褐色泥砂
- 9 2.5Y4/3 オリーブ褐色細砂
- 10 2.5Y5/4 黄褐色泥砂(礫混)
- 11 10YR4/4 褐色砂泥
- 12 2.5Y4/2 暗灰黄色泥土(砂混)
- 13 10YR4/4 褐色泥砂(小礫混)
- 14 10YR5/4 にぶい黄褐色泥砂
- 15 10YR4/3 にぶい黄褐色泥砂(砂礫混)
- 16 10YR4/2 灰黄褐色泥砂
- 17 10YR2/3 黒褐色砂礫

図12 遺構実測図(1/100)

れも底部は平らで、外反して立ち上がる。ナデ調整で仕上げ、外面下半には指押さえを施している。このほか、常滑焼甕の体部も小片ながら出土している。

瓦（図14、15）今回出土した瓦は量が多いが、種類としては比較的少ないといえる。このうち軒丸瓦、軒平瓦、がんぶり瓦についての報告を行うことにする。

三巴文軒丸瓦（図14、T-1）直径12.5cm、内区径9.0cm、27個の珠文をもつ。瓦当全面に石英粒を含んだハナレ砂を使用している。イブシは不完全な銀化が進んでいる。凸面上にはへら磨きが丁寧に行われているが、凹面は細かい布目が残っている。瓦当裏と下顎は丁寧にナデ調整されている。滑り止めは欠落しているため確認できない。胎土は多孔質である。

三巴文軒丸瓦（図14、T-1）直径12.5cm、内区径9.0cm、27個の珠文をもつ。瓦当全面に石英粒を含んだハナレ砂を使用している。イブシは不完全な銀化が進んでいる。凸面上にはへら磨きが丁寧に行われているが、凹面は細かい布目が残っている。瓦当裏と下顎は丁寧にナデ調整されている。滑り止めは欠落しているため確認できない。胎土は多孔質である。

三巴文軒丸瓦（図14、T-2）直径13.0cm、内区径9.7cm、16個の珠文をもつ。瓦当全面に細かいハナレ砂を使用し、特に凹部には多く認められる。全長は26.5cm、玉縁は4cmあり、凹部の滑り止めは瓦当面より17.5cmのところに取り付いている。凹部の布目はあまりはっきりとは残らない。瓦当裏はかなり丁寧にナデ調整されている。イブシは全面にむらなく施されているが、灰白化して風化が進んでいる。

三巴文軒丸瓦（図14、T-3）直径13.0cmで、T-2と同様の瓦当をもっている。瓦当全面にハナレ砂を使用している。凹部の布目には2cm角の紐の圧痕が全面に残っている。瓦当面の後方19.5cmのところへへら切りを5mmの深さに入れ、これが筒部を一周している。そのうち凸部のみ円錐状に6cmの長さに抉り取られている。いかなる使用目的があって施されたのかは不明である。

唐草文軒平瓦（図15、K-1）左右方向20.0cm、上下3.5cm。瓦当面の後方12.5cmの位置まで滑止が取り付けられている。瓦当全面に砂粒によるハナレ砂が認められる。また凸部にも瓦当面の裏10cmの位置に幅11cmの滑り止が取り付けられている。瓦の全長は26cmあって全面に丁寧にナデ調整が施され、イブシも完全な仕上げとなっている。

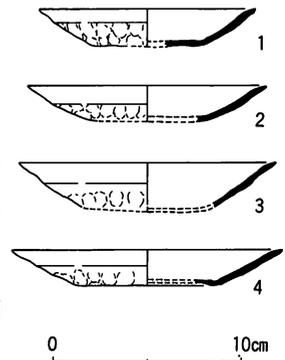


図13 遺物実測図(1/4)

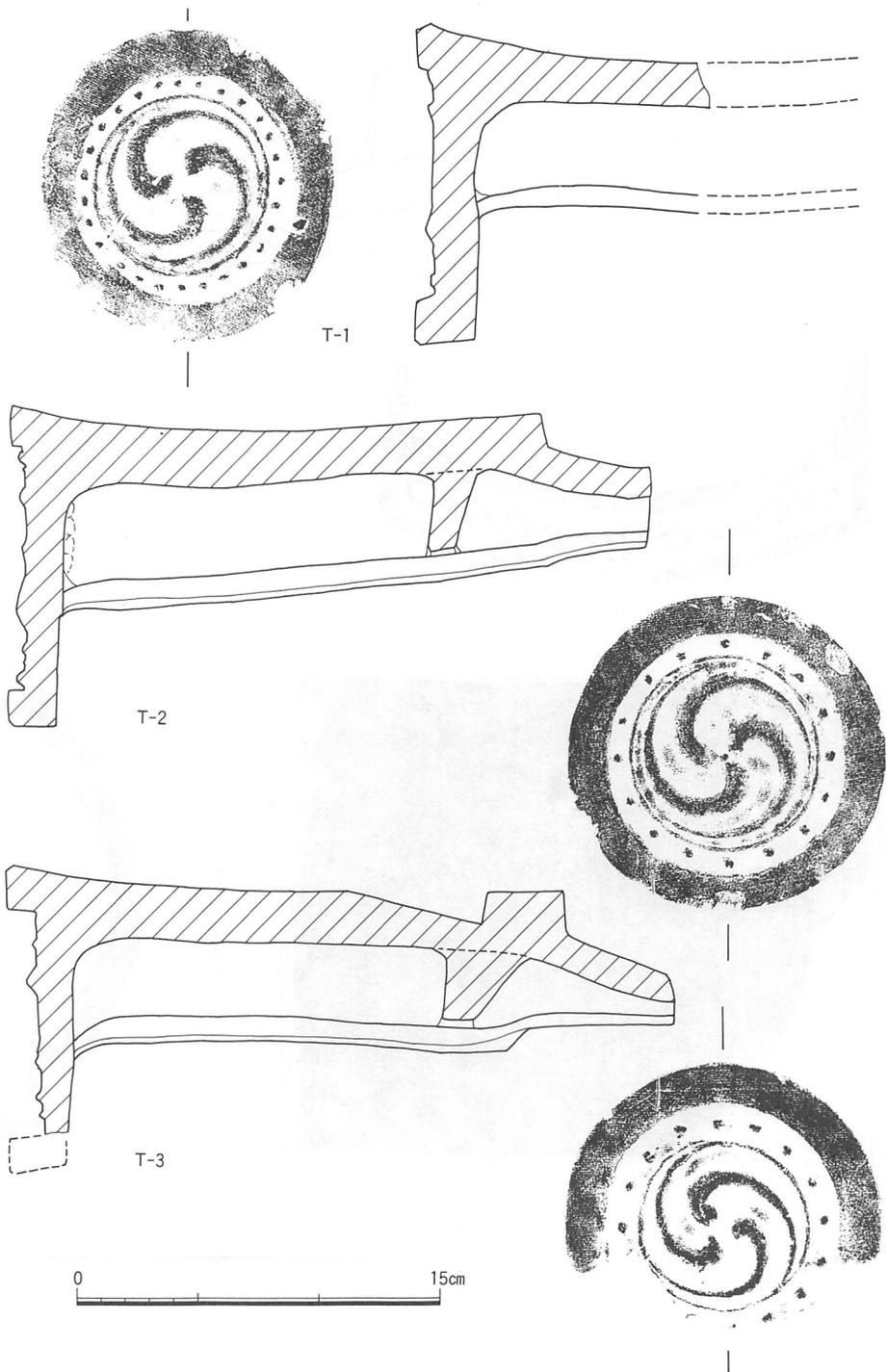


图14 軒瓦拓影·实测图(1/3)

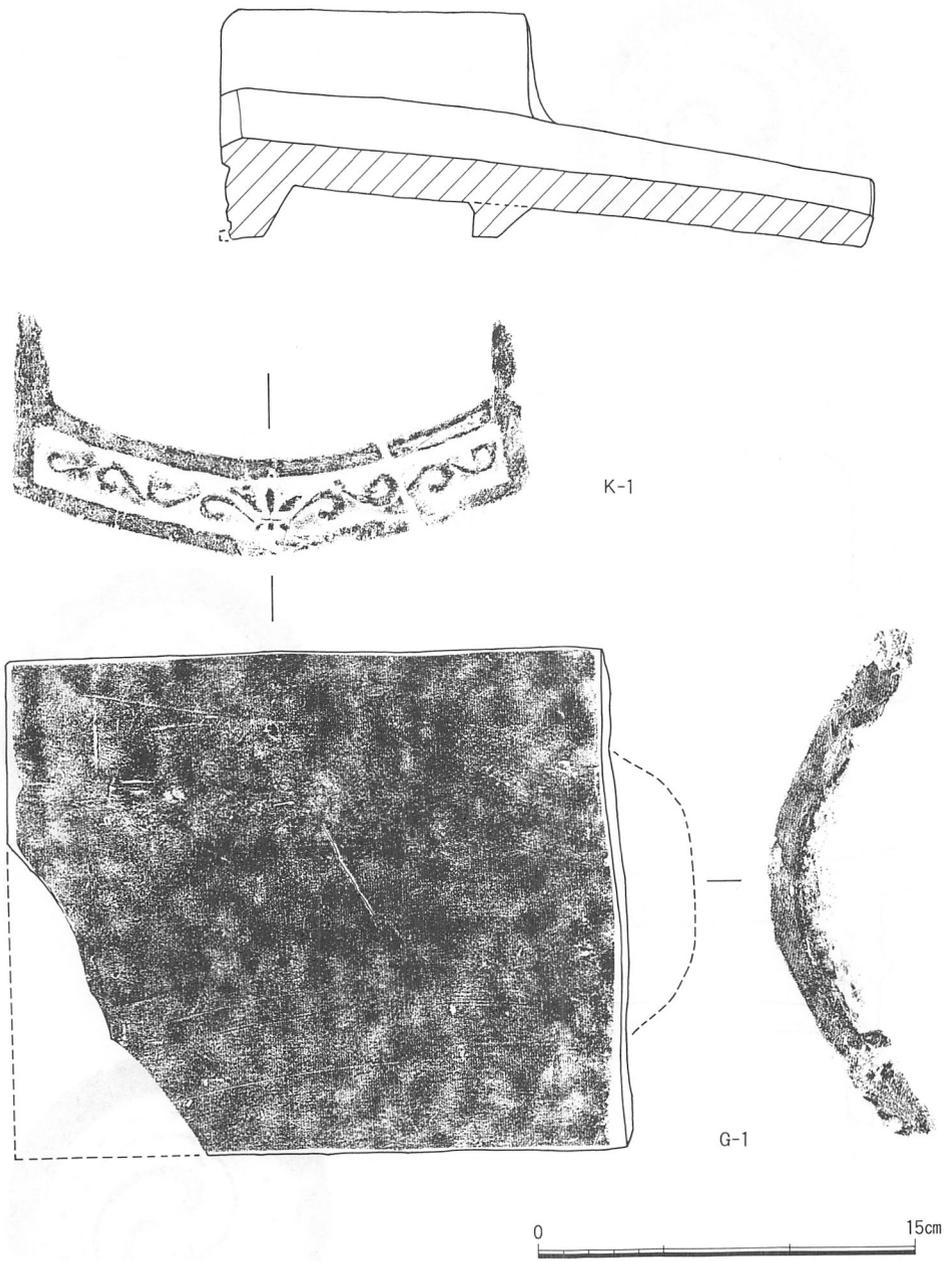


图15 軒瓦道具瓦拓影・実測図(1/3)

がんぶり瓦（図13、G-1） 全長は24cm、幅19.5cmあり、玉縁部は欠落している。凸部は全面をへら磨きされているが、凹部は平行の糸切り痕がよく残り、左側の凹部は4cmのところまで抉り込みが入り、玉縁との結合をよく考えて作られている。

これらの瓦は東福寺三門再建時の応永年間（1394～1428）には成立したものであり、室町時代の寺院系瓦として完成したものである。

今回報告した瓦の特徴は滑り止を取付けていることにある。そしてその滑り止の目的は、釘止によらないで瓦のずり落ちを防止することにあった。鉄釘では穴に打ち込んだものが腐食により膨張して瓦を割るためである。しかしかかる技法による造瓦は非常に手間のかかるものである。

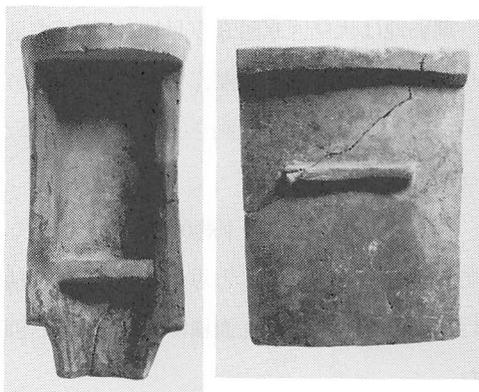


図16 軒瓦裏面

4 まとめ

今回の調査では、昨年度調査で検出した石組溝の延長部が当調査地でも確認され、更に西へ延びることが明らかとなった。そして新たに確認した成果は、南北の石組溝を検出したことである。この遺構は東西溝に取り付いていることと、石組が切れたところでは樹状になっているところから、東西溝に流し込む性格のものであったであろうと推定できる。つまり南北溝の上部に築地等の区画施設が構築されており、敷地の内側から外側への排水施設であると考えられる。そして検出した東西の溝は、築地で囲まれた区画の外側の溝であることができる。

V 伏見城跡 (FD10)

1 調査経過

調査地は伏見区京町3丁目195に位置する。調査地付近は伏見城の城下町であり、京町通りを挟んで町屋が立ち並んでいたものと推定される。当該地で住宅都市整備公団関西支社がマンション建設の計画を立て、掘削工事が行われたため、立会調査を実施することとなった。

調査の結果、現地表下約0.5mで奈良時代の遺物を含む土層を確認した。そしてこれは南北の溝状の遺構になると思われたため、急遽工事の一時中止を要請して引き続いて調査を行うこととした。調査面積は約20㎡、調査期間は1989年5月25日から6月2日までであった。

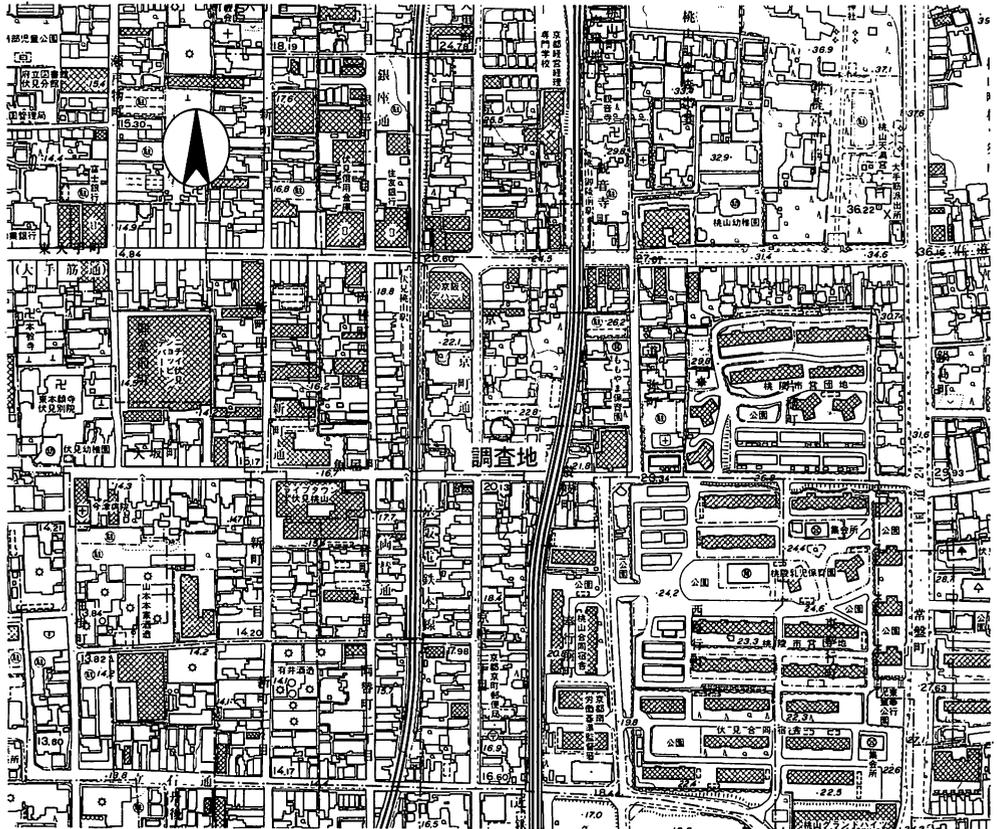


図17 調査位置図(1/5000)

2 遺 構

調査地の基本土層は、現代盛土 (0.5m)、7.5Y R 3 / 4 暗褐色砂泥層 (0.5m)、7.5Y R 4 / 3 褐色砂泥層 (0.5m)、7.5Y R 4 / 6 暗褐色砂泥層 (地山) となっている。7.5Y R 4 / 3 褐色砂泥層は奈良時代の遺物含む土層であり、その層を切って伏見城の時期から江戸時代にかけての遺構群を検出している。

近世の遺構 大小の土壇・ピットを20基近く検出するがそれぞれの性格などについてはよくわからない部分が多い。

このうちSK 9は一辺1.8mの掘形をもち、更に底部では径0.8mの規模を測る円形土壇が4基掘りくぼめられている。土壇内部から陶器片が少量出土する程度である。他の遺跡での調査例を参照すると、大型甕等を据えて貯蔵用に据えていたかあるいは紺屋・醸造などに関連する商業が営まれていた可能性がある。

奈良時代の遺構 7.5Y R 4 / 6 暗褐色砂泥層を切って成立しており、大小の土壇や落ち込みが複雑に切り合っていることが判明した。このうち遺物が比較的多く出土する遺構を中心として説明してみることにする。

SK 17 調査区中央の北辺部で検出する南北の溝状の遺構である。検出した規模幅は0.5m、深さ0.15mを測る。この遺構から土師器・須恵器などが出土する。

SK 20 調査区の南東で検出する長径0.9m・短径0.7m・深さ0.1mを測る長円形の土壇である。この遺構から土師器・須恵器が遺物袋2袋分出土している。

SK 50 調査区北東隅で検出した長径2.4m・深さ0.2mを測る。この遺構から土師器・須恵器などが出土する。

3 遺 物

出土した遺物は、遺物整理箱で6箱である。

このうち奈良時代の遺物は4箱を占める。出土遺構はSK 50からのものが多い。以下は主な遺物について説明する。

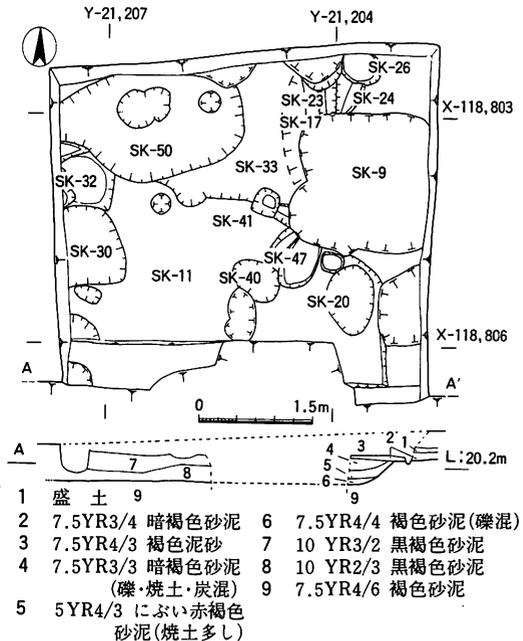


図18 遺構実測図(1/100)

1. 土師器皿。S K34出土。口径15.0cm、器高2.9cmを測る。端部は「く」字状に外反する。全面をなでて調整する。胎土は赤褐色。
2. 土師器皿。S K31出土。口径15.3cm。底部からやや外反ぎみに立ち上がる。胎土はやや赤褐色を呈しており、長石を少量含む。
3. 土師器皿。口径23.8cm、器高2.5cmを測る。平らな底部で、体部は斜め上方に開き、口縁部は内側で段を付ける。内面はロクロナデによって仕上げる。体度は赤褐色を呈する。
4. 土師器甕。S K51出土。口径17.0cmを測る。体部から口縁部にかけてのクビレ部は指押さえによる調整がある。体部にはタテハケ調整を施し、中位には横線が認められる。
5. 土師器甕。S X12出土。口径25.6cmを測る。体部はほぼまっすぐに立ち上がり、口縁部は「く」字状に外反する。端部は内側に折曲げており、体部はタテハケによるカキトリを施し、口縁内部ではヨコハケによるカキトリ調整を施している。胎土は良好で、暗褐色を呈する。
6. 須恵器皿。S X12出土。完存品。口径10.4cm、器高2.3cmを測る。平らな底部から斜め上方に開き、端部で更に外反する。仕上調整はロクロナデを施す。端部外面には自然釉が付着する。
7. 須恵器盥。口径15.1cm、高さ2.5cmを測る。ツマミ部は宝珠ツマミである。ロクロナデによる調整を行い、一部に自然釉がかかる。内面には重焼痕が認められる。胎土は良好であるが、やや砂を含む。

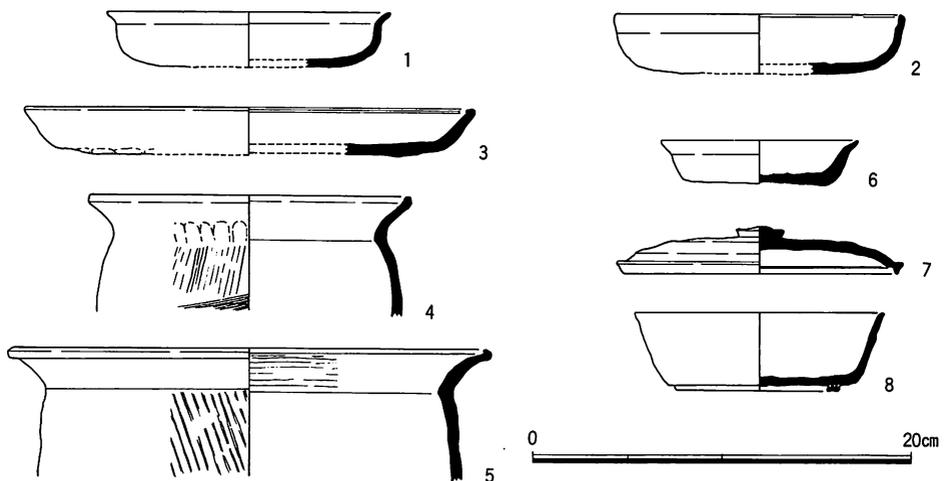


図19 遺物実測図(1/4)

8、須恵器杯。S X12出土。口径13.1cm、器高6.2cmを測る。平らな底部から外反して広がる。高台は輪高台を貼り付ける。

このほかに破片のみで接合することはなかったが、製塩土器が多いことが目だった特徴でもある。胎土は赤褐色を呈しており、長石粒が多く認められる。

4 ま と め

今回の調査は、奈良時代の遺構・遺物の検出ということが主たる成果であった。しかし調査面積が狭小であるため、遺構の具体的な性格などについては尚検討の余地があり、今後の調査によってその欠を補ってゆかねばならない。

当調査地を含めた周辺地域での遺跡を列举してみると、南方向の東陵町では弥生時代中期の方形周溝墓や奈良時代の柱穴を検出している。北東方向の御香宮を中心としたところでも白鳳時代の瓦が散布しており、当時代の寺跡の存在を推定している。また東方の桃山町永井久太郎では古墳を検出している。これらのことから調査地周辺を中心として、桃山丘陵の縁辺部でも弥生時代からの遺跡の存在を考慮しなくてはならないであろう。

VI 主要な出土遺物

1. 瓦 類

複八弁蓮華文軒丸瓦(図20—1) 平安京左京三条二坊六町(63年度HL215)出土。中房は突出し、1+4+8の蓮子を配する。花卉は弁端がほとんど反転せず、花卉中央を縦断する突線によって二弁に分かれる。外区は33個の珠文を配し、周縁は細かな面違い鋸歯文を巡らす。外区、周縁共に独自の界線によって囲まれている点と、周縁が一段高く作られた斜縁になっている点が特徴的である。瓦当部の厚さは比較的薄い作りになっており、瓦当部外周はへら削りの後ナデ調整を施す。胎土は砂粒を含み精良、焼成は良好、オリブ灰色を呈する。平城宮6272型式系。

緑釉単八弁蓮華文軒丸瓦(図20—2) 平安宮鈴鑑跡(HQ35)出土。中房は小振りで1+5の蓮子を配し、花卉は先端が窪み、弁の間に丸みを帯びた棒状の弁間文を有する。内区と外区を分かち界線は二重である。外区の珠文は16個を有する。焼成は良好、胎土はオリブ灰色、緑釉は淡色を呈する。

複四弁蓮華文軒丸瓦(図20—3) 平安宮鈴鑑跡(HQ35)出土。中房は丘状を呈し1+4の蓮子、外区には12個の珠文を配す。瓦当裏面には、布目圧痕とそれを消すようにへら削りを施す。また裏面中央に、円柱状のもので押さえたとみられる径7cm程の円形の窪みがある。胎土は小石を含み精良、焼成はやや甘く、外面は暗灰色、内面は灰白色を呈する。

複八弁蓮華文軒丸瓦(図20—4) 平安京左京七条二坊九町(HL121)。大きめの中房に蓮子を1+6配す。花卉は二つの子葉を一つの弁に収める複弁である。珠文は周縁に接して配す。丸瓦部凹面には細かい布目圧痕、瓦当裏面には指押え痕が顕著に残る。成形は雑である。胎土は砂粒を含み精良、焼成はやや甘く、暗灰色を呈する。

日の丸扇文軒丸瓦(図20—5) 平安京左京五条四坊五町(HL6)出土。内区に日の丸文を配す。扇は開き扇の五本骨で、地紙の折り目は写實的に表現しており、日の丸は扇より浮き出るように工夫する。内区には中央を周縁から周縁まで扇を横断して范痕が2本走る。周縁は2.5cmと広く、上面はへら削りを施す。胎土は砂粒を含み精良、焼成は良好、暗灰色を呈する。日の丸扇文軒丸瓦は伏見城跡(伏見区桃山町三河)で出土例がある。

外行三転式唐草文軒平瓦(図21—6) 平安京右京五条二坊十一町(HR48)出土。平瓦部凸面は横方向の縄目叩き痕が残る。胎土は砂粒を含み精良、焼成甘く灰白色を呈する。



图20 軒瓦拓影·实测图 (1/3)

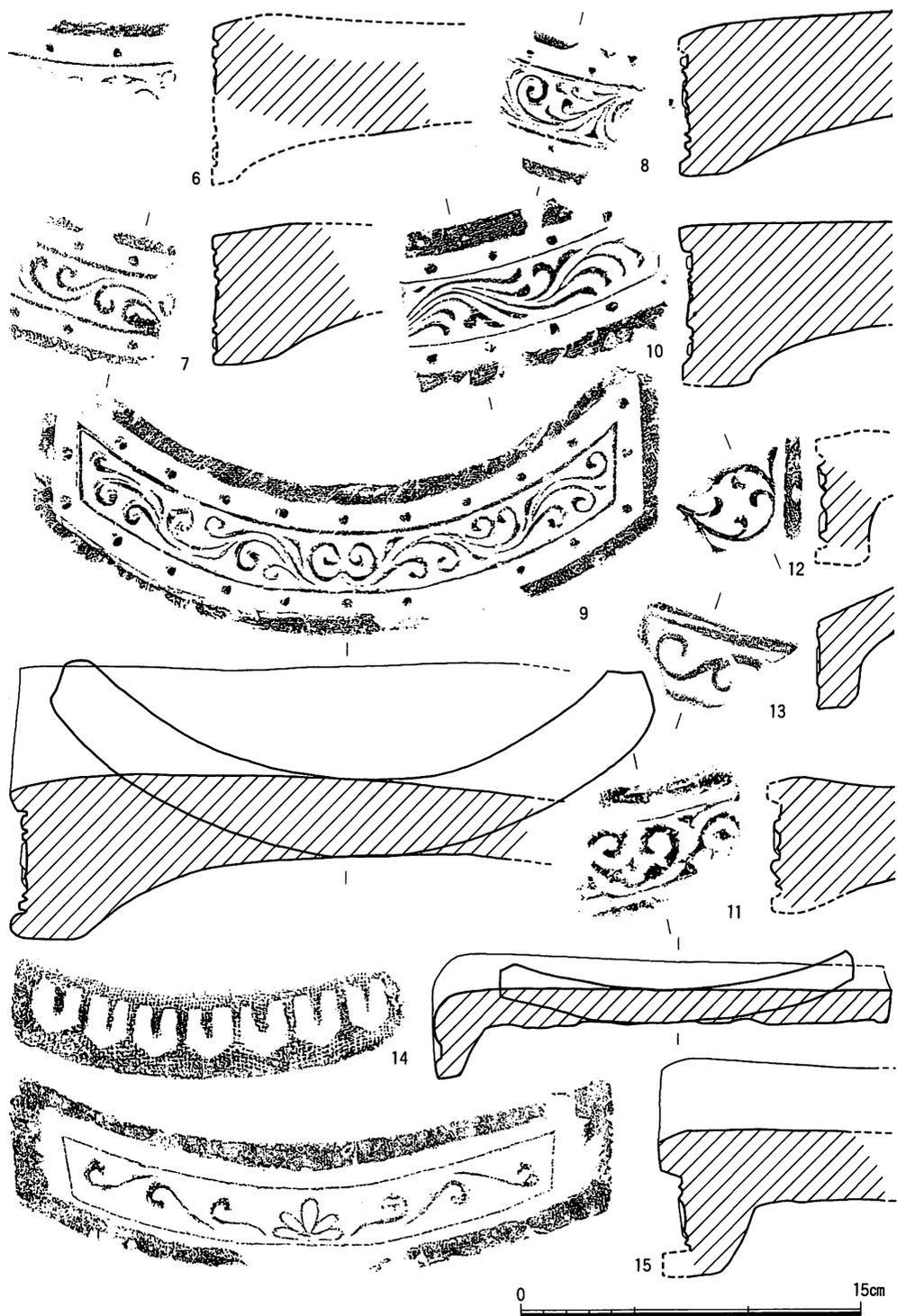


图21 軒瓦拓影·实测图(1/3)

平城宮6732A型式系である。

外行三転式唐草文軒平瓦(図21-7) 平安宮西雅院跡(63年度HQ84)出土。平瓦部凹面には布目圧痕、瓦当部付近は横方向のへら削りを施す。胎土は砂粒を多く含み、焼成は良好、灰白色を呈する。長岡宮7757A型式系。

外行三転式唐草文軒平瓦(図21-8) 平安京右京九条一坊十二町(HR33)出土。外行三転する唐草は多数の枝葉を持つ。平瓦部凹面には布目圧痕、瓦当外周上部は横方向のへら削りを施す。凸面は縦方向のへら削りを密に施す。胎土は砂粒を多く含み、焼成はやや甘く、暗灰色を呈する。

外行三転式唐草文軒平瓦(図21-9) 平安宮鈴鑑跡(HQ35)出土。巻き込みの大きい対向するC字の下端が接合した中心文である。外区には24個の珠文を配する。平瓦部凹面には布目圧痕と糸切り痕、瓦当周縁上部は雑な横方向のへら削りを施す。平瓦部凸面には縦方向の縄目叩き痕が確認できる。顎部はへら削りの後横方向のナデ調整を施す。胎土は小石を含み粗い。焼成は良好、オリーブ灰色を呈する。同型式の瓦は西賀茂角社西群瓦窯と鎮守庵瓦窯の2ヶ所で出土している。

外行三転式唐草文軒平瓦(図21-10) 平安京右京五条三坊一町(HR47)出土。平瓦部凹面には布目圧痕、瓦当周縁上部は最大10cm幅の横方向のへら削りを施す。胎土は0.5cm大の小石と砂粒を多く含み、焼成は良好、淡オリーブ灰色を呈する。

唐草文軒平瓦(図21-11) 平安宮朱雀門跡(HQ56)出土。右端部分の破片である。右端であるにもかかわらず、瓦当面残存部左側に中心側文の様な下部が接合し上部が巻き込みの大きい対向するC字の中に、中心飾りのようにダイヤ形がある、いかにも中心文に見える文様がある。外区を存在させる界線が上下にあるが珠文は存在せず、右脇区もない。平瓦部凹面は布目圧痕、凸面は横方向の縄目叩き痕が残る。胎土は砂粒を含まず精良、焼成はやや甘く、暗オリーブ色を呈する。

外行三転式唐草文軒平瓦(図21-12) 鳥羽離宮跡(TB18)出土。同型式の瓦は鳥羽離宮跡で多数出土している。胎土は砂粒を含まず精良、焼成は良好、灰白色を呈する。

外行唐草文軒平瓦(図21-13) 平安京左京七条二坊九町(HL121)出土。外区と周縁は瓦と範の関係で存在する部分としない部分があり、外区は幅が狭く珠文を配さない。平瓦部凹面には粗い布目圧痕が残る。半折り曲げ式である。胎土は砂粒を含み、焼成は甘く、暗灰色を呈する。

剣頭文軒平瓦(図21-14) 平安京左京七条二坊九町(HL121)出土。ほぼ完形である。

瓦当部分は折り曲げ式で、瓦当面に布目圧痕が残る。頸部の頸部には粘土の曲げシワを有する。平瓦部凹面には布目圧痕、凸面には指押えの凹凸が著しく残る。瓦当外周下部・側面、平瓦部側面・狭端面はへら削りによって平滑に仕上げる。胎土は砂粒を含み精良、焼成は良好、淡灰色を呈する。

外行三転式唐草文軒平瓦（図21—15） 史跡名勝嵐山（63年度U Z 28）出土。中心文は五弁の半裁菊花文である。外区に珠文はない。瓦当部上端は横方向のへら削りによって面取りを施す。頸部は横方向に強いナデ跡が残る。瓦当外周下部及び側面はへら削り。胎土は小石を多く含み、焼成は良好、色調は内面灰色、外面オリーブ灰色を呈する。

2 木器類

木簡（図22） 平安京出土（HR 3）。調査地は、下京区西七条比輪田町20に所在する。当該地は平安京右京七条二坊十四町に相当するところである。1989年4月7日に建物基礎工事の立会調査を行なったところ、現地表下0.8mで地山（暗緑色砂層）を確認し、この土層を切って池状に堆積する落込みを認めた。

検出状況からみて、この遺構は池の北端部に当たるもので、南に向っての傾斜を示している。埋土は暗褐色系の泥土を上層に、下層では木片、腐食土が大量に混入していた。遺構の底部は人頭大の石が敷き詰められたような状態であった。

埋土からは土師器、須恵器の他に鉄釘、銭貨（貞観永宝）、墨書土器も出土した。これらの遺物から、検出した遺構は平安時代中期のものと推定される。

木簡は池状遺構の下層から出土した。木簡の法量は幅1.4cm、厚さ0.4cm、長さ22.9cmを測る。上端は一部擦り減っているが、完形の遺物である。文字の判読は困難であるが、次のように釈文を挙げておく。

・ □□□其宿 □□□□□

・ □□□ □□□

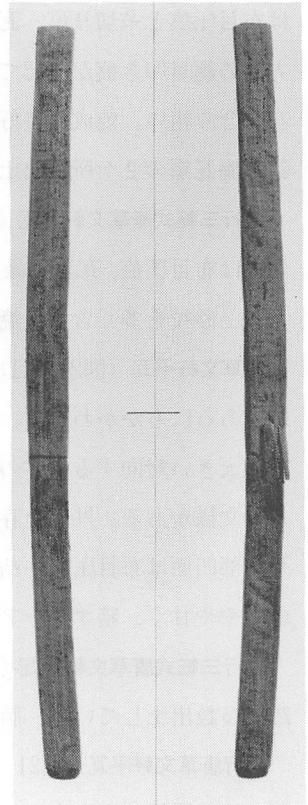


図22 木簡

以上のように読めるが、その意味は不明である。第一字は芥あるいは一令か、第二字は貝偏の文字、第三字は木あるいは大か。「宿」の次は一字分空くか。以下5字分を確認することができる。裏面は墨書痕が認められるが、字数の確認もできない。

3 石器類

尖頭器(図23) 平安京出土(HR91)。
調査地は、右京区西院平町6の1.2.4、7の1に所在する。当該地は平安京右京五条二坊十一町に相当するところである。1989年11月10日、事務所建築工事に先立って試掘調査を実施した。

調査の結果、高辻小路北側溝と考えられる平安時代の東西溝を検出した。しかし、さらに北側の町内では遺構を検出することができなかった。そして地山を確認するために断割トレンチを入れたところ、調査地の北東部で現地地表下0.7mでオリーブ褐色砂泥層(地山)を認め、その土層が凹んだところに、灰色粗砂とともに石器が出土した。

出土した石器はチャートを加工した柳葉状の尖頭器であり、土器の出土はない。長軸10.6cm、短軸3.0cm、厚さ1.5cmを測る。石器の片面は完成しているが、裏面は一部未加工の部分もある。その製作技法・形態からみて旧石器時代末期から縄文時代草創期のものではないかと考えられる。

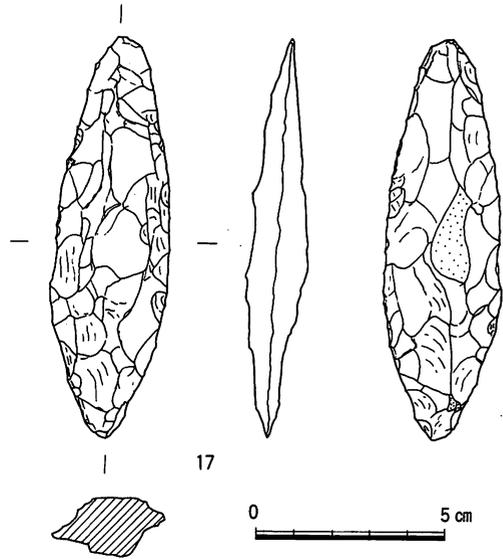


図23 遺物実測図(1/2)

調査一覧表

I 昭和63年度 1～3月期

平安宮 (H Q)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	要	図版番号
大炊寮	上・日暮通丸太町下る南伊勢屋町772-1	試	3/28	GL-0.2mにて江戸の包含層。		2-92
右近衛府	上・御前通下長者町上る西上之町245-31	立	3/30	巡回時工事終了。		2-93
刑部省	中・西ノ京内畑町13-8,42	立	1/18	検出できず。		2-82
左馬寮	中・西ノ京左馬寮町10-8	立	2/6	盛土のみ。		2-83
"	中・西ノ京左馬寮町10	立	3/23	検出できず。		2-91
漆室	上・一条通御前東入西町14-5	立	2/15	GL-1.33mにて時期不明の土壌。		2-86
西雅院	上・日暮通下立売上る中村町530	立	2/10	GL-0.65mにて時期不明の土壌。 本文33ページ。		2-84
大宿直	上・日暮通中立売下る須浜池町248-2.6	立	1/17	巡回時工事終了。		2-80
"	上・日暮通中立売下る須浜池町248-2.6	立	1/17	巡回時工事終了。		2-81
茶園	上・中立売通智恵光院東入新白水丸町462	試・立	2/17・22	GL-0.68m以下時期不明の整地層。		2-87
内教坊	上・中立売通智恵光院東入新白水丸町446	立	1/13	検出できず。		2-79
内裏	上・出水通浄福寺西入東神明町276	立	2/27	盛土のみ。		2-88
"	上・出水通浄福寺西入東神明町220	立	3/10	掘削なし。		2-89
"	上・土屋町通出水上る西神明町346-6	立	3/23	掘削なし。		2-90
兵庫寮	上・七本松通中立売下る西入三軒町69	立	2/9	掘削なし。		2-85

平安京右京 (H R)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	要	図版番号
一条二坊八町	北・大將軍西町64-2	立	1/27	GL-0.3mにて平安前期～中期の包含層。		4-152
二条二坊二町	中・西ノ京南両町88	立	2/21	GL-0.7mにて時期不明の落込み。		4-150
二条二坊十三町	中・西ノ京南上合町29-1	立	1/30	盛土のみ。		4-139
"	中・西ノ京中御前東町39	立	3/15	GL-0.8m以下時期不明の湿地堆積-1.83mにて火山灰層。		4-159
二条四坊十二町	右・太秦安井柳通町14-2	立	3/8	盛土のみ。		3-156
三条一坊十三町	中・西ノ京西月光町46-1	立	1/24	GL-0.75mにて平安の包含層。		4-136
三条三坊十二町	中・西ノ京桑原町1	試	2/13・14	GL-2.0mにて平安後期の整地層。		3-145
三条四坊二町	右・山ノ内御堂殿町5-1	試	3/2	GL-0.6mにて平安前期の柱穴。発掘調査に切り換える。		3-153
四条一坊三町	中・壬生花井町11	試	3/8	検出できず。		8-155
四条二坊二町	中・壬生東大竹町33,32-2	立	3/7	検出できず。		8-103
四条三坊七町	右・西院春栄町18-1	立	2/20	GL-1.12mにて時期不明の土壌。		7-148
五条一坊十町	中・壬生高樋町64	試	2/21	GL-0.54mにて平安の南北溝。推定皇嘉門大路東側溝。発掘調査に切り換える。		8-149
五条二坊六町	中・壬生桧町12-1	立	3/17	GL-0.6mにて時期不明の土壌。		8-161
五条二坊十四町	右・西院北矢掛町2	立	3/27	GL-1.1m以下時期不明の湿地堆積。		8-164
五条三坊八町	右・西院坤町105	立	1/30	GL-1.3mにて時期不明の土壌。		7-140
五条四坊一町	右・西院日照町12-1他	立	3/10	検出できず。		7-157
五条四坊十町	右・西院安塚町43-1他	試	3/3	GL-1.26mにて鎌倉～室町の包含層。		7-154
六条一坊十二町	下・中堂寺栗田町1地先	試	2/13・14	GL-1.5mにて平安の東西溝。推定六条大路北側溝。発掘調査に切り換える。		8-146

六条一坊十三町	下・中堂寺栗田町 1	立	1/27, 2/27	盛土のみ。	8-138
六条二坊六町	下・西七条御前田町24-2	試	2/2・15	GL-1.5mにて平安前期の井戸。	8-142
六条三坊六町	右・西院西溝崎町15,16	試	3/17	検出できず。	7-160
六条四坊九町	右・西院月双町54	立	3/23	GL-1.4m以下時期不明の流れ堆積。	7-163
六条四坊十三町	右・西京極野田町59-1・2	試	2/20	GL-2.45mにて平安の包含層。	7-147
"	右・西京極西大丸町64-2	立	3/14	GL-1.4m以下時期不明の流れ堆積。	7-158
七条一坊五町	下・朱雀北ノ口町地先	立	3/17	GL-0.53mにて室町の包含層。	8-162
七条二坊十町	下・西七条比輪田町 4	立	1/30	GL-0.4m以下平安前期の湿地堆積。	8-141
"	右・西京極南庄境町 4	立	3/29	検出できず。	7-165
八条一坊四町	下・梅小路頭町	立	2/2, 3/15	GL-2.1mにて平安の包含層。	12-101
九条一坊八町	南・唐橋井園町35-1他	試・立	1/27, 2/27	GL-0.93mにて平安の包含層。	12-137
九条一坊十一町	南・唐橋花園町18	立	2/23	GL-0.2m以下包含層 3, 平安 2, 江戸 1。	12-151
九条一坊十四町	南・唐橋西寺町38	立	2/2	GL-0.3mにて平安中期の土壌。	12-143
九条二坊三町	南・唐橋平垣町61	立	3/24	GL-0.6m以下平安~中世の池状堆積。	12-100
九条三坊十四町	南・吉祥院中河原里北町41	立	2/3	GL-0.7m以下時期不明の流れ堆積。	11-144
九条四坊一町	南・吉祥院宮ノ東町14,15-1	立	1/25	GL-0.95m以下時期不明の流れ堆積。	11-135
九条四坊九町	南・吉祥院宮ノ西町3-2	立	1/9	GL-0.8m以下時期不明の流れ堆積。	11-134

平安京左京 (HL)

遺 跡 名	所 在 地	試・立	調 査 日	概 要	図版番号
北 辺 二 坊 五 町	上・油小路通中立売下る甲斐守町97他	立	1/17	攪乱のみ。	5-175
一 条 二 坊 四 町	上・榎木町通黒門東入中務御門横町582	立	2/7	検出できず。	5-185
一 条 三 坊 十 三 町	上・京都御苑438-1	立	2/9	盛土のみ。	6-187
二 条 三 坊 三 町	中・西洞院通竹屋町下る毘沙門町	立	1/17	GL-1.49mにて江戸の落込み・時期不明の土壌。	6-177
二 条 三 坊 十 一 町	中・両替町通夷川上る松竹町129	立	1/9	検出できず。	6-172
二 条 四 坊 一 町	上・京都御苑 3	立	1/17	検出できず。	6-176
二 条 四 坊 四 町	中・二条通東洞院東入松屋町42	立	3/23	GL-1.7mにて時期不明の包含層。	6-207
三 条 二 坊 六 町	中・猪熊通御池下る三坊猪熊町北組362-1	立	3/30	GL-1.07m以下鎌倉・時期不明の包含層各 1。本文30ページ。	5-215
三 条 二 坊 十 二 町	中・東堀川通姉小路下る姉東堀川町70-1	立	1/24	GL-0.65mにて江戸の落込み。	5-180
三 条 三 坊 一 町	中・西洞院通押小路下る押西洞院町622	立	3/23	GL-1.5m以下包含層 3, 室町 1, 時期不明 2。	6-210
三 条 三 坊 六 町	中・新町通御池下る神明町74-1	立	1/30	GL-1.97mにて室町の流れ堆積。	6-181
四 条 一 坊 三 町	中・壬生御所ノ内町他	立	2/13	検出できず。	9-188
四 条 一 坊 七 町	中・壬生馬塚町19-8・9	立	3/2	検出できず。	9-197
四 条 二 坊 十 二 町	中・堀川通四条上る錦堀川町641	立	2/20	検出できず。	9-192
四 条 三 坊 九 町	中・三条通烏丸西入御倉町68	立	2/20	GL-2.8mにて土壌 2, 室町・江戸各 1。	10-193
四 条 四 坊 一 町	中・三条通東洞院東入菱屋町43-1	試	1/30	GL-1.5mにて平安後期の土壌 1。	10-179
四 条 四 坊 四 町	中・高倉通錦小路下る帯屋町571	立	3/28	GL-0.4mにて江戸の包含層。	10-214

四 条 四 坊 五 町 五 条 一 坊 十 二 町	下・四条通堺町東入立売中之町102-3 中・壬生相合町8-6	立 立	3/24 3/13	GL-2.58mにて時期不明の包含層。 GL-1.55mにて時期不明の池状堆積。	10-212 9-204
五 条 二 坊 十 六 町	下・四条通油小路東入傘鉾町	試	3/6	GL-0.5m以下、鎌倉・室町の包含層各1。-1.2mにて平安後期の土壌。	9-200
五 条 三 坊 一 町 五 条 三 坊 四 町	下・新釜座通、四条～綾小路通他 下・高辻通新町西入堀之内町278	立 立	3/6 2/28, 3/2	検出できず。 GL-0.3m以下包含層4, 室町1, 江戸3。	10-201 10-198
五 条 三 坊 八 町	下・綾小路通室町西入善長寺町145-2	立	3/31	GL-1.05m以下室町の包含層2。 -2.15mにて弥生中期の落込み。	10-216
五 条 三 坊 十 町	下・室町通仏光寺上る白楽天町514	立	1/9	GL-1.87mにて平安・室町の土壌各1。	10-173
五 条 三 坊 十 一 町	下・室町通高辻上る山王町5	立	3/6	GL-1.05mにて土壌3, 室町2, 江戸1。	10-202
五 条 三 坊 十 六 町 五 条 四 坊 一 町 五 条 四 坊 十 四 町 六 条 二 坊 十 五 町	下・綾小路通烏丸東入竹屋之町265他 下・東洞院通四条下る悪王子町42地先 下・寺町通仏光寺下る恵美須之町 下・西洞院通五条下る八幡町527-1他	立 立 立 試	1/13 3/17 3/14 2/28	GL-1.07mにて鎌倉の包含層。 盛土のみ。 巡回時工事終了。 GL-1.2m以下時期不明の流路堆積。	10-174 10-208 10-205 9-196
六 条 二 坊 十 六 町 六 条 三 坊 一 町	下・西洞院通万寿寺上る永倉町550-1,3,4,5 下・西洞院通万寿寺上る永倉町	立 立	3/23 2/14	GL-0.8mにて室町の包含層。 GL-1.05m以下時期不明の流れ堆積。	9-211 10-189
六 条 三 坊 二 町	下・新町通五条上る東鋸屋町地先	立	2/27, 3/10	攪乱のみ。	10-195
六 条 四 坊 五 町	下・高倉通五条下る富屋町617-1	立	3/10	GL-0.85mにて時期不明の池状堆積。	10-203
七 条 一 坊 十 五 町 七 条 二 坊 十 五 町 七 条 三 坊 一 町 七 条 三 坊 九 町 七 条 四 坊 十 一 町	下・大宮通正面上る大宮二丁目586 下・油小路通花屋町下る仏具屋町234 下・新町通新花屋町上る良町862-2 下・諏訪町通六条下る上柳町201 下・河原町通正面上る万屋町339-7他	立 立 立 立 立	3/27 1/31 2/14 3/17 2/14	GL-1.23mにて江戸の落込み。 GL-0.9mにて鎌倉の包岩層。 GL-1.8mにて鎌倉～室町の井戸。 GL-1.63mにて室町の包含層。 GL-0.55m以下時期不明の流れ堆積。	9-213 9-182 10-190 10-209 10-191
八 条 四 坊 六 町	下・下之町56	立	2/3	GL-1.2m以下時期不明の流れ堆積。	12-186
九 条 二 坊 一 町	南・東寺東門前町61-2,62	立	2/20	GL-0.78mにて平安末期～鎌倉の包含層。	11-194
九 条 三 坊 七 町 九 条 三 坊 十 二 町 九 条 四 坊 四 町	南・東九条中殿田町地先 南・東九条烏丸町10-1 南・東九条東山王町地先	立 立 立	1/31 3/15 2/2	検出できず。 GL-0.3mにて時期不明の包含層。 GL-0.9m以下時期不明の流れ堆積。	12-183 12-206 12-184

太秦地区 (UZ)

遺 跡 名	所 在 地	試・立	調 査 日	概 要	図版番号
史跡名勝嵐山	右・嵯峨天龍寺芝馬場町40-8	試	2/10	GL-0.3mにて室町の土壌1, 礎石1。本文34ページ。	— 28
上ノ段町遺跡	右・嵯峨野開町地先	立	3/23	検出できず。	— 31
常盤仲ノ町遺跡	右・太秦一ノ井町31-10	立	1/24	GL-0.31mにて鎌倉の包含層。	— 25
常盤東ノ町古墳群	右・常盤西町18	立	1/24	検出できず。	— 26
〃	右・常盤村ノ内町1-3	立	1/26	検出できず。	— 27
千代ノ道古墳	右・嵯峨野千代ノ道町40-13	立	3/23	盛土のみ。	— 8
大覚寺御所跡	右・嵯峨大沢町	立	3/4	検出できず。	— 30

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	要	図版番号
岩倉忠在地遺跡	左・岩倉大鷲町地先	立	3/28	盛土のみ。		— 33
”	左・岩倉忠在地町地内	立	3/17・ 23・24	検出できず。		— 30
室町殿跡	上・室町通今出川上る築山北半町217他	試	1/17	GL-1.4mにて時期不明の焼土層。		— 24
”	上・室町通今出川上る築山北半町	立	1/25	検出できず。		— 27
”	上・烏丸通今出川上る岡松町254-2他	試	3/15	GL-1.0mにて室町後期の整地層、 集石遺構。発掘調査に切り換える。		— 28
植物園北遺跡	北・上賀茂松本町77	立	1/11	GL-0.4mにて時期不明の土壌。		13- 23
”	北・上賀茂岩ヶ垣内町103	試	1/24	GL-0.1mにて古墳前期の土壌。		13- 25
”	北・上賀茂高繩手町107	立	3/16	検出できず。		13- 29
”	北・上賀茂竹ヶ鼻町4	試	3/22	GL-0.4mにて古墳～室町の柱穴、 土壌、集石遺構。発掘調査に切り換 える。		— 31
”	北・上賀茂南大路町38他	立	3/28	盛土のみ。		— 32
北野廃寺跡	北・北野白梅町84	立	1/24	検出できず。		— 26

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	要	図版番号
円勝寺跡	左・岡崎円勝寺町地内	立	1/9	GL-0.4m以下時期不明の流れ堆 積。		13- 33
京都大学北部構 内遺跡	左・北白川追分町地先	立	2/7	GL-0.68mにて時期不明の包含層。		13- 34
成勝寺跡	左・岡崎成勝寺町71地先	立	3/6	GL-0.4m以下、江戸の層。		13- 35
白河街区跡	左・岡崎成勝寺町9	立	3/7	GL-1.03mにて平安後期の整地層、 -1.5mにて古墳前期の土壌1。		13- 36

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	要	図版番号
祇園町遺跡	東・祇園町北側347-29,30	立	3/3	GL-0.77mにて時期不明の包含層。		— 41
山科本願寺跡	山・西野離宮町40	試	1/24	GL-1.6mにて室町後期の土壌4。		— 38
”	山・西野阿芸町沢町	立	3/23	盛土のみ。		— 42
法住寺殿跡	東・三十三間堂廻町657	立	2/13	検出できず。		— 40
法性寺跡	伏・深草車坂町1-41	立	1/25	盛土のみ。		— 39

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	要	図版番号
がんぜんどう廃寺	伏・深草谷口町39-4他	立	2/7	盛土のみ。		— 43
嘉祥寺跡	伏・深草瓦町75-2他	立	3/25	検出できず。		— 47
向島城跡	伏・向島善阿弥町56-1,6	試	1/13・26	GL-0.9mにて整地層、-1.25m以 下濠内堆積。		— 42
”	伏・向島本丸町65	試	3/23	GL-0.65mにて時期不明の包含層。		— 46
伏見城跡	伏・桃山町柴長吉町61-1	立	3/14	GL-0.8mにて時期不明の包含層。		— 45
”	伏・桃山町三河55-2	立	3/29	盛土のみ。		— 48

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
下鳥羽遺跡	伏・毛利町22	試	1/11	GL-1.6m以下時期不明の湿地堆積。	14- 40
上鳥羽遺跡	南・上鳥羽北花名町5	立	2/20	盛土のみ。	14- 45
鳥羽離宮跡	伏・中島中道町17-2	試	1/9	GL-1.8mにて古墳後期の包含層。	14- 39
"	伏・中島御所ノ内町9-1	試	1/23	GL-0.6mにて陸部, 南北溝。発掘調査に切り換える。	14- 41
"	伏・中島秋ノ山町42	立	2/3	検出できず。	14- 42
"	伏・中島前山町26-4他	立	2/6	GL-1.3mにて時期不明の包含層。	14- 43
"	伏・竹田浄菩提院町26	試	2/15	GL-0.6mにて池跡。平安後～室町期。発掘調査に切り換える。	14- 44
"	伏・中島御所ノ内町19	試	2/22	GL-1.4m以下時期不明の湿地堆積。	14- 46
"	伏・竹田浄菩提院町地先	立	3/23	GL-0.8m以下時期不明の池状堆積。	14- 47
深草遺跡	伏・深草西浦町4-80	試	3/1	検出できず。	- 51

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
上久世遺跡	南・久世上久世町地内	立	2/6	検出できず。	- 16
山田車塚古墳隣接地	西・山田車塚町4-1他	試	2/1	検出できず。	- 15

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
長岡京跡	伏・羽東師菱川町569他	試	3/27	GL-0.1m以下時期不明の包含層。	- 13
"	南・久世殿城町338	立	1/6	GL-1.1mにて時期不明の土壌2。	15- 17
"	伏・羽東師菱川町	立	1/12, 3/13	GL-0.86mにて時期不明の南北溝。	- 18
"	伏・羽東師菱川町3-2, 63-5	立	1/26	GL-1.2mにて平安の流れ堆積。	- 20
"	伏・羽東師菱川町429	試	2/6	GL-1.2m以下長岡京期の流れ堆積。	- 22
長岡京跡・淀城跡	伏・淀本町167-6	立	1/25	GL-0.6m以下時期不明の流れ堆積。	- 19

II 平成元年度4～12月期

平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
朱雀門	中・西ノ京小堀町2	試	10/31	GL-0.6mにて平安の土壌。本文33ページ。	2- 56
鈴 鉢	上・丸太町通智恵光院東入中務町486	試	8/7	GL-0.5mにて平安の整地層。発掘調査に切り換える。本文33ページ。	2- 35
右近衛府	上・御前通仁和寺街道下る三筋目東入西上之町278-48	立	4/26	盛土のみ。	2- 6
"	上・御前通下立売上る三丁目西上之町278	立	6/5	検出できず。	2- 18

右馬寮	上・下長者町通御前東入三助町280-21	立	11/6	盛土のみ。	2-61
宴の松原	中・西ノ京右馬寮町地先	立	11/6	検出できず。	2-58
応天門	上・六軒町通下立売上る長門町435	立	4/21	盛土のみ。	2-5
華芳坊	中・西ノ京小堀町2-88	立	11/6	巡回時工事終了。	2-59
〃	上・浄福寺通出水上る白銀町246-13,25	立	9/25	盛土のみ。	2-45
〃	上・浄福寺通出水上る白銀町261	立	10/19	盛土のみ。	2-52
宮内省	上・日暮通丸太町下る南伊勢屋町770	立	9/12	盛土のみ。	2-39
左近衛府	上・智恵光院通出水上る天秤丸町地先	立	6/2	検出できず。	2-16
〃	上・下長者町通智恵光院東入西辰巳町112-12	立	11/6	検出できず。	2-60
左馬寮	中・西ノ京左馬寮町7-29	立	7/11	盛土のみ。	2-27
〃	中・西ノ京左馬寮町11-15	試	10/27	GL-0.2mにて江戸の溝。	2-55
左兵衛府	上・智恵光院通出水下るヶ銅町569-4	立	5/2	検出できず。	2-8
采女町	上・出水通千本東入尼ヶ崎横町351-3	試	6/29, 8/22	GL-1.0mにて平安の包含層。	2-24
〃	上・下長者町通七本松西入鳳瑞町222-8	立	9/20	検出できず。	2-42
式部省	中・聚楽廻南町32-1	立	10/4	盛土のみ。	2-49
主殿寮	上・中立売通智恵光院東入新白水丸町462-61 他	立	7/24	GL-0.2mにて江戸の包含層。	2-31
〃	上・中立売通智恵光院東入新白水丸町462	立	9/26	GL-0.5mにて江戸の土壌。	2-46
職御曹司	上・智恵光院通出水下る天秤丸町180	試	7/17	GL-2.4m以下時期不明の湿地堆積。	2-29
真言院	中・聚楽廻中町32	立	12/6	検出できず。	2-65
西雅院	上・出水通日暮通西入金馬場町166-1	試	6/8・13	GL-0.94mにて平安の整地層。	2-20
〃	上・出水通智恵光院西入田村備前町243-13	立	7/24	検出できず。	2-30
〃	上・浄福寺通下立売下る西入中務町 出水小学校	試	9/22	GL-1.24mにて平安の整地層。	2-43
〃	上・榎木町通智恵光院西入西院町746	立	12/15	盛土のみ。	2-67
太政官	上・下長者町通御前東入三助町281	立	4/17	盛土のみ。	2-3
大歌所	上・仁和寺街道六軒町西入四番町151-44	立	9/11	盛土のみ。	2-37
〃	上・仁和寺街道六軒町西入四番町151-44	立	9/11	盛土のみ。H Q37と同一敷地。	2-38
〃	上・七本松通下長者町下る三番町268-6	立	10/17	盛土のみ。	2-51
大宿直	上・智恵光院通上長者町上る須浜町571-2他	試	7/12	GL-0.8mにて時期不明の整地層。	2-28
大膳職	上・丸太町通松屋町西入左馬松町775	試	9/20	検出できず。	2-41
〃	上・日暮通丸太町下る南伊勢屋町760他	立	10/20	GL-1.37mにて平安前期の落込み。	2-53
〃	上・松屋通丸太町上る左馬松町778	立	12/11	GL-0.1mにて時期不明の包含層。	2-66
大蔵(一)	上・七本松通中立売下る西入三軒町74-8・11	立	6/5・19	検出できず。	2-17
〃	上・仁和寺街道通七本松東入一番町107-3他	立	11/27	検出できず。	2-64
大蔵(四)	上・七本松通仁和寺街道下る二番町211-2他	試	9/8	GL-0.2mにて時期不明の落込み3。	2-36
大蔵(三)	上・一条通千本東入伊勢殿構町275	立	10/4	巡回時工事終了	2-47
大蔵(二)	上・一条通六軒町東入三条殿町387-1	立	5/8	盛土のみ。	2-9
〃	上・六軒町通一条下る西中筋町695-5	立	5/22	検出できず。	2-12
〃	上・六軒町通一条下る西中筋町19-12	立	12/21	検出できず。	2-69
茶園	上・一条通松屋町西入鏡石町20	立	10/23	盛土のみ。	2-54
〃	上・中立売通松屋町西入新白水丸町457	立	11/2	検出できず。	2-57
中和院	上・千本通出水下る十四軒町405	試・立	5/15, 8/21	検出できず。	2-10
〃	上・下立売千本西入稲葉町461	試	7/10	GL-1.07mにて版築状に固めた整地層。発掘調査に切り換える。	2-26
〃	上・下立売千本西入稲葉町453-1	立	9/14	巡回時工事終了。	2-40
〃	上・千本通下立売下る小山町887	立	10/16	掘削なし。	2-50
朝堂院	上・榎木町通千本東入上る小山町908-71	立	4/18	検出できず。	2-4
〃	中・聚楽廻南町41	試	5/26	検出できず。	2-14
〃	中・聚楽廻東町17	試	7/4	GL-0.35mにて江戸の土取り穴。	2-25
〃	中・聚楽廻中町49-2	立	9/22	検出できず。	2-44

	典内内	寮坊寮	上・千本通二条下る東入主税町814	立	11/20	GL-0.21m以下時期不明の包含層。	2-63
			上・丸太町通千本東入小山町908-73	立	5/1	盛土のみ。	2-7
			中・聚楽廻松下町1-14,36	試	6/28	GL-0.5mにて室町の土壌。	2-23
			上・日暮通中立売下る須浜池町247-1他	試	8/3	GL-1.75mにて室町後期の包含層。	2-33
			中・西ノ京左馬寮町21	立	4/10	GL-0.5mにて時期不明の土壌。	2-1
			中・西ノ京左馬寮町21-20	立	4/12	検出できず。	2-2
		裏	上・浄福寺通出水上る白銀町261-12	立	5/31	盛土のみ。	2-15
			上・出水通浄福寺東入田村備前町239	立	6/7	GL-0.3m以下江戸の包含層。	2-19
			上・出水通千本東入西神明町326	立	10/4	検出できず。	2-48
	兵庫	寮	上・六軒町通中立売上る西入三軒町69-2	立	5/15	検出できず。	2-11
	兵部	省	中・西ノ京内畑町29-4	立	6/22	GL-0.4mにて平安の土壌2。	2-22
	縫殿	寮	上・下長者町通裏門西入坤高町69-3	立	7/26	GL-0.39m以下時期不明の土取り穴。	2-32
			上・浄福寺通下長者町上る坤高町地先	立	12/20	検出できず。	2-68
	豊楽	院	中・聚楽廻中町40-1	立	5/24	検出できず。	2-13
			中・聚楽廻西町184-12	立	8/4	盛土のみ。	2-34
			中・聚楽廻西町102他	立	11/15	盛土のみ。	2-62
	率分	蔵	上・土屋町通仁和寺街道下る西富仲町468	立	6/14	盛土のみ。	2-21

平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	要	図版番号
北辺三坊三町	北・大將軍南一条町38,39	立	4/14	GL-0.33mにて時期不明の包含層。		3-5
一条二坊五町	中・西ノ京西鹿垣町6-22	立	10/16	検出できず。		4-86
一条二坊七町	上・御前通西裏上の下立売上る北町556	立	4/21	GL-0.37m以下包含層3, 江戸2,		4-8
一条二坊九町	北・大將軍東鷹司町135	立	5/24	GL-1.0m以下時期不明の流れ堆積。		4-23
一条二坊十五町	中・西ノ京中保町1-4 北野中学校	立	8/17	GL-3.0mにて火山灰層。		4-63
一条三坊三町	中・西ノ京大炊御門町6-21	立	7/25	GL-0.5mにて平安中期の土壌。		3-51
一条三坊六町	中・西ノ京伯楽町3-5	立	7/7	GL-0.22mにて時期不明の包含層。		3-45
一条三坊十町	右・花園馬代町1-6	立	10/26	検出できず。		3-88
一条三坊十一町	中・西ノ京馬代町2-4	立	12/6	盛土のみ。		3-104
一条四坊十一町	右・花園寺ノ前町53-2	立	7/31	GL-0.7mにて平安後期・時期不明の土壌各1。		3-55
二条二坊一町	中・西ノ京両町2	試	7/26	GL-0.8mにて平安後期の東西溝。		4-53
二条二坊三町	中・西ノ京令泉町15	立	11/29	検出できず。		4-100
二条二坊五町	中・西ノ京笠殿町164 朱雀第四小学校	立	7/4	盛土のみ。		4-43
二条三坊三町	中・西ノ京北壺井町70他	立	9/11	検出できず。		3-77
二条四坊十二町	右・太秦安井柳通町14-1 安井小学校	立	12/4	盛土のみ。		3-103
二条四坊十六町	右・太秦安井車道町21-27	立	8/1	GL-0.3mにて鎌倉の土壌。		3-56
三条二坊一町	中・西ノ京銅駝町26-1	立	7/3	GL-0.9mにて平安の土壌。		4-41
三条二坊七町	中・西ノ京原町102	立	7/21	GL-1.0m以下, 平安前・中期の包含層各1。		4-49
"	中・西ノ京原町107	立	8/18	巡回時工事終了。		4-66
三条二坊九町	中・西ノ京東中合町27-1他	立	4/18	GL-0.7mにて平安中期の南北溝。		4-6
三条二坊十四町	中・西ノ京下合町11	試	11/22	GL-0.75mにて平安の落込み。推定野寺川跡。発掘調査に切り換える。		4-97
三条四坊三町	右・山ノ内宮脇町4-3,9	試	12/20	GL-0.4mにて平安後期~鎌倉の柱穴, 土壌, 溝。発掘調査に切り換える。		3-112
三条四坊四町	右・山ノ内宮前町7	試	7/31	GL-0.64mにて室町の包含層。		3-54
三条四坊十六町	右・太秦安井西沢町5-1	試	9/27	GL-0.08mにて室町の包含層。		3-84

四 条 一 坊 二 町	中・壬生朱雀町34-3	試	6 / 1	検出できず。	8 - 25
四 条 一 坊 十 二 町	壬生森町地先	立	5 / 24	GL-0.45mにて時期不明の湿地堆積。	8 - 21
〃	中・壬生森町24	試	8 / 31	GL-0.8mにて平安前期の包含層。	8 - 70
四 条 一 坊 十 六 町	中・壬生中川町2-1,2	立	9 / 12	GL-1.43mにて平安後期の流れ堆積。	8 - 78
四 条 二 坊 一 町	中・壬生中川町14-2,27-1	立	6 / 26	GL-0.9mにて時期不明の包含層。	8 - 36
四 条 二 坊 二 町	中・壬生東大竹町11-1他	試	4 / 3	GL-0.45mにて平安前期の土壌3, 南北溝1, 柱穴1。発掘調査に切り換える。	8 - 1
四 条 二 坊 三 町	中・壬生東大竹町1-3	立	9 / 25	GL-0.78m以下平安中期の包含層。	8 - 82
四 条 三 坊 四 町	右・西院巽町29他	立	9 / 1	GL-1.21mにて平安後期の土壌。	7 - 73
四 条 三 坊 五 町	右・西院乾町57他	試	4 / 24	GL-1.2mにて江戸の南北濠。	7 - 10
四 条 三 坊 九 町	右・西院金槌町8	試	12 / 4	盛土のみ。	7-102
四 条 三 坊 十 三 町	右・西院小米町32	立	8 / 9	GL-0.84mにて時期不明の包含層。	7 - 62
四 条 四 坊 十 四 町	右・山ノ内苗町46	立	12 / 18	盛土のみ。	7-111
五 条 一 坊 七 町	中・壬生高樋町65-21	立	9 / 30	GL-1.15m以下時期不明の湿地堆積。	8 - 85
五 条 一 坊 十 町	中・壬生下溝町1-5	立	5 / 12	GL-1.2mにて江戸の包含層。	8 - 18
五 条 一 坊 十 二 町	中・壬生下溝町地先	立	6 / 29	GL-0.94mにて時期不明の落込み。	8 - 38
五 条 二 坊 八 町	中・壬生土居ノ内町19	立	11 / 22	GL-0.31mにて平安中期の南北溝。	8 - 98
五 条 二 坊 十 一 町	右・西院三蔵町47-3	試	7 / 21	GL-0.6mにて平安の溝・土壌。本文30ページ。	8 - 48
〃	右・西院平町14,15	試	9 / 6	GL-0.38mにて平安前期の包含層。	8 - 75
五 条 二 坊 十 一 町	右・西院平町60-1他	試	11 / 10	GL-0.65mにて平安の東西溝, 推定高辻小路。柳葉状尖頭器出土。本文35ページ。	8 - 91
五 条 二 坊 十 二 町	右・西院平町5	立	12 / 25	検出できず。	8-114
五 条 三 坊 一 町	右・西院松井町18	立	7 / 20	GL-0.95mにて平安前期の包含層。本文33ページ。	7 - 47
五 条 三 坊 五 町	右・西院太田町72,73,74	立	8 / 7	GL-1.22mにて時期不明の落込み。	7 - 59
五 条 四 坊 三 町	右・西院日照町72,69-2	立	4 / 24	GL-1.17mにて住居址状の落込み。	7 - 11
五 条 四 坊 五 町	右・西院月双町27	立	11 / 16	GL-0.73mにて弥生後期の住居址状の落込み。	7 - 95
五 条 四 坊 十 一 町	右・西院安塚町73	立	4 / 27, 5 / 16	GL-1.0mにて平安の土壌。	7 - 13
五 条 四 坊 十 四 町	右・西院東貝川町76-1	試	11 / 29	検出できず。	7 - 99
六 条 一 坊 一 町	下・中堂寺北町1-38	立	4 / 21	検出できず。	8 - 9
六 条 一 坊 七 町	下・中堂寺北町40	立	5 / 22	GL-0.6mにて平安末期の湿地堆積。	8 - 20
六 条 一 坊 八 町	下・中堂寺北町30-11	立	9 / 25	検出できず。	8 - 83
六 条 一 坊 十 四 町	下・中堂寺栗田町1	立	7 / 25	盛土のみ。	8 - 52
六 条 一 坊 十 五 町	下・中堂寺庄ノ内町44-7	立	11 / 15	盛土のみ。	8 - 93
六 条 二 坊 二 町	中・壬生東高田町45	立	5 / 31	GL-2.0m以下時期不明の流れ堆積。	8 - 24
六 条 二 坊 四 町	下・西七条東御前田町50	試	5 / 19	GL-0.8mにて平安後期の東西溝, 推定六条大路北側溝。	8 - 19
六 条 二 坊 七 町	中・壬生東高田町4-1	立	9 / 18	GL-0.74m以下平安中期の流れ堆積。	8 - 81
六 条 二 坊 十 六 町	右・西院西高田町10-2・5	立	6 / 1	検出できず。	8 - 26
六 条 三 坊 一 町	右・西院西寿町21-3	立	9 / 12	検出できず。	7 - 79
六 条 三 坊 四 町	右・西院西中水町1,2	試	9 / 1	GL-0.52mにて平安前~中期の土壌・柱穴・溝。発掘調査に切り換える。	7 - 72

六条三坊七町	右・西院西寿町2-1他	試	12/18	GL-0.5mにて平安・時期不明の東西溝2。	7-109
六条四坊一町	右・西院清水町126-2,78-2	立	5/2	GL-1.5m以下, 包含層4, 平安前期1, 時期不明3, -2.8mにて古墳後期の土壌。	7-14
六条四坊二町	右・西院清水町155	試	4/7	GL-0.1mにて弥生の竪穴住居址3。発掘調査に切り換える。	7-2
六条四坊五町	右・西京極畔勝町7	試	8/4	GL-0.7mにて時期不明の湿地堆積。	7-57
六条四坊十三町	右・西京極西大丸町23	立	7/17	GL-2.2m以下時期不明の流れ堆積。	7-46
六条四坊十四町	右・西京極野田町39	試	4/19	GL-2.9mにて弥生の包含層。	7-7
六条四坊十六町	右・西京極葛野町6-1	立	9/7	検出できず。	7-76
七条一坊四町	下・七条通(北側)西大路通~大宮通	立	7/5・8/28	GL-0.8mにて推定七条大路路面。	8-44
七条一坊十町	下・西七条東八反田町33	立	2/15	GL-0.52mにて平安中期の包含層。	8-108
七条二坊二町	下・西七条東石ヶ坪町	立	6/6	GL-0.5mにて平安の包含層。	8-29
七条二坊三町	下・西七条市部町78	立	5/10	GL-0.4mにて平安の包含層, 0.6mにて平安前期の土壌。	8-17
七条二坊九町	下・西七条掛越町63	試	6/5	GL-0.32mにて平安前期の土壌1, 溝。	8-27
七条二坊十一町	下・西七条比輪町38	立	6/26	検出できず。	8-37
七条二坊十四町	下・西七条比輪町20	立	4/7	GL-1.15mにて曲物を掘え付けた時期不明の井戸。本文34ページ。	8-3
"	下・西七条名倉町33	立	8/28	GL-1.25m以下時期不明の包含層3。	8-69
七条三坊七町	右・西京極南庄境町8-18	立	9/5	GL-0.94m以下時期不明の流れ堆積	7-74
七条三坊九町	右・西京極北庄境町19,20	立	8/9	検出できず。	7-61
七条三坊十六町	右・西京極豆田町29-1	試	6/21	GL-1.3mにて江戸の流れ堆積。。	7-35
七条四坊九町	右・西京極畔勝町53	立	6/29	検出できず。	7-39
"	右・西京極畔勝町17	試	6/30	GL-0.5mにて平安前期の柱穴2。発掘調査に切り換える。	7-40
"	右・西京極畔勝町43	立	11/16	GL-0.85m以下時期不明の流れ堆積。	7-96
七条四坊十一町	右・西京極北裏町地先	立	12/7	検出できず。	7-106
"	右・西京極北裏町9-4.5	立	12/22	GL-1.33mにて平安中期の土壌。	7-113
七条四坊十三町	右・西京極西川町44-1	立	4/11	GL-0.65m以下時期不明の流れ堆積。	7-4
七条四坊十四町	右・西京極西川町64	立	10/30	GL-0.75m以下時期不明の流れ堆積。	7-89
七条四坊十六町	右・西京極西大丸町83	立	6/5	GL-1.42m以下時期不明の流れ堆積。	7-28
八条一坊二町	下・梅小路東町地先	立	8/28, 9/1	GL-1.3mにて平安後期の落込み。	12-68
八条二坊一町	下・西七条南中野町45-1他	試	5/10	GL-0.5mにて室町の包含層。0.7mにて石敷遺構, 推定七条大路路面。発掘調査に切り換える。	12-16
八条二坊七町	下・西七条石井町33-17	立	4/25	盛土のみ。	12-12
八条二坊十町	下・七条御所ノ内北町95	立	5/24	GL-0.4mにて時期不明の湿地堆積。	12-22
"	下・七条御所ノ内町北町84	立	6/7	GL-0.6m以下時期不明の湿地状堆積。	12-30

八条二坊十一町	下・七条御所ノ内町60	立	6/13	GL-0.62mにて時期不明の湿地堆積。	12- 32
八条二坊十二町	下・七条御所ノ内本町87	立	8/31	GL-0.55m以下平安前期の池状堆積。	12- 71
八条三坊一町	下・西七条南月読町32	立	7/24	GL-0.62m以下包含層3, 平安前期1, 時期不明2。	11- 50
八条四坊二町	右・西京極中沢町1	立	5/2	GL-1.15m以下時期不明の流れ堆積。	11- 15
八条四坊五町	南・吉祥院向日西町13他	試	12/11	GL-1.45mにて室町の包含層。	11-107
八条四坊十一町	右・西京極畑田町8-2	立	8/22	検出できず。	11- 67
九条一坊一町	南・八条源町4	立	7/3	GL-0.76mにて平安の包含層。	12- 42
九条一坊十二町	南・唐橋堂ノ前町46,47	立	6/19	GL-0.4m以下包含層6, 平安3, 時期不明3。本文33ページ。	12- 33
九条一坊十三町	南・唐橋西寺町15	立	6/8	検出できず。	12- 31
九条一坊十四町	南・唐橋西寺町	試	8/9	GL-0.4mにて平安の整地層。	12- 60
九条一坊十六町	下・観喜寺町	試	11/13	検出できず。	12-101
九条二坊十町	南・吉祥院西ノ庄門口町17	立	10/23	検出できず。	12- 87
九条二坊十二町	南・吉祥院清水町14	立	8/17	GL-0.8mにて江戸の包含層。	12- 64
"	南・吉祥院清水町23	立	8/17	GL-0.8mにて江戸の包含層。HR-64と同一敷地。	12- 65
"	南・唐橋西平垣町1-15	立	11/14	検出できず。	12- 92
九条三坊十町	南・吉祥院西ノ庄西中町42	立	11/6	GL-0.3m以下時期不明の流れ堆積。	11- 90
九条四坊一町	南・吉祥院宮ノ東町2	立	6/20	GL-1.08m以下時期不明の流れ堆積。	11- 34
九条四坊八町	南・吉祥院宮ノ西町15他	試	12/7	GL-1.2m以下時期不明の流れ堆積	11-105
九条四坊九町	南・吉祥院宮ノ西町4-2	立	9/18	GL-1.02m以下時期不明の流れ堆積。	11- 80

平安京左京 (HL)

遺跡名	所 在 地	試・立	調査日	概 要	図版番号
北辺一坊 八町	上・一条通智恵光院東入鏡石町38-1他	立	11/14	盛土のみ。	5-137
北辺二坊 一町	上・猪熊通一条下る如水町66	立	6/9	盛土のみ。	5- 45
北辺二坊 二町	上・旧大宮通中立売下る常陸町398	立	7/1	検出できず。	5- 48
北辺二坊 四町	上・一条通猪熊東入如水町83他	立	4/20	GL-0.4m以下江戸・時期不明の包含層各1。	5- 11
北辺二坊 五町	上・東堀川通中立売上る東橋詰町74-4	立	9/5	GL-1.2mにて江戸初期・時期不明の土壌各1。	5- 89
北辺二坊 七町	上・油小路通中立売下る甲斐守町114	立	8/22	GL-0.86mにて室町の包含層。	5- 82
北辺二坊 八町	上・油小路通一条下る油橋詰町94-1	立	10/18	GL-0.55mにて江戸の土壌。	5-118
北辺三坊 一町	上・西洞院通中立売上る三丁目453-3	立	4/17	検出できず。	6- 9
"	上・一条通新町西入元真如堂町376	立	10/20	GL-1.73mにて平安後期の包含層。	6-122
北辺三坊 二町	上・中立売通新町西入三丁目452	立	10/19	検出できず。	6-120
北辺三坊 五町	上・室町通一条上る小島町557	立	7/27	検出できず。	6- 69
一条二坊 一町	上・黒門通下長者町上る北小大門町557	立	4/3	GL-0.8mにて桃山期の土壌。	5- 1
一条二坊 三町	上・大宮通出水下る家永町776-1・7	立	5/10	検出できず。	5- 22
一条二坊 八町	上・葭屋町通下長者町上る菊屋町511,514	立	10/16	GL-0.5mにて時期不明の包含層。	5-117
一条二坊十五町	上・下長者町通油小路東入大黒屋町412	試	10/2	GL-1.4mにて室町の包含層。	5-106
一条三坊 五町	上・下立売通衣柵西入東立売町193-1	立	8/17	GL-0.4m以下包含層6, 室町1, 江戸5。	6- 78
一条三坊十一町	上・下立売通烏丸西入五丁目町177-1・3・4	立	5/24	検出できず。	6- 35

〃	上・下立壳通烏丸西入五丁目町177-1・3・4	立	7/14	検出できず。	6-61
一条三坊十一町	上・室町通出水下る勘解由小路町152	立	10/18	GL-1.58mにて江戸の整地層。	6-119
〃	上・出水通烏丸西入中出水町399	立	11/16	盛土のみ。	6-139
一条三坊十三町	上・京都御苑内438-1	立	12/11	盛土のみ。	6-155
二条二坊 六町	上・葭屋町通丸太町上る直家町192他	立	7/31	GL-0.98mにて時期不明の包含層。	5-70
二条二坊 十町	中・東堀川通丸太町下七丁目3	試	8/18	GL-1.0mにて平安後期の整地層、土壌。発掘調査に切り換える。	5-79
二条二坊十一町	中・夷川通堀川東入西夷川町571-1	立	9/8	盛土のみ。	5-92
二条二坊十二町	中・東堀川通二条上る九丁目551-1	立	8/9	GL-0.9mにて江戸初期の包含層。	5-73
〃	中・二条通堀川東入矢幡町307他	試	8/21	GL-1.2mにて平安中期の整地層、溝3条。推定二条大路北側溝。発掘調査に切り換える。	5-81
〃	中・東堀川通夷川下る九丁目544他	試	12/13	GL-0.8mにて平安後期の整地層、-1.4mにて平安中期の整地層、発掘調査に切り換える。	5-156
二条二坊十五町	中・小川通丸太町下る中之町78	立	5/18	検出できず。	5-29
〃	中・油小路通丸太町下る大文字町45	試	5/29	GL-1.6mにて池底堆積、-1.7m以下地業の集石。発掘調査に切り換える。	5-42
〃	中・小川通丸太町下る中之町76	立	9/27	GL-1.2m以下桃山・江戸の包含層各1。	5-103
二条三坊 三町	中・釜座通竹屋町下る亀屋町333	立	8/9	GL-1.25mにて平安の土壌。	6-74
二条三坊 十町	中・丸太町通両替町西入常真横町186	立	5/8・26	GL-1.63mにて室町の包含層。	6-19
二条三坊十一町	中・烏丸通夷川上る少将井町247他	立	12/21	GL-1.2mにて土壌3、室町後期1、時期不明2。	6-160
二条三坊十五町	中・竹屋町通烏丸東入清水町389	立	9/25	GL-0.3m以下江戸の流れ堆積。	6-101
二条四坊 一町	上・京都御苑3	立	12/20	GL-0.43mにて時期不明の石組。	6-159
二条四坊 二町	中・東洞院通竹屋町上る三本木町446	試	4/28	GL-1.6mにて室町末期の流れ堆積。	6-17
二条四坊 四町	中・二条通高倉西入松屋町55	立	9/8	GL-2.46mにて平安後期の土壌。	6-91
二条四坊 五町	中・堺町通二条上る亀屋町167	試	11/21	GL-1.6mにて室町の溝・土壌。	6-145
二条四坊 六町	中・高倉通夷川上る福屋町735-1	立	5/9	GL-1.01mにて平安後期の包含層。	6-21
〃	中・高倉通夷川上る福屋町730,731-1	立	1/7	GL-1.48mにて江戸の土壌。	6-134
二条四坊 七町	中・堺町通竹屋町上る橋町84	立	12/19	GL-0.6mにて時期不明の流れ堆積。	6-157
二条四坊十四町	中・麩屋町通夷川上る笹屋町467	立	9/20	巡回時工事終了。	6-99
二条四坊十五町	中・御幸町通竹屋町上る毘沙門町533,533-2,3	立	8/9	検出できず。	6-75
三条一坊 十町	中・西ノ京職司町67-72	立	6/29	GL-0.8m以下時期不明の池状堆積。	5-52
三条一坊十一町	中・西ノ京池ノ内町16-6	立	6/12	検出できず。	5-47
三条一坊十五町	中・御池通大宮西入門前町539-7,20	立	6/28	検出できず。	5-51
三条二坊 三町	中・大宮通姉小路上る三坊大宮町	立	4/4	GL-1.48mにて時期不明の池状堆積。	5-2
三条二坊 四町	中・姉小路通黒門東入倉本町277他	立	7/20	GL-0.93m以下平安後期の池状堆積。	5-65
三条二坊 八町	中・堀川通御池上る押堀町地先	立	9/18	盛土のみ。	5-95
三条二坊十五町	中・油小路通押小路下る押油小路町245他	試	5/31	GL-1.2mにて平安末期・室町の土壌、溝。	5-43
〃	中・油小路通押小路下る押油小路町252-1	立	1/16	GL-1.95mにて江戸の池状堆積。	5-142
三条三坊 四町	中・西洞院通三条上る姉西洞院町535	立	4/13	GL-1.5mにて鎌倉～室町の包含層。-1.58mにて時期不明の路面。推定西洞院大路。	6-8
〃	中・三条通新町西入釜座町11-3	立	5/25	GL-1.32m以下包含層3、室町1、時期不明2。	6-40

三条三坊 七町	中・室町通押小路下る御池之町323	立	11/14	GL-1.8m以下江戸の池状堆積。	6-138
三条三坊 九町	中・烏丸通二条下る秋野々町516他	試	6/12	GL-2.4mにて平安後期の南北溝、推定烏丸小路西側溝。発掘調査に切り換える。	6-46
三条四坊 三町	中・東洞院通御池上る笹屋町438-4	立	11/17	GL-1.39mにて江戸の土壌。	6-143
三条四坊 六町	中・堺町通御池下る丸木木材町676	立	10/26	GL-1.5mにて室町の包含層。	6-127
"	中・柳馬場通御池下る柳八幡町75-6	立	11/10	GL-1.0m以下江戸の包含層。	6-136
三条四坊 八町	中・高倉通二条下る瓦町551他	立	4/7	GL-1.27mにて鎌倉・室町の土壌各1。	6-5
三条四坊十一町	中・福良町地先	立	12/19	攪乱のみ。	6-158
三条四坊十二町	中・富小路通三条上る福長町	立	10/30	GL-2.05mにて江戸の池状堆積。	6-132
三条四坊十五町	中・麩屋町通御池上る上白山町264	立	8/22	GL-1.4mにて室町の包含層。	6-83
三条四坊十六町	中・御幸町通二条下る山本町432	立	7/18	GL-1.45mにて平安末期の土壌。	6-63
"	中・二条通富小路東入晴明町679-2	立	10/16	巡回時工事終了。	6-116
四条一坊 二町	中・壬生朱雀町22-3	立	9/20	GL-0.75m以下江戸の包含層2。	9-98
四条一坊 五町	中・壬生坊城町25	立	6/19	検出できず。	9-50
四条一坊十二町	中・壬生坊城町12-13	立	5/18	GL-1.45mにて平安の井戸。	9-27
"	中・壬生坊城町10	立	5/24	GL-1.2mにて室町の包含層。	9-36
四条一坊十六町	中・三条大宮町地先	立	9/18	GL-0.1m以下時期不明の路面状整地層3, 推定大宮大路, -0.82mにて平安中期の包含層。	9-97
四条二坊 三町	中・猪熊通錦小路上る下瓦町566, 567	立	7/6	GL-1.17mにて江戸・時期不明の土壌各1。	9-55
"	中・大宮通蛸薬師下る四坊大宮町161他	試	10/30	GL-0.8mにて鎌倉~室町の南北溝。推定大宮大路東側溝。	9-131
四条二坊 七町	中・西堀川通蛸薬師上る金屋町776-1, 2	立	10/2	検出できず。	9-107
四条二坊 十町	中・油小路通六角下る六角油小路町314, 315	立	5/12	GL-1.36mにて桃山の土壌。	9-23
四条三坊 三町	中・新町通錦小路上る百足屋町	立	12/7	GL-1.7mにて室町の柱穴, 土壌, 鎌倉の土壌各1。	10-153
四条三坊 四町	中・錦小路通新町西入西錦小路町256-1他	立	6/5	GL-0.83m以下土壌3, 江戸2, 時期不明1。	10-44
四条三坊 五町	中・錦小路通室町西入天神山町282	立	7/7	GL-1.58mにて鎌倉・鎌倉~室町の土壌各1。	10-59
"	中・錦小路通室町西入下る観音堂町456, 457	立	7/20	GL-1.32m以下時期不明の湿地堆積。	10-66
四条三坊 八町	中・新町通三条下る三条町333-2	立	4/5	GL-1.3mにて時期不明の包含層。	10-3
四条三坊 十町	中・烏丸通六角下る七観音町635	試	4/26	GL-1.94m以下包含層3, 鎌倉・室町・時期不明。発掘調査に切り換える。	10-16
四条三坊十四町	中・錦小路通烏丸東入元法然寺町685	立	9/1	検出できず。	10-88
四条四坊 五町	中・高倉通四条上る帯屋町58	試	5/17	GL-0.6m以下, 鎌倉・江戸の包含層各1。発掘調査に切り換える。	10-26
"	下・四条通堺町東入立売中之町106	立	11/1	GL-1.95m以下桃山・時期不明の包含層各1。	10-133
四条四坊 九町	中・柳馬場通六角上る鶴屋町92	立	5/18	GL-1.5mにて時期不明の土壌。	10-28
"	中・三条通柳馬場東入中之町9	立	9/29~ 10/4	GL-1.5mにて桃山~江戸初期の土壌, 池状遺構, 茶陶器多数出土。本文4ページ。	10-104
四条四坊十一町	中・柳馬場通蛸薬師下る十文字町439	試	4/21, 5/8	GL-0.8m以下, 江戸前期の包含層3。-1.2mにて室町後期の整地層。	10-12
四条四坊十二町	中・富小路通錦小路下る西大文字町602	立	7/6	検出できず。	10-58
四条四坊十六町	中・三条通寺町西入弁慶石町61	立	9/29	GL-0.5m以下時期不明の流れ堆積。	10-130
五条一坊 六町	中・壬生辻町地先	立	11/16	巡回時工事終了。	9-213

五条一坊 八町	中・壬生賀陽御所町71-1他	立	7/12	盛土のみ。	9-60
五条一坊 十町	下・綾小路通大宮西入坊門町768	立	5/8	GL-0.92mにて江戸の土壌。	9-20
"	下・仏光寺通大宮西入下る坊門町795,795-1	立	8/19	GL-0.7mにて時期不明の包含層。	9-80
五条一坊十四町	下・大宮通仏光寺下る五坊大宮町78	立	11/18	GL-0.55mにて土壌3,室町1,時期不明2。	9-144
五条一坊十六町	中・壬生賀陽御所町1	立	12/4	GL-0.95mにて室町の土壌1。	9-152
五条二坊 二町	下・黒門通綾小路下る塩屋町182他	立	4/25	GL-0.65mにて土壌7,平安前期2,平安後期3,時期不明2。	9-14
五条二坊十四町	下・西洞院通仏光寺下る本柳水町771	立	11/16	GL-0.55mにて江戸の包含層。	9-141
五条二坊十五町	下・油小路通綾小路下る風早町583-1	立	8/25	巡回時工事終了。	9-85
五条三坊 二町	下・新町通綾小路下る船鉦町386	立	10/16	GL-1.5mにて室町の包含層。	10-115
五条三坊 五町	下・室町通高辻角繁昌町310	立	8/1	検出できず。	10-72
五条三坊 八町	下・新町通四条下る四条町347-1他	立	11/27	GL-1.9mにて土壌3,鎌倉1,江戸2。	10-148
五条三坊十六町	下・烏丸通四条下る水銀屋町628-1	立	10/25	GL-0.35m以下包含層4,平安末期1,江戸1,時期不明2。	10-126
五条四坊 一町	下・四条高倉西入立売西町65	立	12/8・13	GL-0.9m以下時期不明の流れ堆積。	10-154
五条四坊 四町	下・高辻通間之町東入稲荷町540	立	5/22	GL-0.3m以下江戸の包含層。	10-33
"	下・間之町通高辻下る稲荷町546他	立	7/21	検出できず。	10-68
"	下・松原通東洞院榎本燈籠町	立	10/16	巡回時工事終了。	10-114
五条四坊 五町	下・松原通堺町東入杉屋町294	試	4/10	GL-1.6mにて鎌倉前期の土壌。本文30ページ。	10-6
五条四坊 八町	下・柳馬場通四条下る立売中之町99他	試	6/14	GL-0.82m以下包含層3,室町,江戸,時期不明各1。	10-49
"	下・高倉通四条下る高材木町226	立	6/30	検出できず。	10-56
五条四坊 十町	下・綾小路通麩屋町西入塩屋町72	立	11/21	検出できず。	10-146
五条四坊十四町	下・寺町通仏光寺下る恵比須之町526	立	9/11	GL-1.4m以下平安後期の流れ堆積。	10-94
六条一坊 二町	下・中堂寺坊城町28	立	12/18	検出できず。	9-209
六条一坊 三町	下・中堂寺坊城町16	試	5/1	GL-0.86mにて室町の土壌,小穴。発掘調査に切り換える。	9-18
六条一坊 五町	下・中堂寺鍵田町10	試	5/24	GL-1.3mにて平安前期~後期の土壌,小穴,溝。	9-34
"	下・小坂町地先	立	10/27	GL-1.1m以下平安後期の池状堆積。	9-128
六条一坊 七町	下・中堂寺壬生川町19他	立	4/6	検出できず。	9-4
六条一坊 八町	下・中堂寺命婦町地先	立	10/5	検出できず。	9-109
六条一坊十四町	下・大宮通五条下る西側下五条町445他	試	10/12	GL-0.8m以下江戸後期の包含層。	9-111
六条二坊 二町	下・大宮通五条上る東側南門前町464	立	9/4	GL-0.65mにて室町の包含層。	9-90
六条二坊十一町	下・中金仏町地先	立	11/16~18	GL-0.9m以下,時期不明の路面状整地層3。	9-140
六条二坊十三町	下・東中筋通六角上る天使突抜四丁目476-7・8・9	立	5/19	検出できず。	9-30
六条三坊 五町	下・六条通新町東入良町893	立	8/11	検出できず。	10-76
六条三坊 九町	下・室町通松原下る元両替町245	立	11/22	GL-0.7m以下平安・鎌倉・室町の包含層1。	10-147
六条三坊 十町	下・烏丸通五条上る悪王子町426他	試	11/8	GL-1.0m以下平安・室町の包含層2,-1.7mにて平安の池状堆積。-1.9mにて飛鳥の包含層。発掘調査に切り換える。	10-135
六条三坊十二町	下・鍵屋町通烏丸西入鍵屋町342	立	9/29	GL-2.2m以下鎌倉の包含層2。	10-105

六条四坊 一町	下・松原通間ノ町東入本燈籠町11他	試	4/11	GL-0.9mにて室町の包含層。— 1.6mにて弥生時代の土城、平安前・ 後期の溝、鎌倉の土城。発掘調査に 切り換える。	10- 7
六条四坊 五町	下・富小路通五条下る本塩竈町559	立	7/17	GL-1.75mにて時期不明の路面、 推定富小路。	10- 62
六条四坊 八町	下・柳馬場通松原下る志庵町307	立	5/25	GL-1.33m以下、包含層3、平安末 期1、江戸2。	10- 41
〃	下・堺町通松原下る杉屋町275-1	立	8/22	GL-1.7mにて平安の包含層。	10- 84
六条四坊 九町	下・柳馬場通松原下る志庵町309	立	5/16	GL-1.45m以下室町・時期不明の 包含層各1。	10- 24
〃	下・富小路通万寿寺上る本上上明町460,458- 2	立	5/24	検出できず。	10- 37
六条四坊 十町	下・麩屋町通五条上る下鱗形町539-1	立	6/29	GL-1.63m以下時期不明の流れ堆 積。	10- 54
六条四坊十四町	下・寺町通五条上る西橋詰町784他	立	11/30	GL-0.9m以下時期不明の流れ堆 積。	10-151
六条四坊十六町	下・寺町通松原下る植松町723	立	9/21	GL-0.8m以下江戸の流れ堆積。	10-100
七条一坊 一町	下・西新屋敷下之町7-1	立	9/11	検出できず。	9- 93
七条一坊 四町	下・朱雀正会町6-1	立	9/26	検出できず。	9-102
七条一坊十四町	下・大宮通丹波口下る大宮三丁目16-2他	立	10/20	GL-0.75mにて室町の包含層。	9-123
七条二坊 四町	下・七条通大宮東入大工町107他	立	8/ 1	GL-1.59mにて室町の包含層。	9- 71
七条二坊 九町	下・西中筋通新花屋町上る住吉町35-2	立	10/19	GL-1.1mにて平安末期の包含層。 本文33ページ。	9-121
七条二坊 十町	下・正面通油小路西入珠数屋町111	立	8/31	GL-1.73m以下時期不明の流れ堆 積。	9- 87
七条二坊十二町	下・西中筋通七条上る菱屋町150-1	立	6/29	検出できず。	9- 53
七条三坊 四町	下・新町通七条上る辰巳町740-1,744	立	5/24, 6/12	検出できず。	10- 39
〃	下・西洞院通七条上る福本町414	立	7/19	GL-0.74m以下時期不明の包含層 3。	10- 64
七条三坊十二町	下・七条通烏丸西入東境町176-2	立	10/16	GL-1.07mにて鎌倉の土城1。— 1.52m以下、平安前・平安後期の包含 層各1。	10-113
七条三坊十四町	下・不明門通下珠数屋町上る卓屋町60	立	4/24	盛土のみ。	10- 13
七条四坊 一町	下・上珠数屋町通間之町西入天神町406	立	8/25	巡回土工事終了。	10- 86
七条四坊 四町	下・七条通河原町西入材木町488	立	9/18	GL-1.24mにて鎌倉の流れ堆積。	10- 96
七条四坊十二町	下・七条通河原町東入材木町460	立	10/16	GL-0.77m以下時期不明の流れ堆 積。	10-112
七条四坊十六町	下・三ノ宮町通上ノ口上る岩滝町224-2	立	4/25	GL-0.7m以下時期不明の流れ堆 積。	10- 15
〃	下・早尾町地先	立	8/17	攪乱のみ。	10- 77
八条一坊 八町	下・観喜寺町3	立	5/19	盛土のみ。	11- 32
八条二坊 二町	下・大宮通木津屋橋下る上中之町24	立	10/ 5	GL-0.5mにて江戸の包含層。	11-110
八条二坊十二町	南・西九条寺ノ前町10-5	試	10/ 4	GL-1.9m以下時期不明の流れ堆 積。	11-108
八条二坊十五町	下・木津屋橋通油小路東入南町501他	立	7/ 1	GL-1.25mにて平安前期の土城。	11- 57
八条三坊 三町	下・塩小路通新町西入東塩小路町	試	10/25	GL-1.14mにて室町の包含層。	12-125
八条三坊十六町	下・烏丸通七条下る東塩小路町735-5	立	10/27	GL-0.8mにて平安後期の井戸、— 2.9mにて火山灰層。	12-129
八条四坊 二町	下・東洞院通七条下る東塩小路町685	立	5/19	検出できず。	12- 31
〃	下・東洞院通塩小路下る東塩小路町547	立	11/29	GL-0.3m以下時期不明の流れ堆 積。	12-149
八条四坊 九町	下・郷之町131~134	立	5/16	盛土のみ。	12- 25

九条一坊 四町	南・八条内田町31-4	立	10/16	GL-1.15mにて時期不明の南北杭列。	11-124
九条二坊 三町	南・西九条南小路町1 九条中学校	立	5/25	盛土のみ。	11- 38
九条二坊 六町	南・西九条唐橋町地先	立	4/17, 5/19	GL-1.13mにて路面状整地層, 推定針小路。	11- 10
九条三坊 七町	南・東九条室町地先	立	4/25	GL-0.9m以下時期不明の流れ堆積。	12-183
九条四坊 二町	南・東九条東山王町9-4,5	立	7/20	GL-0.92m以下時期不明の流れ堆積。	12- 67
九条四坊十五町	南・東九条岩本町33	立	11/29	GL-0.7m以下時期不明の流れ堆積。	12-150

太秦地区 (U Z)

遺 跡 名	所 在 地	試・立	調 査 日	概 要	図版番号
仁和寺院家跡	右・宇多野長尾町19	立	6/14	検出できず。	— 2
仁和寺院家跡	右・鳴滝本町地先	立	9/4	検出できず。	— 6
常盤東ノ町古墳群	右・常盤窪町地先	立	8/22・28	検出できず。	— 4
広隆寺境内遺跡	右・太秦西峰ヶ岡町9	立	9/4	GL-0.65mにて平安中期の土壌。	— 5
弁天島経塚広隆寺旧境内	右・太秦峰岡町地先	立	11/7	検出できず。	— 8
史跡・名勝嵐山	右・嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-18	試	11/17	GL-0.4mにて室町の南北溝, 0.7mにて石列。発掘調査に切り換える。	— 9
史跡・名勝嵐山	右・嵯峨柳田町地先	立	5/26~ 9/9	検出できず。	— 13
大覚寺御所跡	右・嵯峨大沢町	立	12/8	検出できず。	— 10
円乗寺跡	右・御室大内35	立	11/20	検出できず。	— 15
上ノ段町遺跡	右・嵯峨野開町地先	立	7/25	GL-0.4mにて時期不明の包含層。	— 3
〃	右・嵯峨野開町1-1 市立峰ヶ岡中学校	立	10/12	検出できず。	— 7
〃	右・太秦上ノ段町地先	立	11/20	検出できず。	— 14
三瓦山古墳群	右・鳴滝部山町他	立	4/17	GL-0.6mにて平安前期の包含層。	— 1

洛北地区 (R H)

遺 跡 名	所 在 地	試・立	調 査 日	概 要	図版番号
岩倉忠在地遺跡	左・岩倉中町地先	立	4/19	検出できず。	— 3
〃	左・岩倉忠在地町286-1他	立	11/14~ 12/8	検出できず。	— 20
〃	左・岩倉忠在地町地内	立	8/24~ 12/8	GL-1.3m以下江戸の湿地堆積。	— 12
紫野齋院跡	上・大宮通西芦山寺上る二丁目豎社南半町229	立	4/11	GL-0.8mにて平安後期の土壌。	— 1
〃	上・嵐山寺通大宮西入二丁目中社町345	立	4/13	検出できず。	— 2
室町殿跡隣接地	上・衣柵通今出川上る畠山町206他	試	10/23, 11/13~ 12/5	GL-1.3mにて平安前期の土壌, 平安後期の土壌。室町の東西溝2条, 柱穴, 土壌。本文11ページ。	— 18
植物園北遺跡	北・上賀茂土門町66	立	4/26	検出できず。	13- 4
〃	北・上賀茂南大路町37	立	5/16	盛土のみ。	— 5
〃	北・上賀茂南大路町61	立	6/8	GL-0.42mにて室町・時期不明の土壌各1。	— 6
〃	北・上賀茂岡本町3,14	立	8/1	巡回時工事終了。	13- 8
〃	北・上賀茂岡本町2	立	8/7	盛土のみ。	13- 9

〃	北・下鴨前萩町19	立	9/8	GL-0.54mにて時期不明の包含層。	13- 13
〃	北・上賀茂桜井町7	立	9/12	検出できず。	— 14
〃	北・上賀茂豊田町73,75	立	9/27	検出できず。	13- 15
〃	北・上賀茂畔勝町90-1	立	10/16	検出できず。	13- 17
〃	北・上賀茂森田町5	立	10/30	検出できず。	— 19
〃	北・下鴨北芝町22-1他	立	11/29	盛土のみ。	13- 22
〃	北・上賀茂岩ヶ垣内町98-2.3	試	12/1	GL-0.4mにて時期不明の土壌3。	13- 23
〃	北・下鴨半木町他	試	11/24	GL-1.7mにて古墳期の落ち込み。 発掘調査に切り換える。	— 24
〃	北・下鴨北野野神町31	試	12/8	GL-0.64mにて江戸の溝・井戸。	— 25
〃	北・上賀茂荒草町9-1.2	立	12/26	盛土のみ。	— 26
船山須恵器窯跡	北・西賀茂今原町8-1他	試	11/20	検出できず。	— 21
北野遺跡	北・平野宮本町77,77-2	立	7/28	GL-0.33mにて古墳期の包含層。	— 7
〃	北・平野鳥居前町90-1,3	試・立	8/25, 10/4	検出できず。	— 10
〃	北・平野宮本町92-1	立	10/4	検出できず。	— 16
北野鳥居前町遺跡	上・柏清盛町他	立	8/31, 9/1	GL-0.58mにて時期不明の包含層。	— 11

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	要	図版番号
延勝寺跡	左・北門前町481-7	試・立	11/6, 11/30	GL-1.1m以下平安末期の集石遺構。		13- 17
岡崎遺跡	左・岡崎北御所町48-2	立	11/7	GL-0.44mにて時期不明の土壌2。		13- 18
京都大学北部構内遺跡	左・北白川葛町2	試	8/11	GL-0.6mにて室町の包含層。		— 10
〃	左・北白川西町29-1	立	6/21	検出できず。		— 7
最勝寺跡	左・岡崎最勝寺町5-2	試	4/6	GL-0.35mにて平安の整地層。発掘調査に切り換える。		13- 1
尊勝寺跡	左・岡崎西天王町79-1他	試	9/29	GL-0.6mにて版築基壇。発掘調査に切り換える。		13- 13
得長寿院跡	左・岡崎徳成町28-4他	立	12/21	GL-0.7mにて平安後期の包含層。		13- 23
白河街区跡	左・吉田下大路町24-1	立	4/12	GL-0.75mにて室町の包含層。		13- 2
〃	左・畿州寺町200	立	4/12	GL-0.45mにて江戸の土壌。		13- 3
〃	左・新東洞院町271-2	立	6/20	GL-1.78m以下、江戸・時期不明の包含層各1。		13- 6
〃	左・聖護院円頓美町18	試	7/7	GL-2.1mにて江戸前期の東西溝1, 室町末期の土壌1。		13- 9
〃	左・岡崎天王町16他	立	7/4	巡回時工事終了。		13- 8
白河南殿跡	左・秋築町250-1	立	11/17	盛土のみ。		13- 19
〃	左・聖護院蓮華蔵町8-10	試	11/30	GL-1.0m以下中世の流れ堆積。		13- 21
白河北殿跡	左・聖護院川原町11-24,25	立	10/4	GL-0.7m以下時期不明の流れ堆積。		13- 14
法勝寺跡	左・岡崎法勝寺町4	立	11/20	検出できず。		13- 20
〃	左・岡崎法勝寺町52-2他	立	8/24, 25-26	GL-1.05mにて時期不明の溝2。		13- 11
〃	左・岡崎北御所町42-12,13	立	9/11	GL-0.5m以下時期不明の流れ堆積。		13- 12
〃	左・岡崎法勝寺町90-4	立	10/13, 11/6	盛土のみ。		13- 15
〃	左・岡崎法勝寺町90-4	立	10/13	盛土のみ。		13- 16

法成寺跡	上・河原町通荒神口上る東入宮垣町92,93	立	6/7	GL-2.3m以下時期不明の流れ堆積。	- 5
"	上・河原町通荒神口上る西入宮垣町75	立	12/7	GL-1.4m以下時期不明の流れ堆積。	- 22

洛東地区 (R T)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
勸修寺境内	山・勸修寺泉玉2-2	立	5/24	GL-0.4mにて平安後期の落込み。	- 8
"	山・西野左義長町35	立	11/13	盛土のみ。	- 32
祇園町遺跡	東・祇園町北側288	立	12/1	GL-0.65m以下包含層3, 平安後期, 鎌倉, 時期不明各1。	- 37
山科本願寺跡	山・西野山階町11-18	立	4/27	GL-1.19mにて時期不明の包含層。	- 5
"	山・西野山階町29	試	10/3~14	GL-0.5mにて東西石組み溝。本文19ページ。	- 21
総山古墳	東・今熊野総山町1-14	立	12/15	岩盤のみ。	- 40
大塚遺跡	山・小山西溝町4	立	11/16	検出できず。	- 33
"	山・大塚野溝町	立	4/17~5/31	検出できず。	- 2
"	山・小山西溝町他地内	立	6/26~11/10	検出できず。	- 9
池田瓦窯跡	東・今熊野池田町地内	立	11/6	盛土のみ。	- 30
中臣遺跡	山・西野山中臣町41他	立	4/21	検出できず。	13- 3
"	山・西野山中臣町50	立	5/8	GL-0.62mにて古墳後期の包含層。	13- 6
"	山・東野舞台町55-4	立	5/19	盛土のみ。	13- 7
"	山・勸修寺東金ヶ崎13-1	試	7/14	GL-2.2mにて時期不明の竪穴住居址1, 土壇3。	13- 11
"	山・栗栖野打越町12	立	7/20	検出できず。	13- 12
"	山・栗栖野打越町12	立	7/20	掘削なし。	13- 13
"	山・勸修寺東栗栖野町18-18	立	8/17	GL+0.4mにて平安の包含層。RT16,17同一敷地。	13- 15
"	山・勸修寺東栗栖野町18-18	立	8/17	GL+0.4mにて平安の包含層。RT15, 17同一敷地。	13- 16
"	山・勸修寺東栗栖野町18-18	立	8/17	GL+0.4mにて平安の包含層。RT15, 16同一敷地。	13- 17
"	山・栗栖野打越町12-6	立	8/24	検出できず。	13- 18
"	山・勸修寺東金ヶ崎66-1	試	8/25	GL-1.4mにて土壇3, 溝2, 古墳後期の竪穴住居址。	13- 19
"	山・勸修寺東金ヶ崎町57-1	試	8/28	GL-0.3mにて時期不明の小穴1, 土壇7, 溝1。	13- 20
"	山・西野山中臣町41	立	10/5	盛土のみ。	13- 22
"	山・栗栖野狐塚町1-1	立	10/12	盛土のみ。	13- 24
"	山・勸修寺東栗栖野町82-4	試	10/24	検出できず。	13- 25
"	山・西野山中臣町15	立	11/2	検出できず。	13- 28
"	山・西野山中臣町15	立	11/2	GL-0.85m以下時期不明の包含層2。	13- 29
"	山・栗栖野打越町25-1他	立	11/22	検出できず。	13- 34
"	山・西野山中臣町41	試	11/27	検出できず。	13- 35
"	山・栗栖野華ノ木町22-8	立	11/30	検出できず。	13- 36
"	山・西野山中臣町26-79他	試	12/12	GL-0.89mにて平安後期の包含層。	13- 38
"	山・西野山中臣町41	立	12/18	GL-1.8m以下時期不明の流れ堆積。	13- 41
"	山・東野森野町1-1	試	12/22	検出できず。	13- 42

日ノ岡堤谷窯跡	山・日ノ岡堤谷町72他	立	8/3	検出できず。	— 14
法興院跡	中・新烏丸通夷川上る梅ノ木町142	立	4/10	GL-1.2m以下時期不明の流れ堆積。	— 1
"	中・新榎木町通竹屋町上る西葎堂町184	立	6/14	GL-0.2m以下室町・江戸の包含層各1。	— 10
法住寺殿跡	東・上池田町538	立	4/25	GL-1.4mにて平安末期の池状堆積。	— 4
"	東・泉涌寺門前町26-1他	試	10/13	GL-1.8mにて近代の窯跡。	— 23
六波羅政庁跡	東・妙法院前側町431	立	11/2	盛土のみ。	— 26
"	東・本町二丁目70-3	立	10/30	GL-0.65m以下時期不明の流れ堆積。	— 27
"	東・新シ町372	立	11/9	検出できず。	— 31
"	東・妙法院前側町424-1	試	12/15	GL-1.3mにて鎌倉前期の井戸。発掘調査に切り換える。	— 39

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	要	図版番号
向島城跡	伏・向島本丸町65	試	4/18	GL-0.6mにて時期不明の包含層。-0.95m以下流れ堆積。88FD46の再試掘。		— 3
"	伏・向島善阿弥町56-11.6	立	12/25	GL-0.7m以下流れ堆積。88FD42で試掘済。		— 42
史跡・醍醐寺境内	伏・醍醐御陵東裏町地先	立	10/19	検出できず。		— 35
板橋麁寺跡	伏・川東町地先	立	4/18	検出できず。		— 4
伏見城跡	伏・両替町11丁目237	立	4/3	検出できず。		— 1
"	伏・西町396,400	立	4/12	GL-1.3m以下時期不明の流れ堆積。		— 2
"	伏・下板橋町604	立	4/21	検出できず。		— 5
"	伏・桃山町本多上野17-1	立	4/25	GL-0.5m以下時期不明の流れ堆積。		— 6
"	伏・伯耆町1-1	立	5/8	GL-0.67m以下時期不明の流れ堆積。		— 7
"	伏・東大手町751	立	5/8	GL-0.88mにて時期不明の土壌。		— 8
"	伏・弾正町115	立	5/15	検出できず。		— 9
"	伏・京町三丁目195	立	5/25,	GL-1.4mにて奈良期の土壌, 落ち		— 10
"	伏・桃山町永井久太郎57他	試	6/2	込み多数。本文26ページ。		— 12
"	伏・肥後町361	試	6/7	GL-1.0mにて伊達街道旧路面, 石組の側溝。		— 13
"	伏・肥後町361	試	6/12	GL-1.36mにて江戸中期の湿地堆積。		— 14
"	伏・桃山毛利長門西町46	試	6/19	GL-1.0mにて江戸の整地層。-1.64mにて室町の包含層。		— 15
"	伏・東町209他	立	6/29	GL-1.0mにて江戸の包含層。		— 16
"	伏・桃山町泰長老125-10	立	6/29	GL-0.3m以下時期不明の流れ堆積。		— 17
"	伏・桃山町丹後地先	立	7/4・6	検出できず。		— 18
"	伏・京町八丁目横町65-1	立	7/11	盛土のみ。		— 19
"	伏・山崎町354	立	7/14	GL-0.5m以下江戸の流れ堆積。		— 20
"	伏・新町4丁目473	立	7/17	検出できず。		— 21
"	伏・桃山町泰長老125-4	立	7/21	GL-0.95m以下時期不明の流れ堆積。		— 21

	伏・豊後橋町74	立	7/28	GL-0.8m以下時期不明の流れ堆積。	— 22
	伏・筒井伊賀西町39	立	8/4	GL-0.23mにて時期不明の土壌。	— 23
	伏・桃山長岡越中南町地先	立	8/4	検出できず。	— 24
	伏・御香宮門前町190-1,5,6	試	8/8	GL-1.35mにて室町の包含層。	— 25
	伏・京町10丁目26-1	立	8/17	GL-1.0m以下平安後期・江戸の包含層各1。—2.0mにて火山灰層。	— 26
	伏・新町2丁目497	立	8/17	GL-1.2mにて江戸後期の包含層。	— 27
	伏・瀬戸物町732	立	8/19	検出できず。	— 28
	伏・下板橋町610 板橋小学校	立	8/28	GL-1.47mにて桃山の包含層。	— 29
	伏・桃山町伊賀地先	立	9/6	検出できず。	— 30
	伏・桃山町永井久太郎	立	9/18	GL-0.65mにて時期不明の包含層。	— 31
	伏・新町1丁目517-1,2,6	立	9/18	GL-0.45mにて時期不明の包含層。	— 32
	伏・桃山長岡越中南町72	立	10/4	盛土のみ。	— 33
	伏・肥後町350	立	10/31	GL-0.9m以下包含層4, 江戸2, 時期不明2。	— 36
	伏・桃山町本多上野地先	立	11/7	埋土のみ。	— 37
	伏・桃山町伊賀地先	立	11/10	検出できず。	— 38
	伏・桃山町泰長老83-3他	立	11/14	GL-1.25mにて室町の土壌。	— 39
	伏・魚屋町567	立	12/18	GL-0.6mにて時期不明の落込み。	— 40
	伏・京町北七丁目20-1他	立	12/21	GL-0.8mにて時期不明の包含層。	— 41
伏見城跡・ 板橋廃寺	伏・下板橋町610	立	6/6	GL-0.4mにて時期不明の路面状整地層。	— 11

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
下鳥羽遺跡	伏・下鳥羽北ノ口町34他	立	4/20	検出できず。	14- 3
〃	伏・下鳥羽北ノ口町40他	試	6/2	GL-1.7mにて古墳~平安の包含層。	14- 9
〃	伏・下鳥羽芹川町地先	立	6/27	埋土のみ。	14- 11
〃	伏・下鳥羽北ノ口町37-3	立	8/11	GL-1.15mにて平安の包含層。	14- 17
上鳥羽遺跡	南・上鳥羽花名町39-5	立	5/19	盛土のみ。	— 5
〃	南・上鳥羽北花名町13-2	試	7/28	GL-1.3m以下時期不明の流れ堆積。	— 14
〃	南・上鳥羽南花名町7	立	8/4	GL-1.2mにて時期不明の包含層。	— 15
深草遺跡	伏・深草西浦町8丁目83	立	12/15	検出できず。	— 25
西飯食町遺跡	伏・深草池ノ内町13 京都市青少年科学センター	立	11/14	GL-2.1mにて時期不明の溝。	— 24
鳥羽離宮跡	伏・竹田桶ノ井町44	試	4/4	GL-1.8mにて鳥羽離宮期の包含層, 木製品多数。	14- 1
〃	伏・竹田浄菩提院町41-5	立	4/14	盛土のみ。	14- 2
〃	伏・竹田桶ノ井町51-2	立	5/2	検出できず。	14- 4
〃	伏・中島御所ノ内町地先	立	5/26	巡回時工事終了。	14- 6
〃	伏・竹田浄菩提院町41-6	立	5/30	盛土のみ。	14- 8
〃	伏・下鳥羽北ノ口町40他	試	6/2	検出できず。	14- 10
〃	伏・竹田小屋ノ内町6-1	立	7/5	検出できず。	14- 12
〃	伏・中島秋ノ山町35	立	7/9	検出できず。	14- 13
〃	伏・竹田浄菩提院町28-8	立	8/8	盛土のみ。	14- 16
〃	伏・竹田真幡木町61-4	試	8/23	GL-0.6m以下時期不明の流れ堆積。本文33ページ。	14- 18
〃	伏・中島堀瑞町19	試	9/25・26	GL-2.1mにて弥生~鳥羽時代の包含層。発掘調査に切り換える。	14- 19

"	伏・竹田浄菩提院町31-1	立	10/5	盛土のみ。	14-20
"	伏・中島堀端町66-1	試	10/16	G L-0.9m以下時期不明の湿地状堆積。	14-21
"	伏・竹田桶ノ井町45-2	立	11/9	検出できず。	14-22
"	伏・中島北ノ口町	立	11/10	検出できず。	14-23
"	伏・竹田浄菩提院町36-7	立	12/20	G L-1.25m以下鎌倉の流れ堆積。	14-26
唐橋遺跡	南・吉祥院九条町39-4他	立	5/29	G L-1.2m以下時期不明の流れ堆積。	-7

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	地試・立	調査日	概要	図版番号
下津林遺跡	南・久世高田町336	立	12/11	検出できず。	-10
革嶋館跡	西・川島玉頭町18-2	立	10/23	G L-0.2mにて時期不明の包含層。	-5
久我東町遺跡	伏・久我東町地先	立	5/15	検出できず。	-2
"	伏・羽東師鴨川町59-1,60-1	試	11/15	G L-1.67m以下室町の包含層2。	-8
松室遺跡	西・松室北河原町地先	立	11/1	G L-0.7mにて江戸の溝。	-6
上久世遺跡	南・久世上久世町62-3	立	11/7	検出できず。	-7
中久世遺跡	南・久世殿城町106	試	6/27	G L-0.6mにて時期不明の南北方向の溝数条。	15-3
"	南・久世中久世町2丁目105	立	7/14	G L-1.45m以下弥生の包含層2。	15-4
"	南・久世中久世町3丁目109	立	11/18	G L-0.55mにて弥生の包含層。-0.67mにて弥生の土壊3。	15-9
福西古墳群	西・大枝東長町1-305他	試	4/17	G L-3.15m以下時期不明の流れ堆積。	-1

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	地試・立	調査日	概要	図版番号
長岡京跡	伏・淀水垂町	立	4/3	盛土のみ。	-1
"	伏・羽東師菱川町332-1	立	5/2	検出できず。	-2
"	西・大原町上里男鹿町16-8	立	5/8	G L-0.6m以下時期不明の流れ堆積。	-3
"	伏・淀樋爪町156,157-1	試	5/12	G L-0.7mにて時期不明の東西溝。	-4
"	伏・羽東師菱川町569他	試	5/16~18	G L-0.5mにて時期不明の流れ堆積。	-5
"	伏・葭島渡場島町32他	立	5/25	G L-0.5m以下時期不明の流れ堆積。	-6
"	伏・羽東師菱川町511他	試	6/19	検出できず。	-7
"	伏・淀樋爪町2-1	立	6/19	検出できず。	-8
"	伏・羽東師古川町320他	試	7/6	G L-2.0mにて水田址。発掘調査に切り換える。	-9
"	伏・羽東師菱川町207	立	7/24	G L-1.0m以下時期不明の流れ堆積。	-11
"	南・久世築山町299-1	立	8/28	検出できず。	-13
"	南・久世大藪町523-1	立	8/28	盛土のみ。	-14
"	伏・羽東師菱川町304-1	立	8/31	盛土のみ。	-15
"	伏・淀下津町70	立	9/8	G L-0.86m以下時期不明の流れ堆積。	-16
"	伏・淀樋爪町234-4他	立	9/18	盛土のみ。	-17

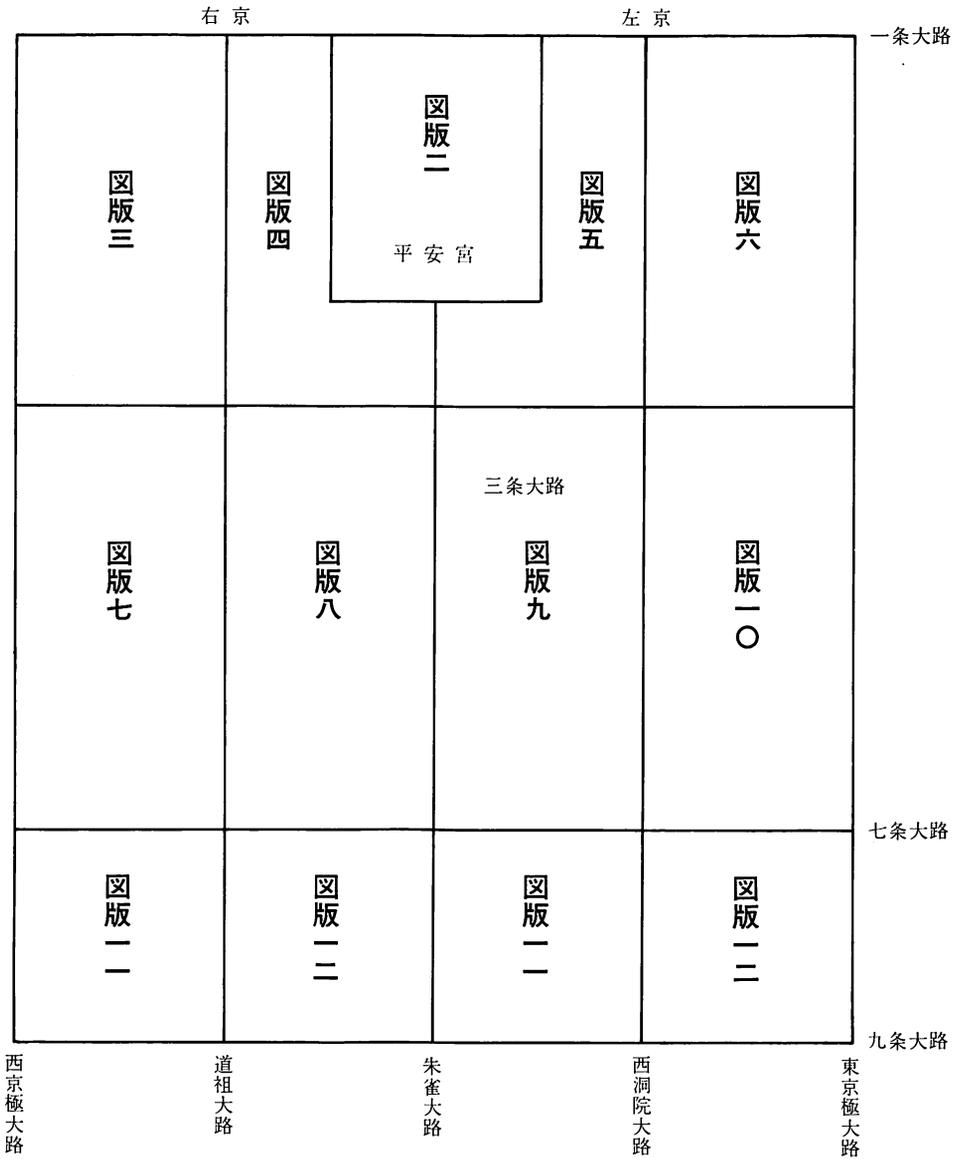
〃	南・久世大藪町404-2	試	10/18	GL-1.47mにて弥生後期の竪穴住居跡1, 柱穴4基, 土壙1基検出。発掘調査に切り換える。	- 18
〃	伏・羽東師菱川町362-1	立	10/26	検出できず。	- 19
〃	伏・羽東師菱川町243-2	立	10/26	検出できず。	- 20
〃	伏・羽東師菱川町351	立	9/27	検出できず。	- 21
〃	伏・羽東師菱川町370-2	試	11/1	GL-1.0mにて弥生・古墳時代の包含層。-1.5m以下, 弥生の湿地堆積。	- 22
〃	南・久世東土川町302,303	試	11/16	GL-2.35mにて弥生の包含層。	- 23
〃	南・久世殿城町563	立	11/27	検出できず。	- 24
〃	伏・羽東師菱川町地先	立	12/13	検出できず。	- 25
長岡京跡・ 羽東師遺跡	伏・羽東師菱川町741 神川中学校	立	7/17	盛土のみ。	- 10
淀城跡	伏・淀本町173-28,54	立	7/26	GL-0.7m以下江戸の流路堆積。	- 12

(なお、図版番号の内右の番号は調査記号と一致する。)

版 图

調査地点位置図

平安京図葉分割図



凡例

- 63年度試掘調査地点 ■ 元年度試掘調査地点
- △ 63年度立会調査地点 ▲ 元年度立会調査地点
- — — — — 遺跡範囲

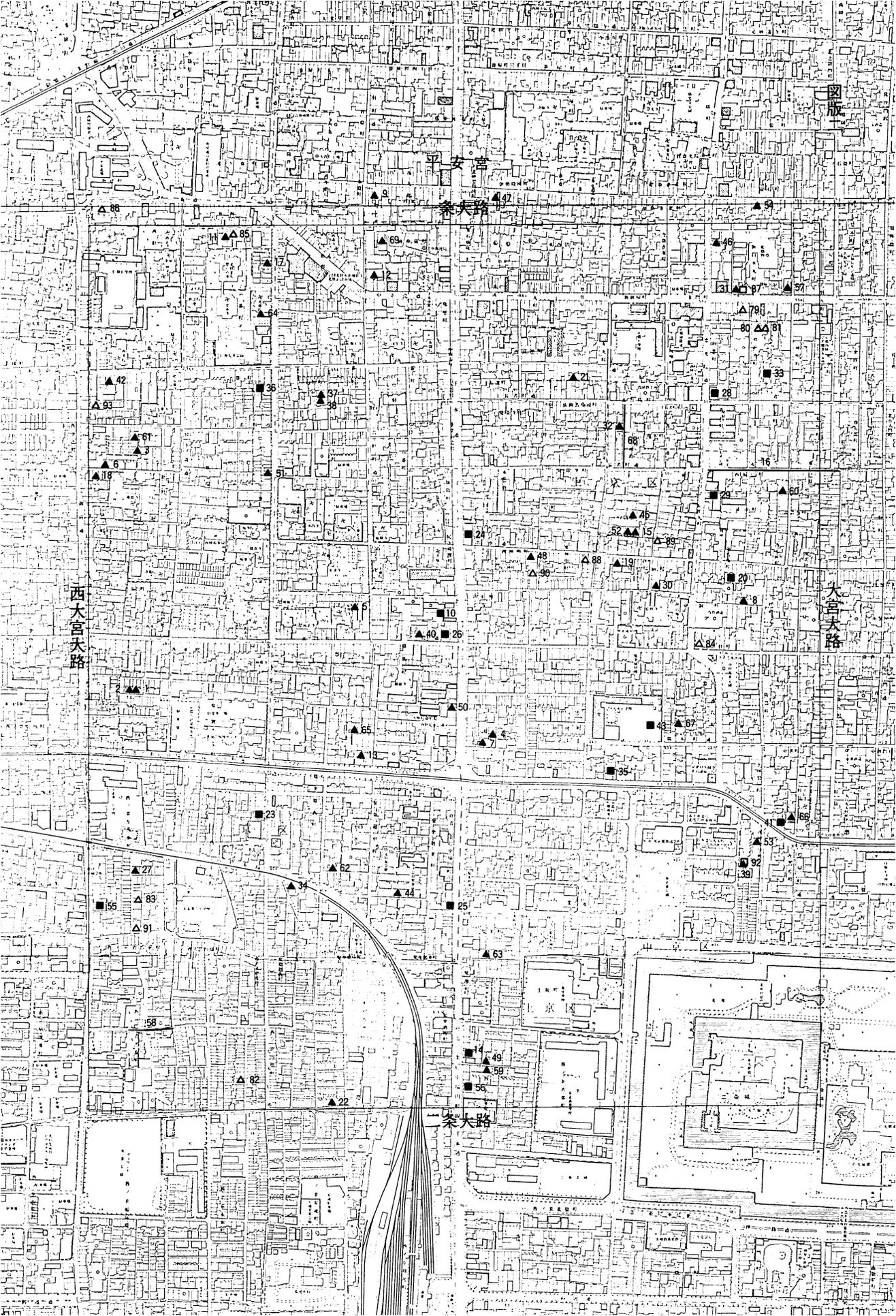
平安宮

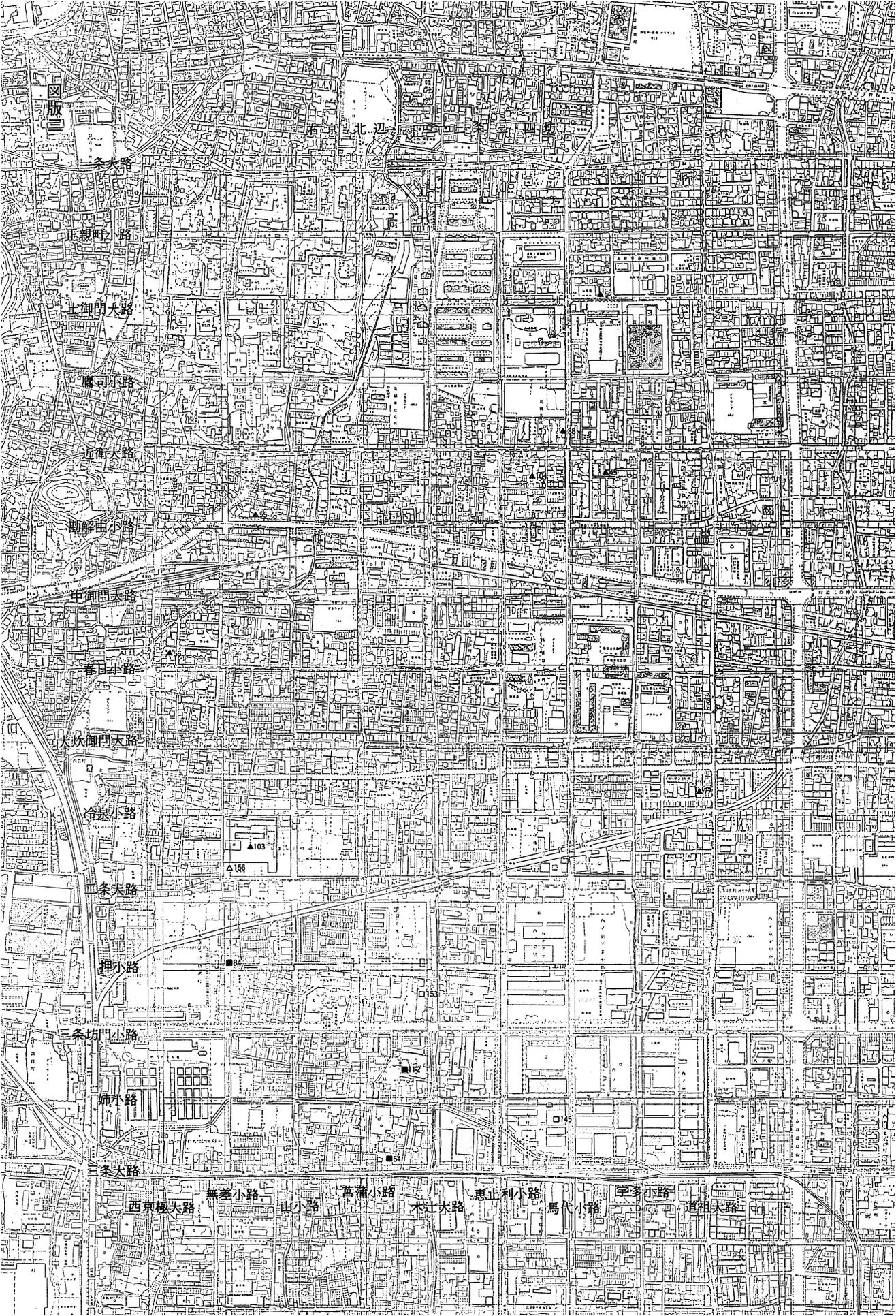
桑大路

西大宮大路

大宮大路

桑大路





版

石京北辺

条大路

正親町小路

上御門大路

鷹司小路

近衛大路

勘解由小路

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

命泉小路

条大路

押小路

三条坊門小路

姉小路

条大路

西京極大路

無差小路

山小路

善灌小路

木辻大路

惠止利小路

馬代小路

宇多小路

道祖大路

▲103

▲156

■84

□153

■12

■64

左軍北邊 案

桑大路

瀨川小路

御門大路

廣司小路

近衛大路

勘解由小路

御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷泉小路

桑大路

柳小路

桑筋門小路

柳小路

桑大路

坊城小路

權新小路

緒綱小路

海小路

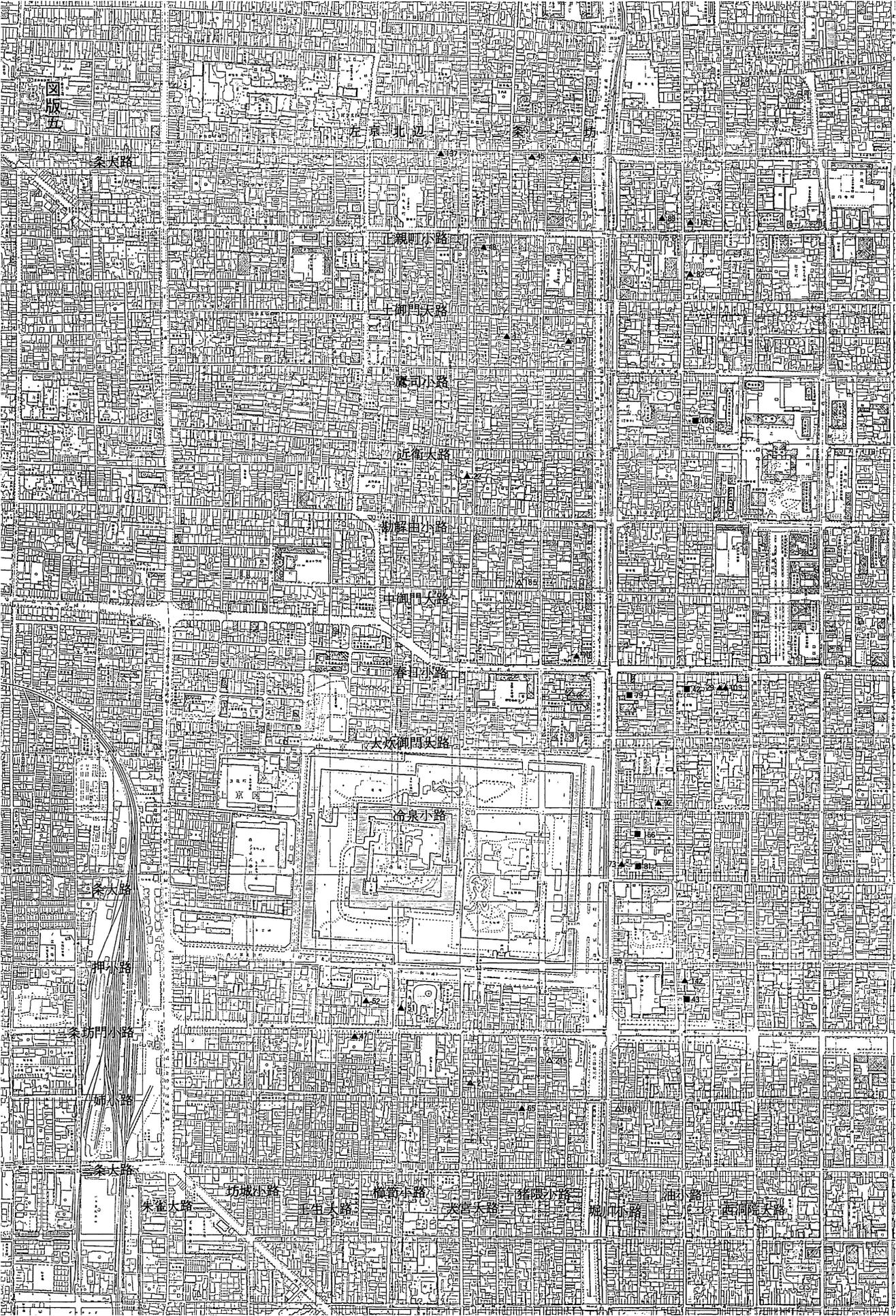
朱雀大路

壬右大路

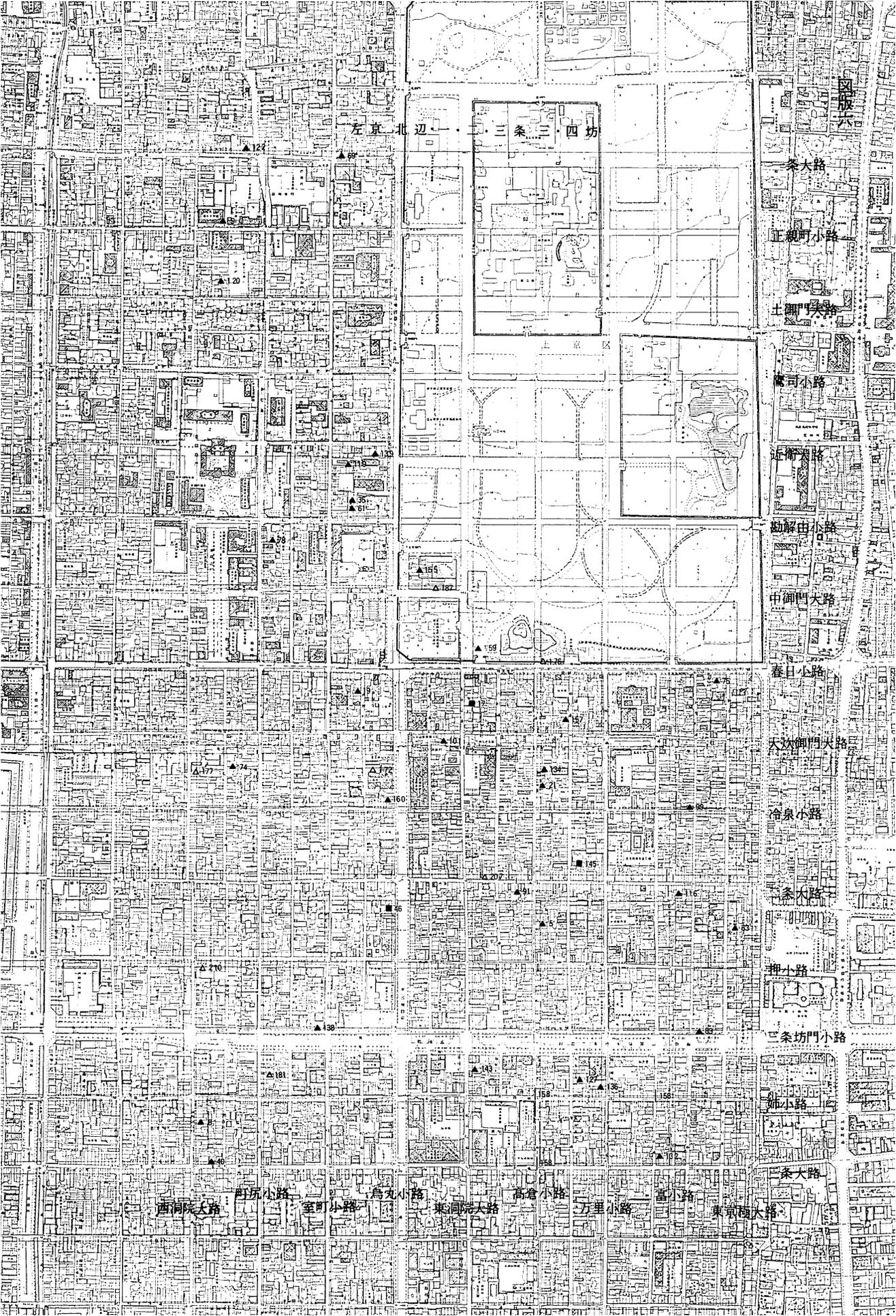
大馬大路

堀川大路

西河院大路



左京北邊 三條三四坊



三條大路

正親町小路

土御門大路

鷹司小路

近衛大路

勸解由小路

中御門大路

春日小路

天次御門大路

冷泉小路

三條大路

柳小路

三條坊門小路

堀小路

三條大路

西洞院大路

町所小路

室町小路

烏丸小路

東洞院大路

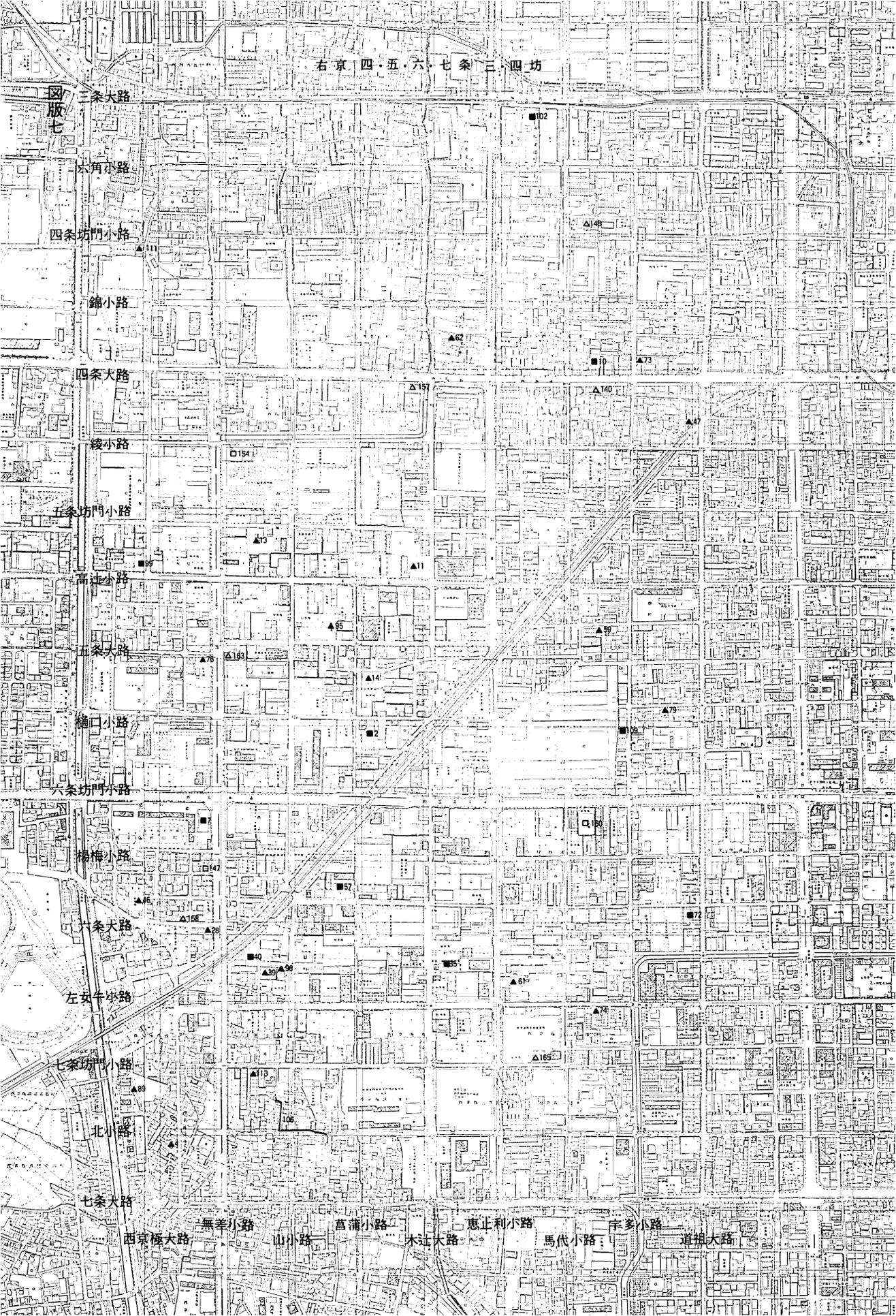
高倉小路

万里小路

富小路

東黃極大路

右京四・五・六・七条三・四坊



三條大路

六角小路

四條坊門小路

錦小路

四條大路

綾小路

五條坊門小路

高辻小路

五條大路

樋口小路

六條坊門小路

揚梅小路

六條大路

左兵衛小路

七條坊門小路

北小路

七條大路

西京極大路

無差小路

山小路

高蒲小路

木辻大路

惠止利小路

馬代小路

宇多小路

道祖大路

■102

△148

▲111

▲62

■10

▲73

△159

△140

▲47

□154

▲13

▲11

■95

▲95

▲59

△163

▲14

▲79

■2

■92

六條坊門小路

揚梅小路

▲46

▲158

▲28

■40

▲39

▲96

■35

▲65

■72

七條坊門小路

▲89

▲113

▲106

△165

▲74

七條大路

無差小路

山小路

高蒲小路

木辻大路

惠止利小路

馬代小路

宇多小路

道祖大路

右京 四・五・六・七条 一・二坊

四版八

一条大路

六角小路

四条坊門小路

錦小路

四条大路

綾小路

五条坊門小路

高辻小路

五条大路

樋口小路

六条坊門小路

楠梅小路

六条大路

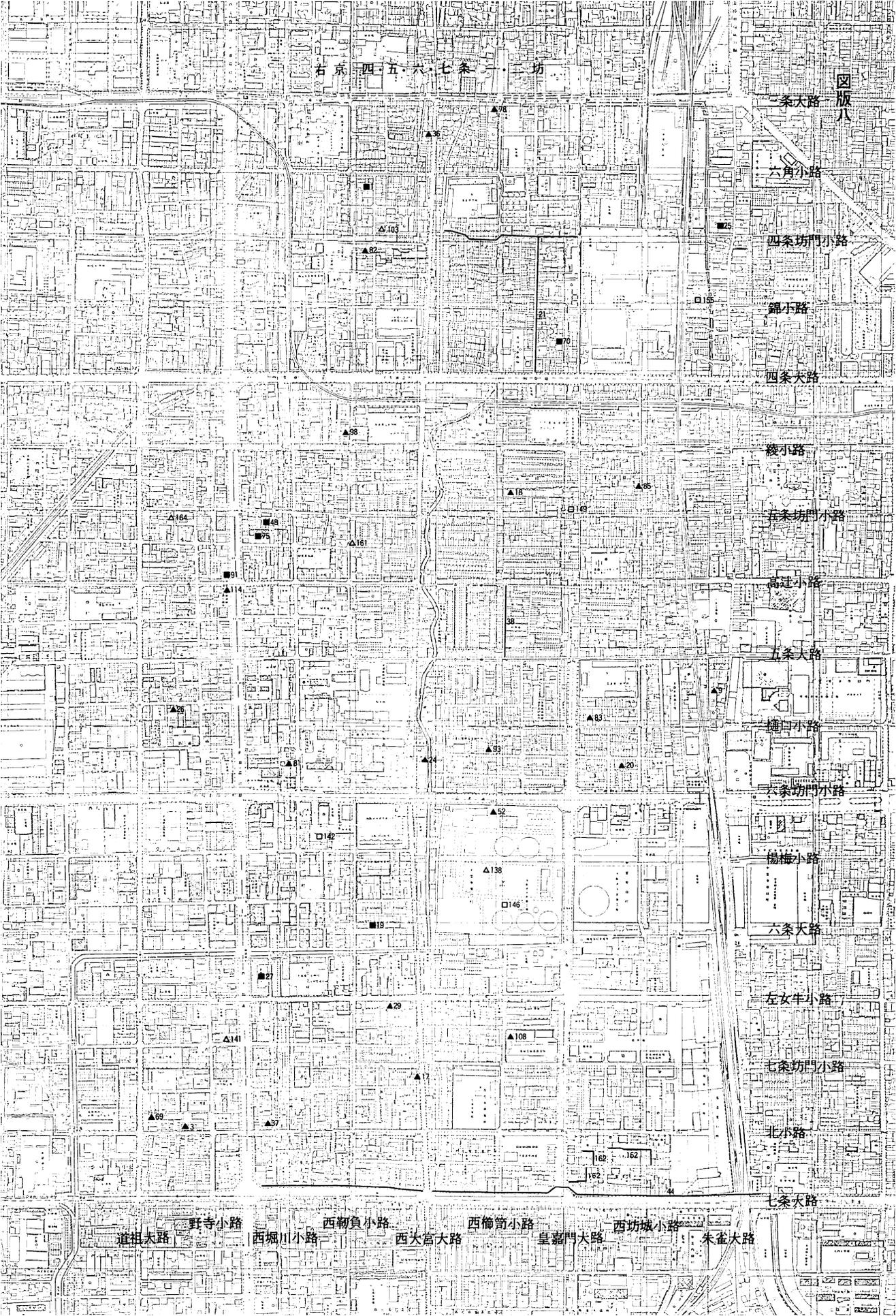
左女牛小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

道祖大路 野寺小路 西堀川小路 西鞠負小路 西筒筥小路 皇嘉門大路 西坊城小路 朱雀大路



左京 四・五・六・七条 三・四坊



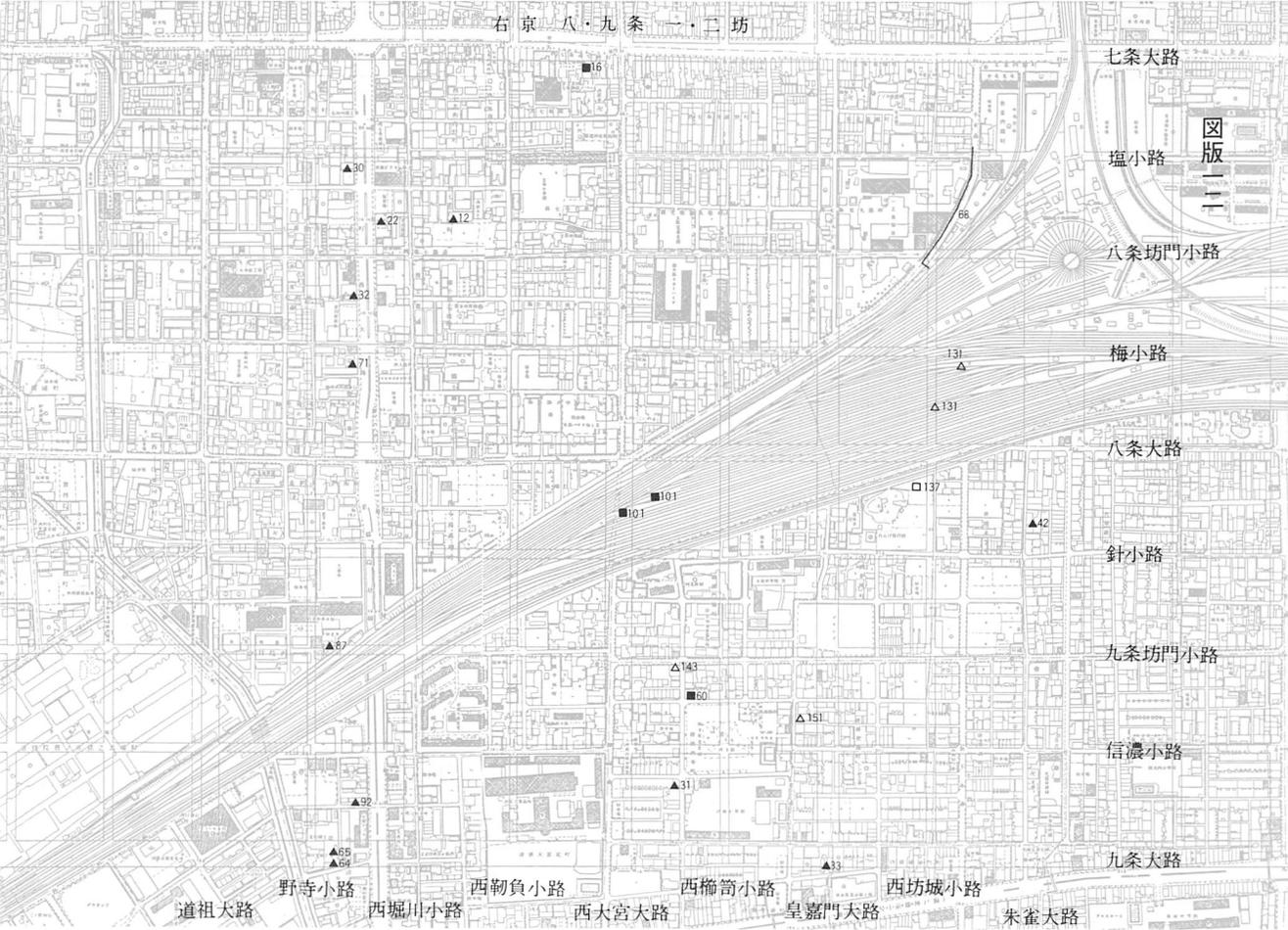
三条大路
六角小路
四坊門小路
錦小路
四坊大路
綾小路
五坊門小路
高辻小路
五条大路
樋口小路
六坊門小路
楊梅小路
六坊大路
左女牛小路
七坊門小路
北小路
七条大路

西洞院大路 町尻小路 室町小路 烏丸小路 高倉小路 富小路 東洞院大路 万里小路 東京極大路

▲193
▲16
▲104
▲26
▲190
▲44
▲53
▲59
▲66
▲98
▲214
▲212
▲133
▲146
▲154
20B
20B
▲126
▲174
▲56
▲49
▲146
▲196
▲173
▲105
▲202
▲72
▲189
195
▲147
▲135
▲33
▲68
▲114
▲84
▲7
▲41
▲24
▲37
▲200
▲54
▲155
▲103
▲76
▲190
▲209
▲62
▲153
▲77
▲86
▲13
▲191
▲112
▲54
▲39
▲113
▲96



右京 八・九条 一・二坊



左京 八・九条 三・四坊



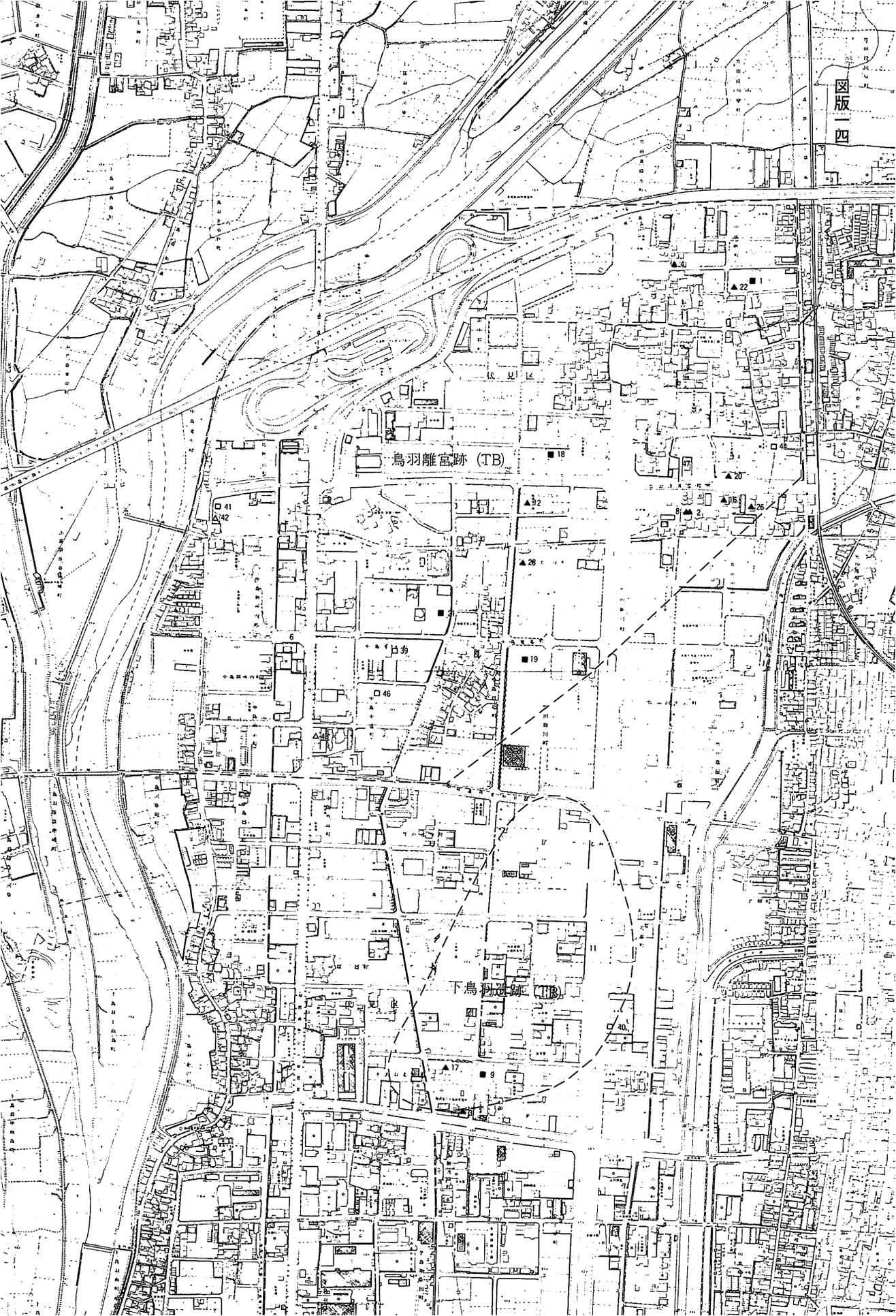


植物園北遺跡 (RH)

中臣遺跡 (RT)

白河街区 (KS)

岡崎遺跡 (KS)



鳥羽離宮跡 (TB)

池

▲ 26

▲ 28

▲ 32

▲ 26

▲ 15

▲ 20

▲ 26

▲ 20

▲ 20

▲ 20

▲ 20

▲ 20

41

42

39

46

18

19

20

21

22

23

24

25

26

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123



久世遺跡 (JK)

大藪遺跡 (MK)

長岡京跡 (NG)

東土山遺跡 (NS)

京都市

代見区



1 調査地遠景（南西から）



2 調査地全景（西から）



1 SK 3 遺物出土状況（南から）



2 SK 5 遺物出土状況（南から）



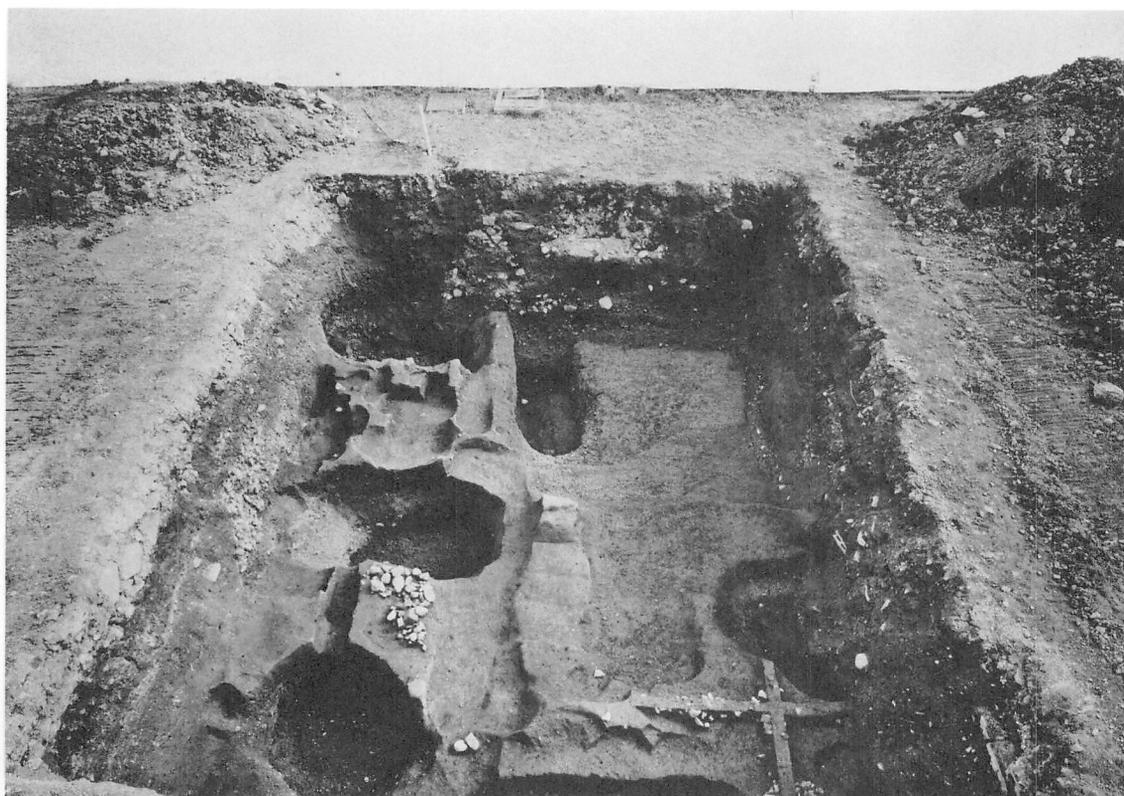
1 S K19 (石組遺構) (南から)



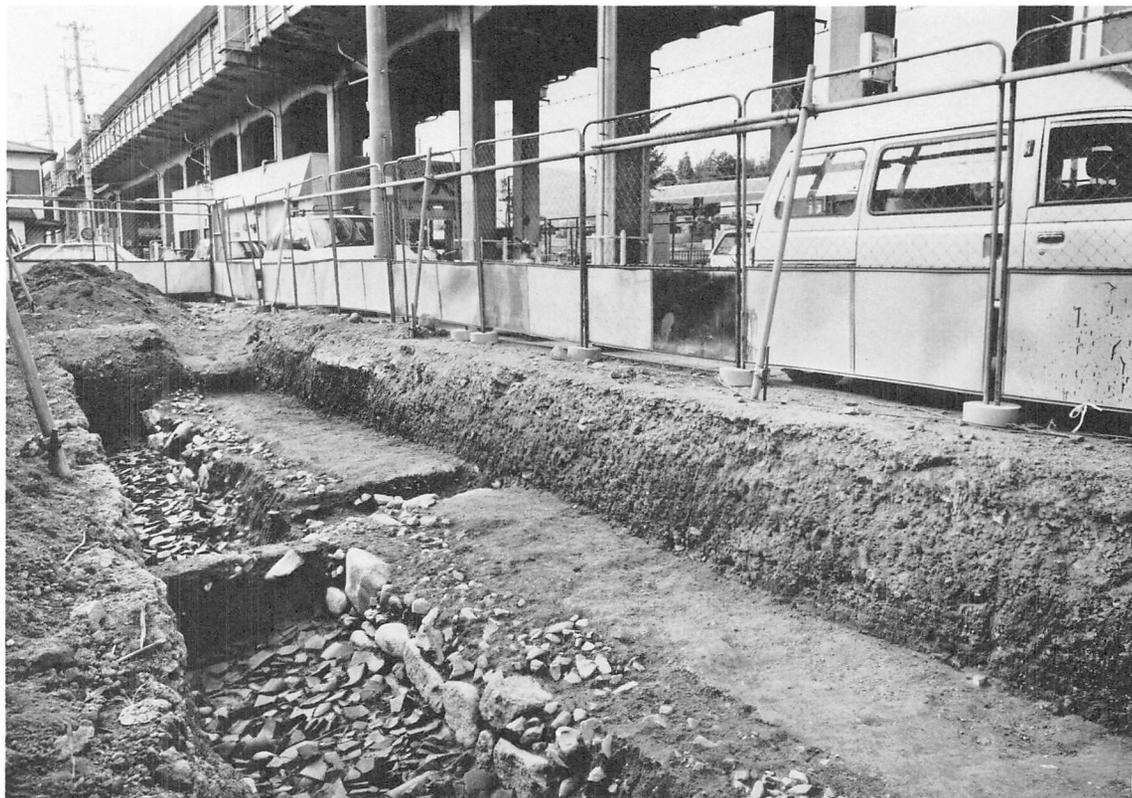
2 S K15 (南から)



1 室町時代以降全景 (北西から)



2 平安・鎌倉時代全景 (西から)



1 溝内瓦出土状況 (南東から)



2 遺跡全景 (西から)



1 東西溝 (西から)



2 東壁断面 (西から)



3 南北溝 (南東から)



1 遺跡全景 (南から)



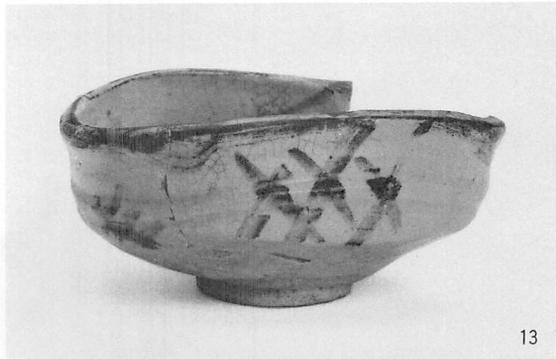
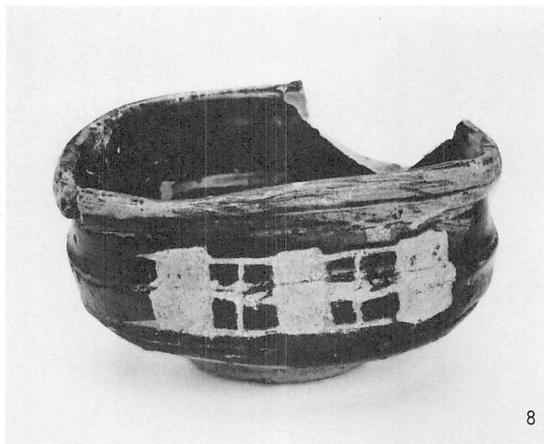
2 調査風景



出土遺物



1 SK5出土, 2 SK3出土, 3~6 SK15出土



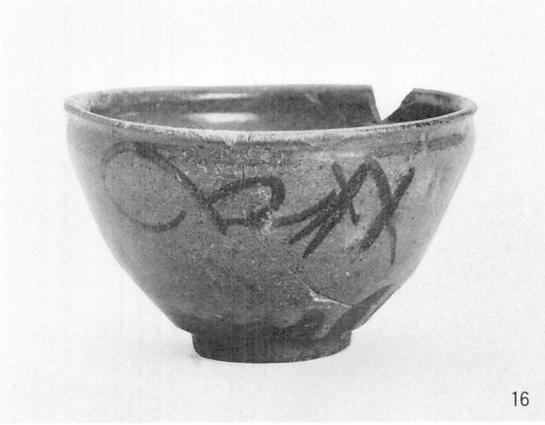
7~14 S K15出土



15



19



16



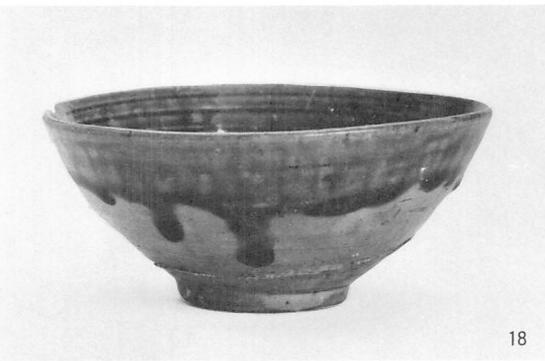
20



17



21



18

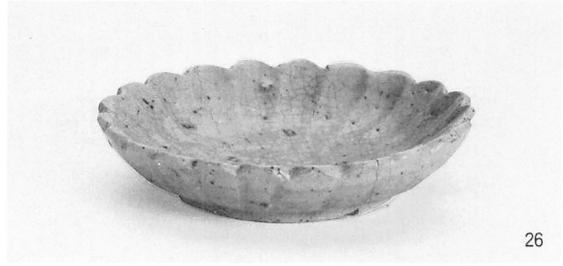


22

15 SK3出土, 16 あげ土, 17~22 SK15出土



23



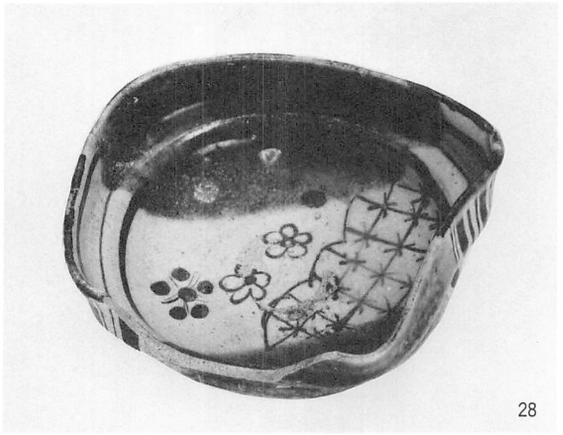
26



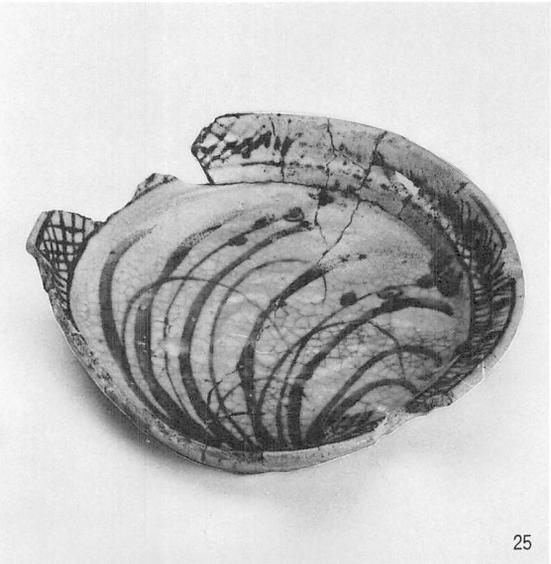
27



24



28

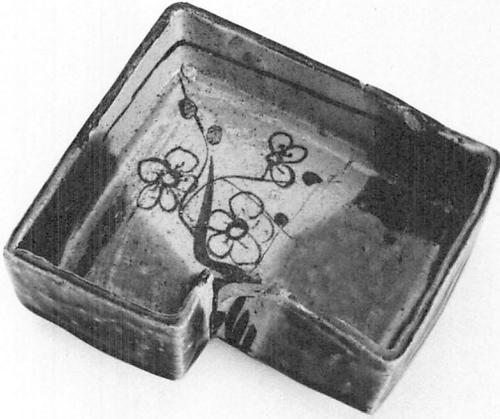


25



29

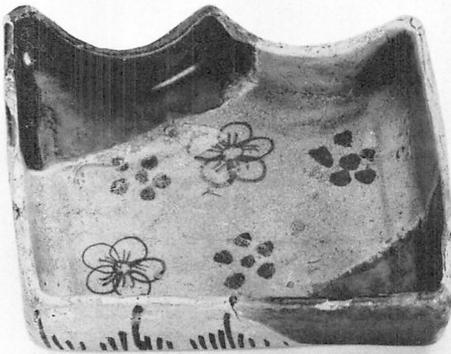
23 SK 3 出土, 24~29 SK 15 出土



30



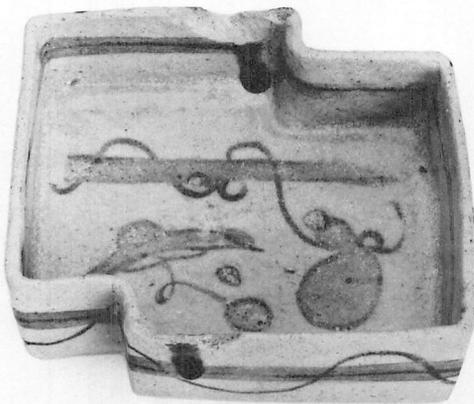
31



32



33



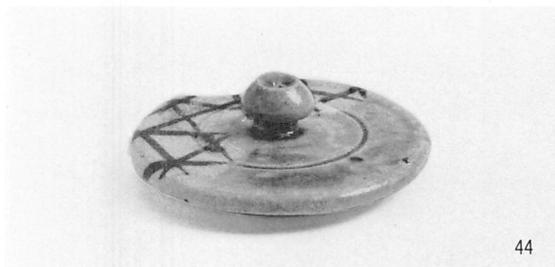
34



35



36~38・40~43 S K15出土, 39 S K 3出土



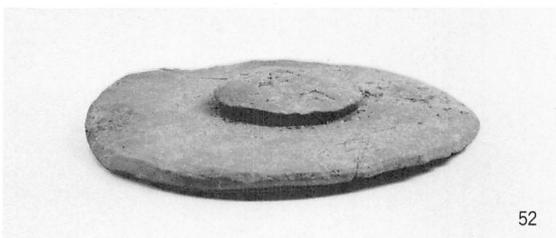
44



45



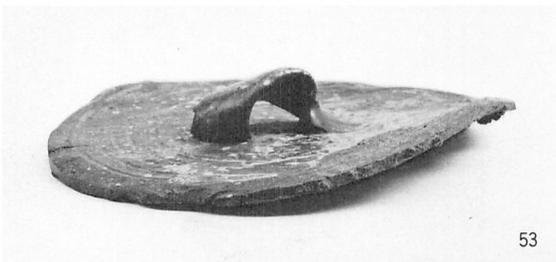
46



52



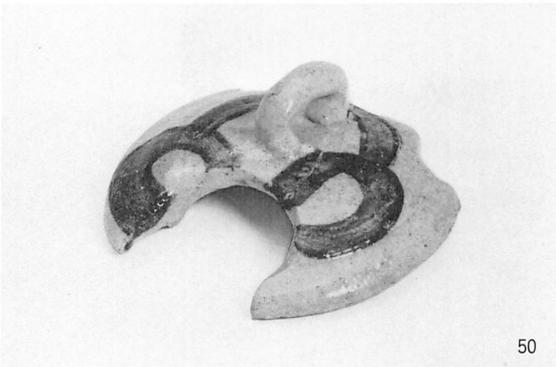
47



53



48



50

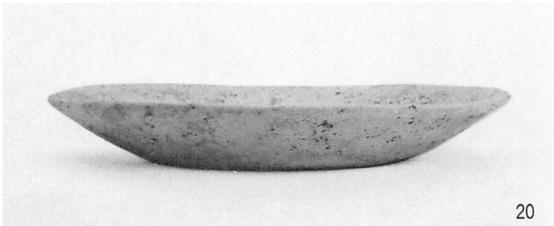
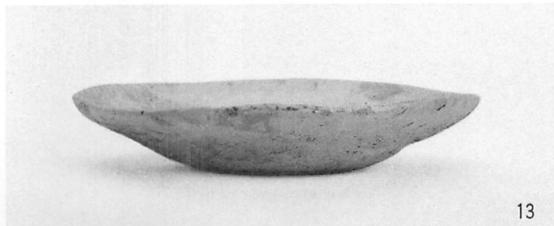
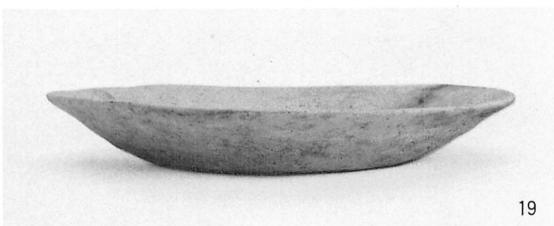
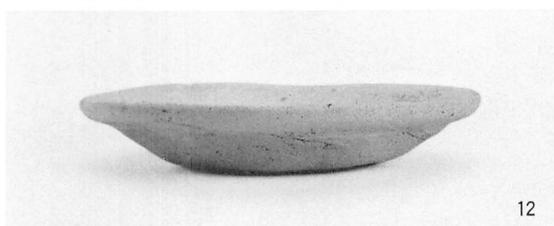
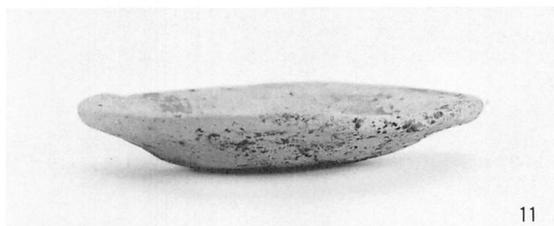
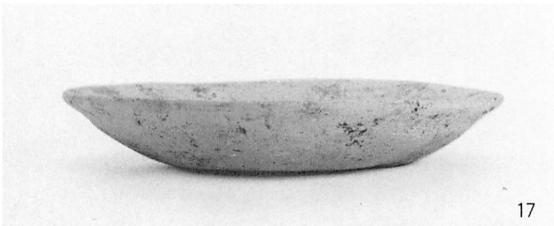
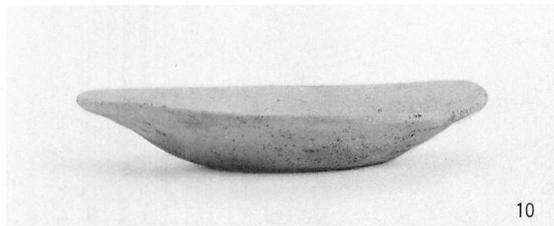
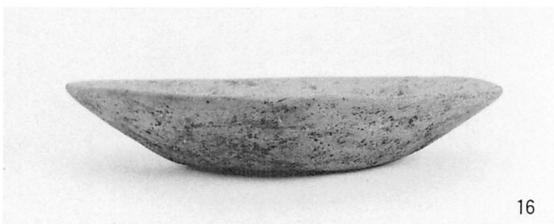
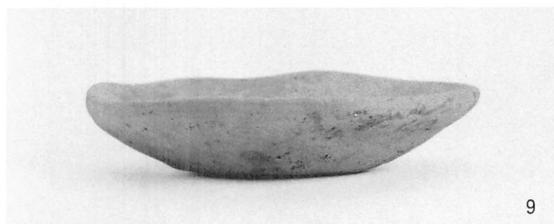
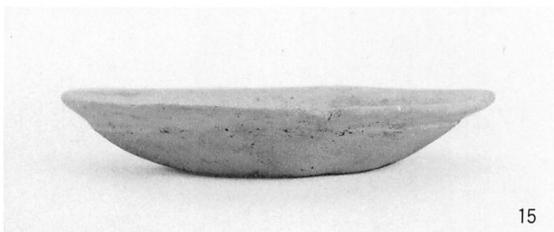
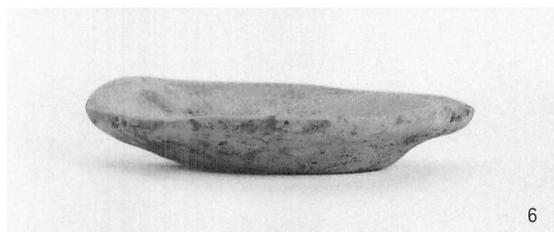
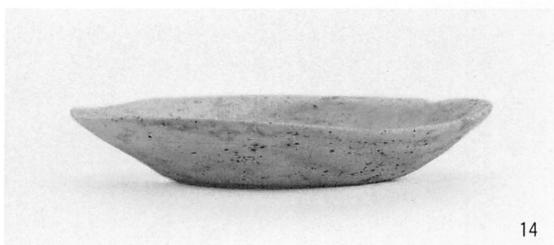
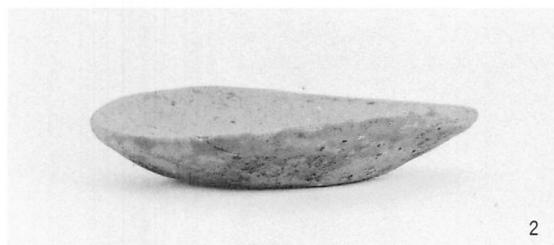


49

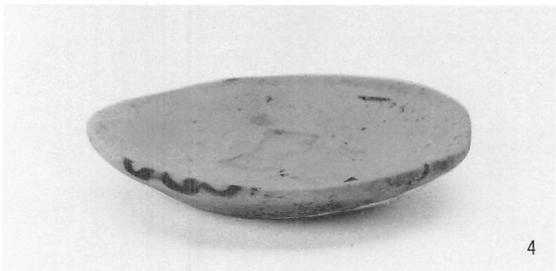
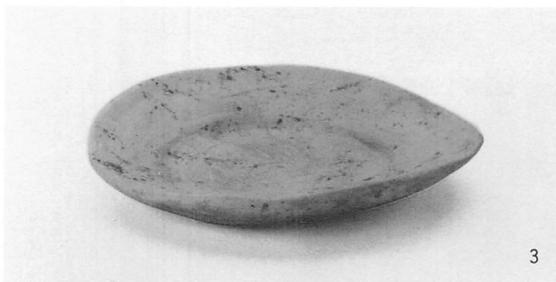


51

44~46・48~51・53 S K 15出土, 52 S K 2出土



土師器



土師器, 瓦器, 軒瓦



T1



T2



T3

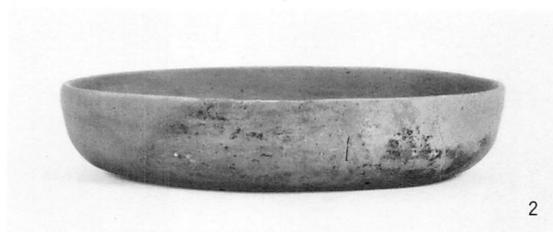


G1

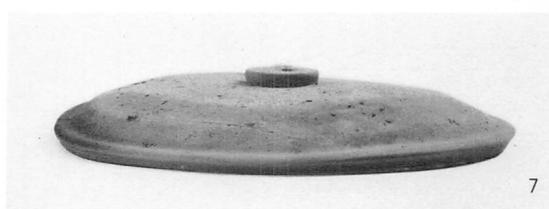


K1

軒瓦, がんぶり瓦



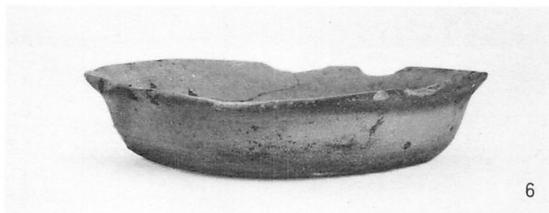
2



7



1



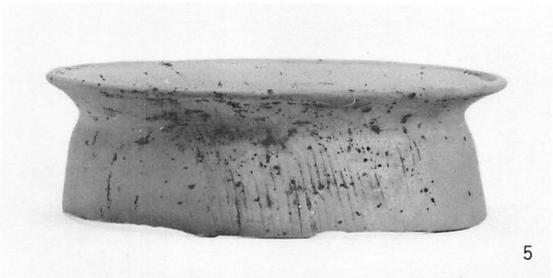
6



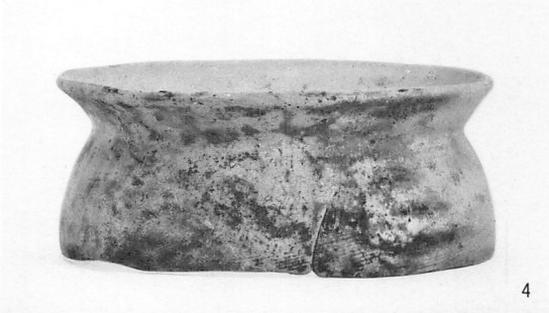
3



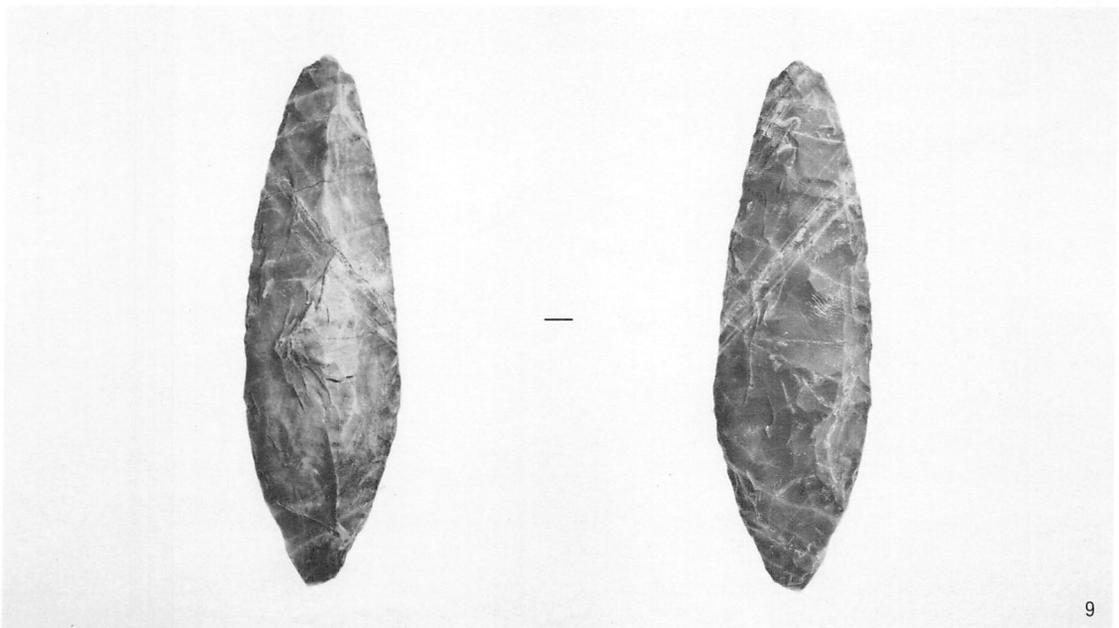
8



5



4



9

土師器, 須恵器, 石器



1



5



2



6



3



7



4



8



9



10



11



12



13



14



15

軒瓦

京都市内遺跡試掘立会調査概報

平成元年度

発行日 平成2年3月31日

発行 京都市文化観光局

住所 京都市左京区岡崎最勝寺町13京都会館内

編集 財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

住所 京都市上京区今出川大宮東入ル元伊佐町
TEL (075)415-0521

印刷所 真 陽 社